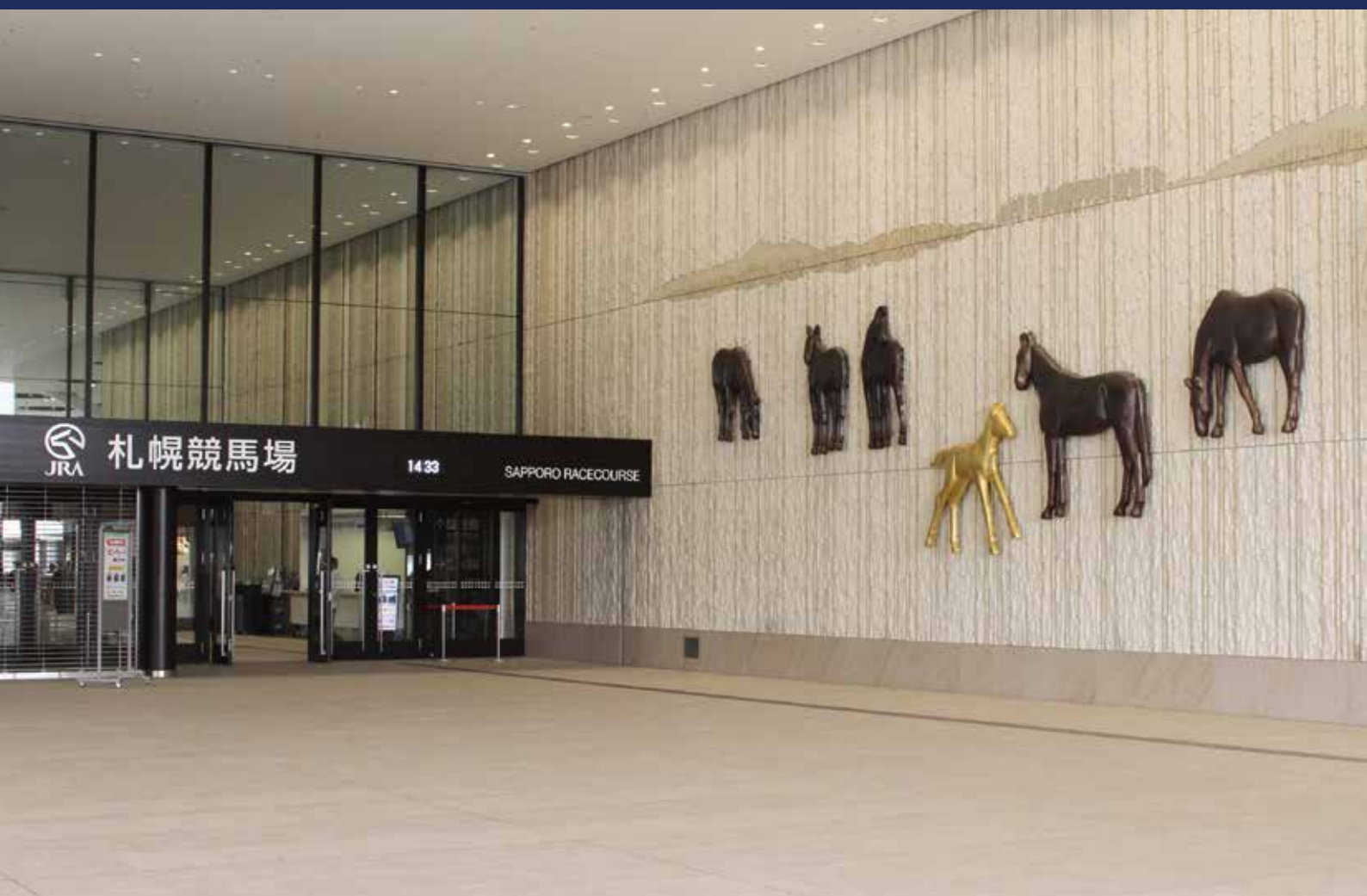


北の蹄跡

May 2015



札幌馬主協会会員所有馬 3 頭が JRA 賞を受賞	2
特集 1 トレーニングセールのおゆみ	4
札幌馬主協会通常総会開催	9
委員会だより	10
馬産地懇談会を開催	
ホッカイドウ競馬で当協会協賛レースを施行	
シンガポール競馬観戦の旅	
平成 27 年度札幌競馬開催概要決まる	12
コラム	
「ディープインパクトの血を活かすには?!」 合田直弘	14
「海外馬券発売と公正感覚」 野元賢一	16
「日本の春競馬を盛り上げるために」 石川ワタル	18
JRA平成27年度の事業計画、及び収支予算案決まる	20
新人騎手紹介	22
新規開業調教師紹介	23
特集 2 「コンフォメーション（相馬学）について」	24
日本中央競馬会日高育成牧場副場長 石丸睦樹	
会員広場	28
「温故知新、知恩報恩のこころ」 伊藤佳幸	
JRA 札幌競馬場新任者ごあいさつ	29
会員談話室	30
「人と出会い・馬と出会い 人に感謝し・馬に感謝す」 矢部道晃	
道営だより	32
ホッカイドウ競馬 2015年重賞日程	33
2015年新種牡馬紹介	34
News & Topix	36
各種せり結果	
札幌馬主協会会員勝馬紹介 WINNERS	38
会員の異動	46
編集後記	47



最優秀ダートホース

ホッコータルマエ

2009年5月26日生 牡 鹿毛

父 キングカメハメハ

母 マダムチェロキー（母の父 チェロキーラン）

馬主／矢部道晃氏

調教師／西浦勝一（栗東）

生産牧場／市川ファーム

2014年成績／6戦3勝（海外1戦0勝、地方3戦2勝含む）

2014年総収得賞金／2億7357万4000円

2014年おもな勝鞍／チャンピオンズカップ（GI）東京大賞典（GI）川崎記念（JpnI）

デビューから一貫してダートばかりを使われて重賞初Vは3歳夏のレパードS。4歳シーズンはほぼ休みなく使われて重賞7勝をあげた。2014年は川崎記念から始動し、フェブラリーS2着のあとドバイ遠征を敢行。帰国後、なかなか調子が戻らなかったが、中央地方の最高峰GI競走を制して真の王者になった。



日本で唯一!

特集1

市場機能を備えた札幌競馬場で 2歳トレーニングセール開催!

クラシックシーズン真っただ中の5月25、26日、札幌競馬場で2年ぶりに2歳トレーニングセールが行われる。今回、名簿に掲載される2歳馬は291頭。馬産地日高の育成業者たちによって丹念に仕上げられ、競走馬としての輪郭が見え始めた馬たちが、実際に、レースで使用されるダートコースを使って2ハロンから公開調教を行い、時計や走行フォームをアピールする。その様子はスタンドの1階、2階の一般席からも見ることが出来るし、大型ターフビジョンにも映し出される予定だ。

ポプラ並木を背景にした公開調教は目を楽しませてくれる



2013年まではウィナーズサークルや装鞍所などに仮設のせり台を設置してせりが行われてきたが、昨年のスタンド改修により、札幌競馬場は日本で唯一、市場機能を備えた競馬場へと生まれ変わっている。今回からは、パークウインズ棟のファンファールホールがせり会場となる。入場ゲートから競馬場へと足を踏み入れると、もうそこにはサラブレッド市場が広がっている。

パドックをパレードリンクとして使用できることも臨場感をあおる。そして、奇しくも、せりが行われる5月26日はすべてのサラブレッドとホースマンが目標

とするダービーが行われる週だ。ここ札幌競馬場のトレーニングセールで取引きされた馬が札幌競馬場でデビューし、そしてちょうど1年後に東京競馬場で行われるダービー、オークスを目指す。そんな夢の第一歩がここ、札幌競馬場からスタートする。

なお、市場に上場される馬たちは5月23日(土)に入厩。24日(日)は事前下見日にあてられており、馬体や気性などもチェックできる。公開調教は25日(月)午前9時30分から。せりは26日(火)、午前9時からスタートする予定だ。

【26日・セール案内図】

※セール当日は大変込み合うことが予想されます。馬りに十分お気をつけてセールに参加していただきますようお願い致します。



トレナーニングセールにあゆみ

ニッポン競馬に、トレナーニングセールという概念を持ち込んだのは、1980年代後半に猛威を振るっていた外国産競走馬たちだった。当時、折からの好景気を背景に爆発的に売り上げを伸ばした競走馬市場は、新規馬主登録の増加も手伝って、国内需要が拡大。深刻な馬不足に悩んでいた。

米国外トレナーニングセール出身のヒシマルが活躍したのが1992年春。その活躍を受けて94年の米国フアツングタイプトンフロリダセレクトセール、同バレットマーチセールともに日本人バイヤーが大活躍。両セールともにトップバイヤーは日本人だった。

日本で初めてトレナーニングセールが開催されたのは1994年3月。門別町（現在の日高町）で開催された民間市場サンエイトレナーニングセールだ。この市場は公設市場ではなかったために市場取引賞などの適用はなかったものの13頭が上場されて、3頭を売却。数字的には成功とは言い難いが、お世辞にも温暖とはいえない北海道日高でもトレナーニングセールを行えるという大きなアピールになった。

第1回トレナーニングセールにはサンデーサイレンス産駒も上場

記念すべき北海道市場トレナーニングセールの第1回開催は1997年3月25日。まだ雪残る北海道市場で開催された「3歳3月市場」がこれにあたる。公開調教はなく、調教の進捗状況は、それぞれ上場者による3段階（初期調教馬、騎乗馴致馬、未調教馬）の自己申告制。お台付け価格、主取価格は公表せずに、購買者は、コートに身を包みながら個体展示でみる馬体に、その将来性を重ね合わせて、せりがスタートした。このとき、集まった購買登録者は徹底的な広報活動が功を奏して91人。サンデーサイレンスやブライアンズタイム、サクラユタカオーなどの産駒も上場され、これらを含めサラブレッド31頭、アラブ2頭が総額2億3975万円（税別）で売却された。翌98年は4月21日。このときは事前に撮影したビデオを騎乗供覧の代わりに公開してせりを行った。せり当日に公開調教を行うようになったのは99年から。当日の公開調教は新冠町の日高軽種馬共同育成会社の馬場を使用した。希望者には3週間前に撮影した調教ビデオを送付するなどのきめ細かい営業戦略も購買者



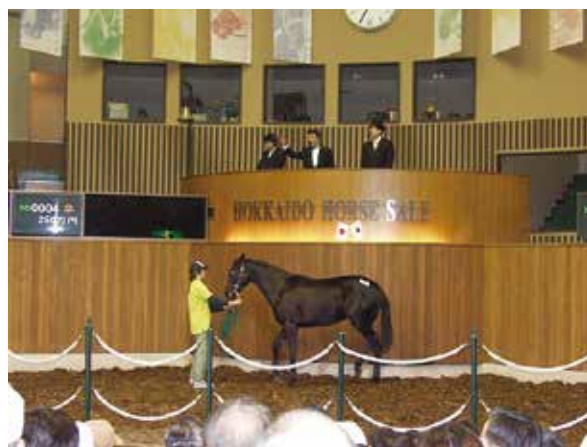
1999年から2005年までは日高軽種馬共同育成会社で公開調教が行われていた

の心をくすぐり、当日は調教師、馬主、エージェンツなど約700人が来場。売却率は前年の32・8%から63・6%と倍増。売り上げも1億100万円から2億3770万円と約2・5倍に跳ね上がり、せりは大いに盛り上がった。

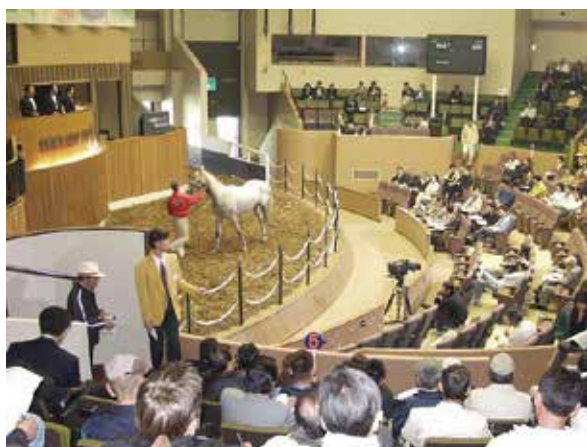
翌2000年からは、公開調教を共同育成会社で行ったあと、せり会場を静内（現・新ひだか町）の北海道市場に移動して行うというスタイルに変更。この年から北海道市場の馬見せ台は現在のようなステーション型に変更されており、高級感の演出に一役かっていた。そして、このスタイルが長く北海道市場トレナーニングセールとして続けられた。

札幌競馬場が飛躍の場に

札幌競馬場を初めて使用したのは



2000年からは北海道市場でせりが行われるようになった



即戦力を求めて会場はあふれんばかりの人で埋められた(2004年のセール)

2006年のこと。それ以前、民間せり会社のプレミアセールが97年、98年、00年、02年、05年と札幌競馬場を舞台(99年



2006年から札幌競馬場を利用してせりが行われるようになった



今春のダービー卿チャレンジトロフィーを制したモリスはセールの2ハロン1番時計馬だった

は札幌競馬場改修工事のため新冠で開催にせりを行っていたこともあったが、同セールは05年のせりを最後に休止。引き継ぐような形で北海道市場のトレーニングセールは、札幌競馬場へと舞台を移した。北海道最大都市での市場開催。期待感も手伝って、1000人を超える来場者を記録。上場頭数も前年比45頭増の171頭というビッグマーケットになった。と同時にこのとき競馬場内の診療所に情報公開展示室（レポジトリー）を設置し、ほぼ全頭の股関節レントゲン写真を公開するなどの試みも購買者に対する大きなアピールになった。

売上総額は前年比63・8ポイント増の5億320万円。平均価格も前年を16・4ポイント上回るものとなった。

こうした結果を受けて06年からは開催

場所を札幌競馬場に固定。せりは飛躍的に数字を伸ばす要因にもなった。途中、馬場の改修工事やスタンド改修などあったが、開催日程をずらしてまで、場所をこざわり続けてきた。2014年だけは、札幌競馬場スタンドの全面改修工事のために函館競馬場での開催となったが、この年から上場馬全頭にアナボリックステロイド検査を実施。購買者に安心感を与えると同時に、上場頭数の減少が購買者の購買意欲を刺激する結果となり、前年対比69・8%の上場頭数だったにもかかわらず、4年連続の総売上レコード更新となった。

活躍馬が支える トレーニングセール

北海道市場トレーニングセール出身馬

年次	上場頭数	売却頭数	総売上額	おもな出来事
1997	80	31	238,200,000	JBBA主催で3月25日に開催。調教の進捗状況は3段階による牧場申告制
1998	61	20	100,100,000	HBA主催で4月21日に開催。せり会場内に事前に撮影した調教ビデオを放映
1999	55	35	237,700,000	日高軽種馬共同育成公社で公開調教。せりが行われる。事前VTRを配布
2000	81	53	321,100,000	日高軽種馬共同育成公社で公開調教のち、北海道市場でせりが開始
2001	113	50	308,250,000	市場改築工事のために屋内パレードリンクで開催。キャスト一斉用も実らず
2002	131	45	332,900,000	香港のエージェントが参戦。2頭を2810万円で購入。JRA育成馬も上場
2003	114	46	286,500,000	前年秋にヒシミラクルが菊花賞制覇。リザーヴ制導入
2004	103	45	286,220,000	KRA韓国馬事会が牝馬3頭を788万5500円で購入
2005	126	64	307,290,000	JRAブリーズアップセールがスタート。KRAが16頭を購入
2006	171	90	503,200,000	せりを札幌競馬場で開催。レポジトリーを開設。売上レコードを大きく更新
2007	125	82	433,500,000	競馬場改修工事により6月開催。マレーシアからの購買団体が7頭を3948万円で購入
2008	181	82	413,900,000	前年に発症した馬インフルエンザにより海外バイヤーが不参加
2009	142	86	441,600,000	2年ぶりに海外バイヤーが参加。JBBAが韓国向け調査馬10頭を購入
2010	179	100	564,600,000	同セール初の5000万円超馬が登場。売上げレコードを記録
2011	215	133	631,800,000	ひだかTSと共催。初の2日間開催で行われ売上レコードを更新
2012	181	123	675,450,000	日曜日を前日展示日として開放。平均価格が500万円台に回復
2013	262	152	812,010,000	公開調教日とせり日を分割。4年連続で売上レコードを更新
2014	183	137	814,410,000	札幌競馬場スタンド改修工事のため函館競馬場で開催。驚異的な売却率でレコード更新

の代表といえ、長く03年JRA賞最優秀父内国産馬ヒシミラクルだった。日高軽種馬共同育成公社の馬場で行われた公開調教では最後1ハロン12秒4。多くの馬が11秒台を連発する中で決して目立つ存在ではなかったが、翌年5月の初勝利をきっかけに菊花賞、天皇賞・春、宝塚記念とG1競走を3勝し、トレーニングセールを広く知らしめるきっかけになった。また、06年取引のジャガメールは、公開調教で11秒4をマークしたもののデビューが遅れ、初めて競馬場にその雄姿を現したのが3歳秋。しかし、そ



2010年春の天皇賞に勝ち、香港ヴァーズで2着したジャガメールは2006年のトレーニングセール取引馬だった



GI競走3勝で、03年のJRA賞最優秀父内国産馬に選出されたヒシミラクルは最後1ハロン12秒4。トレーニングセールが時計だけではないことを証明した

こから古馬の頂点へとこのぼりつめた。そんな原石を探し出す楽しみもトレーニングセールにはある。



川崎競馬所属のままJRAの京成杯に優勝したプレイアンドリアル。併せ馬では遅れたものの最後1ハロンは11秒32。最後までしっかりと足取りでダートコースを駆け抜けた(219番)

プレイアンドリアルは前年のサマーセールにおいて400万円で購入されたあと、再びトレーニングセールに上場。岡田繁幸氏によって素質を見出され、ホッカイドウ競馬からデビューし、地方競馬に所属したまま東京スポーツ杯2歳S2着、そして京成杯優勝と活躍した。そしてまだ記憶に新しいのがモリス。この馬もまたサマーセールで取引された後13年のトレーニングセールに上場。2ハロンの最速タイム21秒80(10秒87〜10秒93)を記録し、ノーザンファームが1050万円で落札した馬だった。トレーニングセールは、その性格上、玉石混合となることが多いのは否めないが、主催者によれば今回のセールは290頭くらいの上場を予定しているという。



歩様も重要なチェックポイント



脚元をチェックする購買者。販売者はもちろん、購買者も真剣だ

公開調教は5月25日。レースでも使用する札幌競馬場のダートコースを使って2ハロンから時計を計測し、せりは翌26日に行われる。ぜひ、札幌競馬場の新スタンドで馬主ライフのベストパートナーを探し出して欲しい。

北海道市場トレーニングセール出身のおもな活躍馬

馬名	父馬	価格	供覧タイム	市場	主な成績
オイスターチケット	ウイニングチケット	7,000,000	11秒0	00年北海道	00年GⅢファンタジーS3着
ヒシミラクル	サッカーボーイ	6,500,000	12秒4	01年北海道	02年GI菊花賞、03年GI天皇賞・春
トーセンサニー	サニーブライアン	14,800,000	10秒2	02年北海道	02年GⅢフェアリーS3着
イケトッパガン	マヤトップガン	3,000,000	11秒60	06年北海道	2012GⅢ函館記念2着
エンタノメガミ	アサティス	3,000,000	11秒91	06年北海道	2007JpnⅡ兵庫チャンピオンS3着
ジャガーメール	ジャングルポケット	15,000,000	11秒14	06年北海道	2010GI天皇賞・春
アルアルアル	クリティックラスカル	3,300,000	11秒71	07年北海道	2007JpnⅡ兵庫ジュニアGP3着
エーブダッチマン	アフリート	14,300,000	11秒34	08年北海道	2011GⅢアイビスサマーダッシュ2着
モトヒメ	ショウナンカンパ	4,200,000	10秒94	09年北海道	2009福島2歳S
サカジロロイヤル	ハゴ	6,000,000	11秒13	10年北海道	2014GⅢ京阪杯3着
オオエライジン	キングヘイロー	5,200,000	10秒87	10年北海道	2012JpnⅢ兵庫ゴールドT3着
フィロパートル	ジャングルポケット	4,400,000	11秒22	11年北海道	2014GⅢ福島牝馬S3着
キノストーム	スタチューオブパティ	12,900,000	10秒94	11年北海道	2015大和ステークス
モーリス	スクリーンヒーロー	10,000,000	10秒93	13年北海道	2015GⅢダービー卿チャレンジトロフィー
プレイアンドリアル	デュランダル	7,000,000	11秒32	13年北海道	2014GⅢ京成杯



公開調教の様子はすぐにVTRでチェックできる



公開調教を見る目は真剣そのもの(2012年セールより)



せり落とした愛馬とひと足早い記念写真

北海道市場トレーニングセール 累年成績表

年次	上場頭数	売却頭数	売却率	総売上額	最高価格	最低価格	平均価格	中間価格	開催場所
2004	103	45	43.7%	286,220,000	23,600,000	1,500,000	6,360,444	4,000,000	北海道市場
2005	126	64	50.8%	307,290,000	26,000,000	1,000,000	4,801,406	3,500,000	北海道市場
2006	171	90	52.6%	503,200,000	19,000,000	900,000	5,591,111	4,650,000	札幌競馬場
2007	125	82	65.6%	433,500,000	35,000,000	1,500,000	5,286,585	4,500,000	札幌競馬場
2008	181	82	45.3%	413,900,000	28,000,000	1,500,000	5,047,561	4,000,000	札幌競馬場
2009	142	86	60.6%	441,600,000	23,500,000	600,000	5,134,884	4,000,000	札幌競馬場
2010	179	100	55.9%	564,600,000	53,000,000	1,000,000	5,646,000	4,000,000	札幌競馬場
2011	215	133	61.9%	631,800,000	26,000,000	1,000,000	4,750,376	4,100,000	札幌競馬場
2012	181	123	68.0%	675,450,000	28,000,000	1,500,000	5,491,463	4,300,000	札幌競馬場
2013	262	152	58.0%	812,010,000	30,000,000	1,000,000	5,342,171	4,000,000	札幌競馬場
2014	183	137	74.9%	814,410,000	27,500,000	1,000,000	5,944,599	4,900,000	函館競馬場

2015年

市場日程決まる

2015年日本のサラブレッド市場は(株)ジェイエスの繁殖牝馬セールで幕を開けた(関連記事37頁)。好調だった14年競走馬市場が追い風となり、生産者の意欲が向上。売却率、平均価格とも前年同セールを上回るなど、今後行われる市場の関係者も喜ぶ結果となった。

競走馬市場の幕開けは九州トレーニングセール。昨年からの利便性の高い佐賀競馬場で行われるようになって売却率は50%台に回復し、売り上げは1昨年比105・7%と倍増。団体購買がなかっただけに見た目の数字以上の評価が与えられてよい市場となった。昨年の取引馬の中にはJRAの新馬、ひまわり賞を連勝したエフェクト(牝、父スクワートルスクワート)などがおり、セールの存在感を増している。

近年、目覚ましい成長を遂げている千葉サラブレッドセールは5月15日に船橋競馬場で開催される。昨年は83・1%の売却率で市場売上レコードを更新。その取引馬の中からミュゼイリアン(每

日杯)、ノットフォーマル(フェアリース)、コメイト(ホープフルS2着)、スノーエンジェル(小倉2歳S3着)とJRAの重賞戦線を賑わせる馬が複数頭出ており、例年以上に注目を集めそうだ。

JRAブリーズアップセールは、4月28日、今年も中山競馬場で行われる。ブリーズアップセールにおける取引馬は10年連続G1出走、近3年は100%の売却率を記録しているモンスタ市場だ。今年も活気ある市場が展開されそうだ。

それから、今年は札幌競馬場で2年ぶりにせりが開催される(関連記事4頁以降)。昨夏、26万人を超えるファンで賑わいを見せた札幌競馬場の新スタンドが購買希望者で埋めつくされる光景が目に見え、函館競馬場での開催とあって1昨年対比79頭減となったが、過去最高となる74・9%の売却率を記録。売却総額も市場レコードとなる8億1441万円(税別)を記録する

ビッグセールとなった。主催する日高軽種馬農業協同組合では「初めての開催場所となりますので、ご不便をかけることもあるかもしれませんが、1頭でも多くの上場馬を集め、より良い市場開催を心がけたい」と意気込んでいる。

なお、北海道市場では昨年のJRA賞最優秀ダート馬ホツコータルマエを輩出したセレクションセールを7月21日に、全日本2歳優駿の勝馬ディアドムスが取引されたサマーセールを8月24日から例年どおりの4日間開催で行う予定で、10月5日からはオータムセールが、やはり例年通りに3日間開催で行われる。

日本の市場を語るうえで欠かせないのは、日本競走馬協会主催のセレクトセール。今年は7月13日に1歳馬市場を、翌14日に当歳馬市場を開催することが発表されている。今年から当歳馬市場の上場馬が国内居住者が所有する馬に限定され、1歳馬市場に関してはレポジトリの提出が義務化。保険も従来はJRA入厩予定馬のみが対象だったが、NAR入厩予定馬も対象に加わるなど、購買者にとっては、さらに安心して購買できる市場となった。

また、八戸市場はセレクトセールの前週7月7日に移設されたことで、競馬開催期間中の福島、函館から参加が期待できるほか、未売却馬のサマーセールでの再チャレンジも可能になった。

セール名	種別	開催日	市場	主催者
JS冬季繁殖馬セール	繁殖	1月21日(水)	新ひだか町・JBBA北海道市場	株式会社ジェイエス
九州トレーニングセール	2歳	4月14日(火)	佐賀県・佐賀競馬場	九州軽種馬協会
JRAブリーズアップセール	2歳	4月28日(火)	千葉県・JRA中山競馬場	JRA日本中央競馬会
千葉サラブレッドセール	2歳	5月15日(金)	千葉県・船橋競馬場	千葉県両総馬匹農業協同組合
HBAトレーニングセール	2歳	5月26日(火)	札幌市・JRA札幌競馬場	HBA日高軽種馬農業協同組合
八戸市場	1歳	7月7日(火)	青森県・八戸家畜市場	青森県軽種馬生産農業協同組合
セレクトセール1歳	1歳	7月13日(月)	苫小牧市・ノーザンホースパーク	一般社団法人日本競走馬協会
セレクトセール当歳	当歳	7月14日(火)	苫小牧市・ノーザンホースパーク	一般社団法人日本競走馬協会
セレクションセール	1歳	7月21日(火)	新ひだか町・JBBA北海道市場	HBA日高軽種馬農業協同組合
九州1歳市場	1歳	7月28日(火)	鹿児島県・JBBA九州種馬場	九州軽種馬協会
サマーセール	1歳	8月24日(月)~27日(木)	新ひだか町・JBBA北海道市場	HBA日高軽種馬農業協同組合
オータムセール	1歳	10月5日(月)~7日(水)	新ひだか町・JBBA北海道市場	HBA日高軽種馬農業協同組合
JS秋季繁殖馬セール	繁殖	10月21日(水)	新ひだか町・JBBA北海道市場	株式会社ジェイエス

札幌馬主協会 平成27年通常総会開催 永年在籍会員などを表彰

提出議案を

満場一致で承認・可決

一般社団法人札幌馬主協会（会長 下河辺俊行、会員数222名

＝当日現在）の平成27年通常総会が2月26日午後、札幌市内のホテルに168名（出席会員37名、委任状提出131名）が出席して行われました。

開会に先立って行われた永年在籍会員表彰では平成6年に入会

し、在籍20年を迎えた4名（個人2名、法人2名＝別表）に対し、下河辺会長から感謝状、及び記念品が贈られ、出席者から祝福を受けました。

総会は、定款に従い、議長は下

河辺会長が務め、決議事項 議案第1号平成26年度貸借対照表及び損益計算書（正味財産増減計算書）の承認について説明、浅沼常

任監事から監査の結果、適正・正確に処理されているとの監査報告があり、原案通り承認、可決され

ました。続いて、報告事項。平成26年事業報告では、総務・広報委員会、事業サービス委員会、社会貢献委員会、渉外委員会、競馬振興特別委員会の各委員長より報告され、平成26年度公益目的支出計画実施報告書、平成27年事業計画書及び収支予算書などの報告事項を審議し、了承されました。

下河辺会長はいさつの中で「中東をはじめロシア、ギリシャ、ウクライナ、中国など世界情勢は不安定が伝えられておりますが、日本においてはアベノミクス効果によって株価が上昇するなど、少な

くとも富裕層においては景気の回復を感じております」と雑感を述べたあと「今年は札幌馬主協会においても嬉しい出来事がありました。当会会員の所有馬であるイスラボニータ号、スノードラゴン号、ホッコータルマエ号の3頭がJRA賞を受賞することができました」と報告。会員所有馬の活躍を喜びました。

開催日数の増加と 札幌記念GI昇格を 引き続き要望

昨年夏の札幌開催については「売得金、入場者数ともに1昨年に比べて素晴らしい成績を残すことができました。近年、札幌競馬場で行われたイベントの中でも多くの方に足を運んでいただいた札幌記念はじめ、14日間をとおして女性、子供の来場者数が全体の約40%を占めたということは北海道民、札幌市民に競馬が受け入れられたと判断できるものと喜んでおります」と開催を総括。「JRAの10競馬場として初の試みとなりましたビュッフェスタイルでの食事提供は、おおむね好評だったと報告を受けております。今年さら

に内容などを充実させて継続させていきたい」という考えを明らかにしました。



好調だった札幌開催を報告する下河辺会長

にし「ビュッフェにおけるテーブルやいす、場内に散りばめられた花や子供用の遊具などは当協会から寄贈したものであり、競馬を盛り上げる一助となったと自負しています」と振り返りました。

また、次年度予算にも触れ、賞金諸手当、見舞金などの競走事業費や生産者賞が増額されたことの報告をする一方で、14日から12日間に減らされてしまった札幌開催の増加や馬主協会にとつての悲願でもある札幌記念のGIレース昇格については今後も折衝を続けていく旨の発言もありました。

懇親会で会員相互の 親睦深める

なお、総会終了後の懇親会には札幌競馬場の植田克己場長以下、JRA日本中央競馬会職員が出席。席上、植田場長は「2015年、中央競馬の売得金は、前年比で順調なスタートをきることが出来ました」という報告のあと「開

催日数については、今年から札幌競馬場で開催が予定されている『2015ワールドオールスタージョッキーズ』など、今年の競馬でしっかりとした実績を残すことで来年以降につなげたい」という発言に並々ならぬ決意が感じられました。また「競馬開催日のみならず、札幌競馬場の魅力を発信し、競馬場の認知度、好感度を高めていきたい」と目標を掲げ、5月に行われるトレーニングセールについては「多くの購置者にご参加いただくことはもちろんですが、一般の方々にもご来場いただき違った札幌競馬をアピールしたい」と抱負を語ってくれました。

このあと、藤原副会長の音頭で乾杯。会員相互間の親睦を深めました。



総会はなごやかな雰囲気の中で行われた



永年在籍表彰を受ける小林昌志さん



永年在籍の谷口牧場代表・谷口貢さん

永年在籍表彰受賞者

(敬称略)

個人会員	小林昌志 澤田新吾	法人会員	下屋敷牧場 谷口牧場
------	--------------	------	---------------



馬産地懇談会を開催 合田直弘さんが海外馬産地最新事情を紹介

恒例となっている馬産地懇談会を11月10日、新ひだか町のホテルで開催しました。札幌競馬場が生産地に最も近い競馬場で、かつトレーニングセールの舞台となっていること、生産者馬主を多く抱えているという背景から実施されているもので、今回が第11回目。

会には、協会会員ほか、JRA札幌競馬場職員や日高軽種馬農業



講演会は、合田直弘氏を招いて行われた

協同組合役員なども参加。約100名が参加。海外競馬解説者の合田直弘氏による「海外馬産地最新事情」をテーマにした講演会と立食懇談会を楽しみ、会員相互の親睦などを図りました。

来賓として会場に足を運んだ日本中央競馬会札幌競馬場の植田克己場長からは「会員のみなさまのおかげを持ちまして盛況のうちに札幌競馬を終えることができました」と感謝の言葉を述べ「今後も馬産地にもっとも近い競馬場という特性をいかして競馬場を盛り上げていきたいと考えています」とあいさつをいただき、今春に開催が予定されているトレーニングセールなどを通して生産地との連絡を密にしていきたいという考えを明らかにしました。

メルボルンCの取材から帰ったばかりの合田さんからは、遠征した豪州で無念の死を遂げたアドマイヤラクティや帯同するスタッフ

に対する現地主催者の温かい対応などを報告し「コーフィールドCでのアドマイヤラクティは、日本の馬産レベルの高さを示すものでした」とお話しいただきました。

講演では日本やアメリカ、欧州の市況などを分析。14戦14勝の名馬フランケルの登場によってアラブの王族ではなく、ブラジルやチリといった南米の企業体オーナーなど新しい投資家が市場に参入。サラブレッド産業を活性化させていることなどが紹介されました。

その後に行われた懇親会では宮永副会長が乾杯の音頭をとって、

和やかな雰囲気の中で会員と軽種馬生産者などとの交流と親睦を深めました。



宮永副会長の発声で祝宴が幕を開けた

ホッカイドウ競馬

札幌馬主協会協賛ヤングチャレンジカップは タイムビヨンド号がハナ差の激闘を制す

当協会によるホッカイドウ競馬協賛競走ヤングチャレンジカップ

(ダート1200m)は11月11日、日高町の門別競馬場で行われ、松井伸也騎手騎乗の7番人気の伏兵タイムビヨンド号(日高町・船越牧場生産)が最後方から豪快な追い込みを決めて、1分12秒6のタイムで優勝。当協会からは馬主の木谷ツヤさんに対して賞状と副賞が。ほか調教師、騎手、厩務員、生産牧場に対して副賞が

贈られました。

タイムビヨンド号は9月3日、この年最後となるJRA認定フレッシュチャレンジ競走に優勝。重賞のサツポロクラシックカップは力を出しきれませんでした。この日は豪快な末脚を決めて優勝しています。父タイムパラドックは2012年NAR2歳チャンピオンサイアーで、母ブルーダイナは1997年の帝王賞などに勝ったコンサートボーイの全妹という

血統です。15年シーズンは南関東を経て道営競馬に復帰。初戦の北斗盃で3着と将来を囑望されています。



三好吉男競馬振興特別委員長から関係者に賞状と副賞などが贈られた

平成27年度札幌馬主協会の行事予定

- ・愛馬会ゴルフ 8月10日(月)
場所:ザ・ノースカントリークラブ(千歳市)
- ・会員懇親会 8月30日(日)
場所:札幌グランドホテル(札幌市中央区)
ゲスト:前川清さん
- ・会員研修旅行 9月22日(火)~24日(木)
場所:高知競馬場他
- ・馬産地懇談会 11月10日(月)
場所:静内エクリプスホテル
講師:角居勝彦調教師

※詳細については改めてご案内いたします。
会員の皆様の多数のご参加をお願いします。(事業サービス委員会)

シンガポール競馬観戦の旅



ガーデنز・バイ・ザ・ベイにて



マリーナ・ベイ・サンズの屋上プール

平成26年度会員研修旅行は「札幌競馬場・新スタนด์竣工記念」として11月13日（木）から17日（月）までのスケジュールで会員・家族52名が参加され、日本人調教師、日本人オーナーも活躍するシンガポール競馬観戦を中心に実施しました。

シンガポールはほぼ赤道直下に位置する近代国際都市で、1965年に都市国家として独立後、世界有数の貿易港として位置付けられています。競馬の歴史も古く1840年代に有志ファンによつて初の競馬が開催。以降、温暖な気候を利用して年間を通して競馬が開催されています。

初日（現地時間13日）夕方にシンガポールに到着した一行は、夕食ののち、ボストンの著名建築家モシェ・サフディ氏による近未来的な外観が特徴的なマリーナ・ベイ・サンズで長旅の疲れを癒しました。2日目は、シンガポールを象徴するマライオン公園や世界最大の観覧車シンガポールフライヤーなどの市内観光、夕刻よりクランジ競馬場の来賓室にてナイター競馬観戦、お馴染みの馬連やワイド馬券のほか日本には存在しない4連単馬券や4連複馬券などを楽しみ、懇親会を開催し会員相互の親睦を深めました。



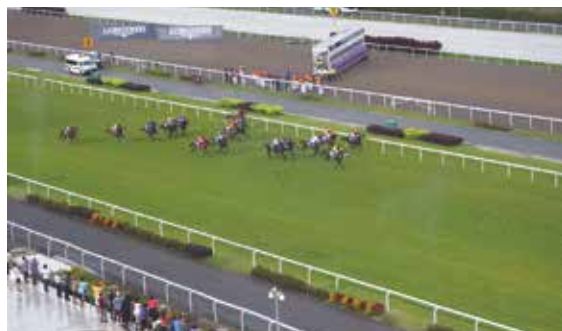
ガーデنز・バイ・ザ・ベイのフラワードームにて



マライオン公園にて



克蘭ジ競馬場の入場口にて



克蘭ジ競馬場では白熱したレースが展開された



カジュアルールームにて懇親会が開催された



世界最大級の観覧車「シンガポールフライヤー」



名物の「チリクラブ」に舌鼓



黄金の蛇から幸運をゲット？



ロンジン・シンガポールゴールドCバドック内にて

平成27年度札幌競馬開催概要決まる

世界の名手による腕比べ

ワールドオールスタージョッキーズを開催

2開催12日間に、5重賞を実施

開幕を飾るのはフイーンS

平成27年度の札幌開催は、8月1日に開幕し、昨年より2日減の2開催12日間、144競走で行われる。内訳は、第1回札幌競馬が芝コース42競走、ダートコース30競走。第2回札幌競馬は芝コース40競走、ダートコース32競走。昨年よりも芝競走の編成率が高くなっていることが特徴的だ。

来年のクラシックを目指す2歳新馬戦は12競走（芝コース10競走、ダートコース2競走）。17競走（芝13競走、ダート4競走）が予定されている2歳未勝利戦とあわせて29頭が札幌競馬場で初勝利を記録することになる。

重賞競走は別表にあるように例年どおりの5重賞が予定されており、開催期間中はほぼ毎週重賞競走が組まれることになる。

開幕週に予定されているのは北

海道新聞杯クイーンステークス。

秋華賞を目指す3歳牝馬にとっては、初めての古馬との対戦になるケースが多く、世代間のレベルを計る意味でも重要な1戦であると同時に、ここをステップに秋競馬の主役となる馬も少なくない。03、04年と連覇を果たしたオースミハルカは、その後04、05年のエリザベス女王杯で2着と健闘。現役引退後は重賞勝馬（オースミイチバン）の母となり、05年のヘヴンリーロマンスは、このレース2着をステップに札幌記念、そして天皇賞・秋を制している。また、11年の優勝馬アヴェンチュラが、このレースで重賞初勝利をあげたあと秋華賞でG1ウイナーの仲間入りを果たし、昨年の優勝馬キャトルフィューもエリザベス女王杯で5着と健闘している。

昨年、華々しいグラッドオープンを盛り上げたエルムステークス

は第3週目に移設された。現存する札幌競馬場の重賞競走で、唯一、ダートコースを舞台に行われる。昨年は実力馬ローマンレジェンドが1年8ヶ月ぶりとなる復活の狼煙をあげ、秋のチャンピオンズC3着。2着だったクリノスターオーも秋のシリウスSを快勝し、3着だったインカンテーションも秋にみやこSを制して今春のフェブラリースで2着に健闘。上位陣が期待に違わぬ活躍をしている。今年も秋のビッグレースを目指すダート巧者が顔を揃えて手に汗握るレースが期待できそうだ。

日高育成牧場開設50周年記念レースも施行

8月22日から始まる第2回札幌競馬はすべての週で重賞競走が組まれている豪華開催。23日には国内GII競走の最高賞金レースで、G1昇格を目指す札幌記念が行われる。サマー2000シリーズの第4弾、という以上に、札幌競馬場を代表する名物レース。GIIに格付けされた97年以降はエアグルーヴやヘヴンリーロマンス、アドマイヤムーン、アーネスト

リー、トーセンジョーダンなどがこのレース優勝後にG1競走を制しているほか、昨年は1、2着が揃って凱旋門賞に挑戦するなど話題を振りまいた。今年も豪華メンバーが顔を揃えそうだ。

米国ケンタッキー州にあるキーンランド競馬場との交換競走にもなっているキーンランドカップが行われる第2週は、日本版シャーガーカップの「2015ワールドオールスタージョッキーズ」が開催される。詳細は別項を参照いただきたいのだが、サマースプリントシリーズの第4戦、優勝馬に對してスプリンターズSへの優先出走権が付与されるキーンランドカップとともに夏競馬を盛り上げてくれそうだ。また、この週はJRA日高育成牧場開設50周年記念競走「日高特別」が組まれており、イベント目白押しとなっている。

そして北海道シリーズ札幌開催のフィナーレを飾るのは農林水産省賞典札幌2歳ステークス。距離が1800mになった97年以降、出走馬から2頭のダービー馬（ジャングルポケット、ロジユニヴァース）をはじめ2頭の皐月賞馬（ゴールドシップ、ロゴタイプ）、

牝馬のG1勝馬（テイエムオーシャン、ウメノファイバー、アヴェンチュラ）などを送り出している注目のレースだ。昨年の優勝馬ブライトエンブレムは弥生賞2着。3着のレッツゴードンキは桜花賞に優勝し、4着のミュゼエイリアンは毎日杯優勝と今年のクラシックレースを賑わせている。今年も注目の1戦となりそうだ。

ワールドオールスタージョッキーズ開催

昨年まで暮れに行われていたワールドスーパージョッキーズシリーズを引き継ぐような形で日本の中央、地方の腕自慢が世界で活躍するジョッキーと腕比べを行う「2015ワールドオールスタージョッキーズ」が開催される。JRA所属ジョッキー7名に北アメリカ地区、ヨーロッパ地区、オセアニア地区、アジア地区から参加する外国人騎手5名、地方競馬代表2名の計14名が、札幌競馬場の芝コースで行われる計4レースの総合ポイントで覇を競う。

北斗の都がインターナショナルに染まる「2015ワールドオールスタージョッキーズ」から目が離せない。

第1回札幌競馬 8月1日~8月16日

8月1日(土)		
1R	2歳未勝利	芝 1500m ④・500
2R	3歳未勝利	夕 1000m(牝)・460
3R	3歳未勝利	夕 2400m・460
4R	3歳未勝利	夕 1700m ④・460
5R	2歳新馬	芝 1500m ④・700
6R	3歳未勝利	芝 2000m・460
7R	3歳以上 500 万下	夕 1000m・750
8R	3歳以上 500 万下	芝 1200m(牝)・750
9R	3歳以上 500 万下	夕 1700m・750
10R	羊ヶ丘特別 (3歳以上 500 万下) 定量・特指	芝 1500m ④・1050
11R	TVh 賞 (3歳以上 1600 万下) ハンデ	芝 1800m ④・1820
12R	阿寒湖特別 (3歳以上 1000 万下) 定量・特指	芝 2600m ④・1500
8月2日(日)		
1R	2歳未勝利	芝 1200m(牝)・500
2R	3歳未勝利	夕 1000m・460
3R	3歳未勝利	夕 1700m・460
4R	3歳未勝利	芝 1500m ④・460
5R	2歳新馬	芝 1800m・700
6R	2歳新馬	夕 1700m ④・700
7R	3歳以上 500 万下	芝 1800m・750
8R	3歳以上 500 万下	夕 1700m ④・750
9R	北辰特別 (3歳以上 500 万下) 定量・特指	芝 2000m ④・1050
10R	道新スポーツ賞 (3歳以上 1000 万下) 定量・特指	芝 1500m(牝)・1500
11R	第63回北海道新聞杯 クイーンステークス GⅢ (3歳以上オープン・国際) 別定・特指	芝 1800m(牝)・3500
12R	大通特別 (3歳以上 1000 万下) 定量	夕 1700m ④・1500

8月8日(土)		
1R	2歳未勝利	夕 1000m ④・500
2R	3歳未勝利	夕 1700m(牝)・460
3R	3歳未勝利	夕 1700m・460
4R	3歳未勝利	芝 1500m・460
5R	2歳新馬	芝 1200m ④・700
6R	3歳未勝利	芝 2000m ④・460
7R	3歳以上 500 万下	夕 2400m・750
8R	3歳以上 500 万下	芝 2000m(牝)・750
9R	3歳以上 500 万下 定量・特指	夕 1700m・750
10R	帯広特別 (3歳以上 500 万下) 定量・特指	芝 1800m ④・1050
11R	札幌日刊オープン (3歳以上オープン) 別定・指定	芝 2600m ④・2300
12R	HBC 賞 (3歳以上 1000 万下) 定量・特指	芝 1200m ④・1500
8月9日(日)		
1R	2歳未勝利	芝 1800m ④・500
2R	3歳未勝利	夕 1000m ④・460
3R	3歳未勝利	夕 1700m・460
4R	3歳未勝利	芝 1200m ④・460
5R	2歳新馬	芝 1800m・700
6R	3歳以上 500 万下	夕 1000m ④・750
7R	3歳以上 500 万下	芝 1200m ④・750
8R	3歳以上 500 万下	夕 1700m(牝)・750
9R	3歳以上 500 万下	芝 2600m(牝)・750
10R	大倉山特別 (3歳以上 1000 万下) 定量・特指	夕 1700m ④・1500
11R	UHB 賞 (3歳以上オープン) ハンデ・特指	芝 1200m ④・2200
12R	藻岩山特別 (3歳以上 1000 万下) ハンデ	芝 1800m ④・1500

8月15日(土)		
1R	2歳未勝利	夕 1700m・500
2R	3歳未勝利	芝 1800m・500
3R	3歳未勝利	夕 1000m・460
4R	3歳未勝利	夕 1700m・460
5R	2歳新馬	芝 1500m(牝)・700
6R	3歳未勝利	芝 2600m ④・460
7R	3歳以上 500 万下	夕 1700m(牝)・750
8R	3歳以上 500 万下	芝 1200m ④・750
9R	3歳以上 500 万下	芝 1800m ④・750
10R	コスモス賞 (2歳オープン) 別定・特指	芝 1800m ④・1600
11R	STV 賞 (3歳以上 1000 万下) 定量	芝 1500m ④・1500
12R	知床特別 (3歳以上 500 万下) 定量・特指	芝 2000m ④・1050
8月16日(日)		
1R	2歳未勝利	芝 1200m ④・500
2R	3歳未勝利	夕 1700m ④・460
3R	3歳未勝利	芝 1200m ④・460
4R	3歳未勝利	芝 2000m(牝)・460
5R	2歳新馬	芝 1800m ④・700
6R	3歳以上 500 万下	夕 1000m・750
7R	3歳以上 500 万下	夕 1700m ④・750
8R	3歳以上 500 万下	芝 1500m(牝)・750
9R	3歳以上 500 万下	芝 1800m ④・750
10R	HTB 賞 (3歳以上 1000 万下) 定量・特指	芝 2000m ④・1500
11R	第20回エルムステークス GⅢ (3歳以上オープン・国際) 別定・指定	夕 1700m・3500
12R	報知杯大雪ハンデキャップ (3歳以上 1000 万下) ハンデ	夕 1700m ④・1500

第2回札幌競馬 8月22日~9月6日

8月22日(土)		
1R	2歳未勝利	芝 1200m・500
2R	2歳未勝利	芝 1800m・500
3R	3歳未勝利	夕 1000m ④・460
4R	3歳未勝利	夕 1700m(牝)・460
5R	2歳新馬	芝 1500m・700
6R	3歳未勝利	夕 1700m・460
7R	3歳未勝利	芝 2000m ④・460
8R	3歳以上 500 万下	夕 1000m(牝)・750
9R	3歳以上 500 万下	夕 2400m ④・750
10R	小樽特別 (3歳以上 500 万下) 定量・特指	芝 1200m ④・1050
11R	札幌日刊スポーツ杯 (3歳以上 1000 万下) ハンデ	芝 2600m ④・1500
12R	桑園特別 (3歳以上 500 万下) 定量	夕 1700m・1050
8月23日(日)		
1R	2歳未勝利	芝 1500m ④・500
2R	3歳未勝利	夕 2400m・460
3R	3歳未勝利	夕 1700m・460
4R	3歳未勝利	芝 1200m ④・460
5R	2歳新馬	芝 1800m ④・700
6R	3歳以上 500 万下	夕 1000m ④・750
7R	3歳以上 500 万下	芝 1500m ④・750
8R	3歳以上 500 万下	夕 1700m・750
9R	十勝岳特別 (3歳以上 500 万下) 定量・特指	芝 1800m(牝)・1050
10R	クローバー賞 (2歳オープン) 別定・特指	芝 1500m ④・1600
11R	サマー 2000 シリーズ 第51回札幌記念 GⅡ (3歳以上オープン・国際) 定量・特指	芝 2000m・6800
12R	おおぞら特別 (3歳以上 1000 万下) 定量	夕 1000m ④・1500

8月29日(土)		
1R	2歳未勝利	芝 1500m(牝)・500
2R	3歳未勝利	夕 1700m・460
3R	3歳未勝利	夕 1000m・460
4R	3歳未勝利	夕 1700m ④・460
5R	2歳新馬	夕 1700m ④・700
6R	3歳未勝利	芝 2000m ④・460
7R	3歳以上 500 万下	芝 1200m(牝)・750
8R	3歳以上 500 万下	夕 1000m・750
9R	2015ワールドオールスタージョッキーズ 第1戦(3歳以上 500 万下) 定量	芝 2600m ④・1050
10R	千歳特別 (3歳以上 500 万下) 定量	芝 1500m ④・1050
11R	2015ワールドオールスタージョッキーズ 第2戦(3歳以上 1600 万下) 定量	芝 2000m ④・1820
12R	ポプラ特別 (3歳以上 1000 万下) 定量	夕 1700m ④・1500
8月30日(日)		
1R	2歳未勝利	夕 1000m ④・500
2R	2歳未勝利	芝 1800m ④・500
3R	3歳未勝利	夕 1000m・460
4R	3歳未勝利	夕 1700m(牝)・460
5R	2歳新馬	芝 1200m ④・700
6R	3歳未勝利	芝 1500m ④・460
7R	3歳以上 500 万下	夕 1700m・750
8R	3歳以上 500 万下	芝 2000m・750
9R	石狩特別 (3歳以上 500 万下) 定量	夕 1700m ④・1050
10R	2015ワールドオールスタージョッキーズ 第3戦(3歳以上 1000 万下) 定量	芝 1200m ④・1500
11R	サマースプリントシリーズ 第10回キーンランドカップ GⅢ (3歳以上オープン・国際) 別定・指定	芝 1200m ④・4000
12R	2015ワールドオールスタージョッキーズ 第4戦(3歳以上 1000 万下) 定量	芝 1800m ④・1500

9月5日(土)		
1R	2歳未勝利	夕 1700m ④・500
2R	2歳未勝利	芝 2000m ④・500
3R	3歳未勝利	夕 1000m ④・460
4R	3歳未勝利	夕 1700m・460
5R	2歳新馬	芝 1500m ④・700
6R	3歳未勝利	芝 1200m・460
7R	3歳以上 500 万下	夕 1700m ④・750
8R	3歳以上 500 万下	芝 2000m・750
9R	3歳以上 500 万下 定量・特指	夕 1700m ④・750
10R	札幌スボニチ賞 (3歳以上 1000 万下) ハンデ	芝 1200m ④・1500
11R	第50回農林水産省賞典 札幌 2歳ステークス GⅢ (2歳オープン・国際) 特指	芝 1800m ④・3000
12R	日高育成牧場開設 50 周年 記念日高特別 (3歳以上 1000 万下) 定量・特指	芝 2000m ④・1500
9月6日(日)		
1R	2歳未勝利	芝 1500m・500
2R	2歳未勝利	芝 1200m ④・500
3R	3歳未勝利	夕 1700m(牝)・460
4R	3歳未勝利	夕 1700m・460
5R	3歳未勝利	芝 2000m ④・460
6R	3歳以上 500 万下	夕 1000m・750
7R	3歳以上 500 万下	芝 1200m ④・750
8R	3歳以上 500 万下	夕 1700m・750
9R	3歳以上 500 万下 定量・特指	芝 2000m ④・750
10R	すずらん賞 (2歳オープン) 別定・特指	芝 1200m ④・1600
11R	丹頂ステークス (3歳以上オープン) ハンデ・特指	芝 2600m ④・2300
12R	釧路湿原特別 (3歳以上 1000 万下) 定量・特指	夕 1700m ④・1500



ディープインパクトの 血を活かすには?!

**日本調教馬が世界ランキング
1位、2位を独占する快挙**

2014年は日本調教馬が海外G Iを4勝。仏国の名門馬産家ニアルコス家による日本における生産馬カラコンティイが仏国と米国で制した2つのG Iを含めれば、日本生産馬は世界4か国で6つのG Iを制覇。ついにワールドベストレースホースランキングでも日本調教馬が1、2位を占めるなど、



この勝利をきっかけに世界の頂点へ駆け上がったジャスタウェイ

日本産サラブレッドの資質が更に加速度的に上昇していることを、世界にアピールした年となった。馬作りとは一筋縄ではないものではなく、従って日本産馬の水準が上がった背景にも有形無形の多くの要素が様々な形で関わってはいるのだが、日本の馬を強くした誰の目にも明らかでない要素が、昨年海外でG Iを制した5頭の日本産馬、ジャスタウェイ、ジェンティルドナ、ハナズゴール、アドマイヤラクティ、カラコンティイが、一様に2代目に保持する種牡馬サンデーサイレンスの「血」であろうと思う。

19年に米国から日本に導入された種牡馬サンデーサイレンスは日本の競馬を席卷し、没後は直仔たちが世界の競馬地図における勢力分布を塗り替えようとしている。中でも、最強のサンデーサイレンス産駒にして、現在は種牡馬として直仔の中で別格の好成績を上げ、躍進する日本血脈の代名詞にすらなっているのが、ディープインパクトである。

14年にディープインパクト産駒は、前年よりも13億円以上多い67億9761万円を収得。2位キングカメハメハに22億円以上の大差をつけ、3年連続リーディング総合首位、2歳リーディングでは4年連続で首位に立った。14年にディープインパクトが輩出したG I勝ち馬は、障害のG Iを含めれば11頭。04年と05年にサンデーサイレンスが作ったG I勝ち馬7頭という旧来の記録を大幅に上回る、ニューレコードを樹立している。更に、15年1月31日と2月1日の週末、東京開催・



ディープインパクト ©HIDEAKI MORI



海外競馬解説者 合田直弘

【著者略歴】
1959年 東京都出身。海外競馬解説者

慶応大学卒業後、テレビ東京に入社。「土曜競馬中継」「馬・疾風ロマン」などの製作を担当。のち、1988年に同社を退社し、(有)リージェントを設立。テレビ、新聞、ラジオ、雑誌などで海外競馬の解説を行っている。現在、NHK衛星放送「世界の競馬」グリーンチャンネル「地・中・海ケイバモード」「海外競馬ジャーナル」などに出演。

**ディープインパクトの
配合相手には欧州血統牝馬?**

言うまでもなくディープ産駒には海外の馬主や生産者も食指を伸ばしており、争奪戦は激化の一途を辿る。更に言えば、ディープインパクト産駒の中でもどんな配合を持った馬の走る確率が高いのか、どんな血統背景の牝馬に配合すればディープインパクトの血をより有効に活かすことが出来るかが、走る馬を持ち、活躍する馬を生産する、キーファクターとなっている。

ディープインパクトを巡る配合で、既にニックスとして認知されているのが、13年の桜花賞馬アユサン、13年の日本ダービー勝ち馬で同年の凱旋門賞でも入着を果たしたキズナ、14年のエリザベス女王杯勝ち馬ラキ



ダービー父子制覇を成しとげたキズナ

シスを輩出している、ストームキャット牝馬との交配だ。ノーザンダンサーの4×5という緩やかなインブリードを創成するこの配合には、確かに、「ディープリンズに至るラインを持つ「切れ味」という特性を、より際立たせる効果があるようだ。

だが、ディープリンズがここまで送り出した活躍馬たちの血統背景を改めて検証すると、「ストームキャット牝馬」とは異なる共通ファクターも多り出されてくる。

12年の3冠牝馬にして、ジャパンC連覇、ドバイシーマクラシック制覇などの快挙を成し遂げ、現時点におけるディープリンズ産駒最高賞金獲得馬として昨一杯で現役を退いたジェンティルドーナは、母ドナブリーニ

の2番仔としてこの世に生を受けた。英国ニューマーケットを舞台とした2歳GIチーヴァリーパークS(芝6F)の05年の勝ち馬であるドナブリーニは、06年のタタソールズデイセンバーセールにて50万ギニー、当時のレートで換算して約1億1800万円で購買されて日本にやってきた馬だ。ドナブリーニの父バートリーニ

は、2歳GIIIジュライS(芝6F)勝ち馬で、GIスプリントC(芝6F)2着、GINアンソープS(芝5F)2着などの成績を残した馬である。

このジェンティルドーナを筆頭に、15年3月15日時点でのディープリンズ産駒賞金取得額上位10頭のうち、実に7頭が、母が欧州で活躍した馬か、母の父が欧州系種牡馬という配合によって誕生した産駒なのである。

ディープリンズ産駒の血を活かすには…

13年のGIマイルCS勝ち馬で、取得賞金2位のトーセンラーと、14年の天皇賞・秋を制した取得賞金9位のスピルバークは、母プリンセスオリーブアの6番目と7番目の産駒である。

母は北米で現役時代を過ごしたものの、背景にあるのは、父ラシアス、母の父サドラーズウェルズという欧州血統だ。トーセンラーとスピルバークの母の父にあたるラシアスとは、仏国の伯楽アンドレ・ファールの管理馬として、英国の2歳GIMIドルパークS(芝6F)を制し、GI英二千ギニー(芝8F)2着、GIジュライC(芝6F)2着などの成績を収めた馬だった。

13年・14年とGIヴィクトリアマイル連覇を果たし、取得賞金3位にランクされているヴィルシーナの母ハルワスイートも、父マキャヴェリアン、母の父ヌレイエフ、祖母の父ブラッシンググルームという、純度の高い欧州血脈の持ち主である。このうちマキャヴェリアンの競走成績の詳細を記せば、彼は仏国の2歳GIサラマンドル賞(芝1400m)、モルニー賞(芝1200m)を制した、89年の欧州2歳チャンピオンであった。

14年のGIマイルCSを制し、取得賞金5位のダノンシャークは、01年のタタソールズデイセンバーセールにて

3万ギニー(当時のレートで約554万円)で購買された英国産牝馬カーラパワーの5番仔だ。欧州チャンピオン・モンジュの近親にあたるカーラパワーは、現役時代はモンジュと同じ仏国のジョン・ハモンド厩舎に所属し2勝。その父は仏ダービーやベンソン&ヘッジスGC(現在のインターナショナルS)を制したカーリアンで、母の父は英愛ダービー連覇を果たしたシャリーハイツである。

14年のGI桜花賞馬で、取得賞金7位のハープスターは、ヒストリックスターの3番仔で、母の父ファルブラヴは、4歳時まで伊国のルチアーノ・ダウリア、5歳時は英国のルーカ・クマーニが管理し、日本のGIジャパンC、香港のGI香港Cを含めて、8Fから11FのGIを8勝した欧州古馬チャンピオンだ。そしてヒストリックスターの母の父は、伊国のルイジ・カミーチが管理し、88年の凱旋門賞を制したトニンである。

そして、13年の日本ダービー馬で、取得賞金10位のディープリランテは、ラヴァンドバブルスの4番仔だ。母は米

国産馬ながら仏国で競走生活を送り、GIクロエ賞(芝1800m)を含む3勝をマーク。その父は、アンドレ・ファールの管理馬としてGIイスパーン賞(芝1850m)を制した他、GI仏二千ギニー(芝1600m)2着、GIチャンピオンS(芝10F)2着などの実績を残したルソヴァージュ。ラヴァンドバブルスの母の父は、2500mで争われていた時代の仏国GIサンクルー大賞の勝ち馬アカラッドである。

「瞬発力」や「柔軟性」を武器とするディープリンズ産駒には、「底力」や「粘り」や「強壮さ」を持つヨーロッパ血脈を付加することで、より高い競走能力を持つ仔が生まれるのである。

欧州血統の持つ重厚さのみが求められているわけではないことは、欧州の2歳GIを制圧した血脈を配合することで、ジェンティルドーナという女傑を筆頭に、トーセンラー、スピルバーク、ヴィルシーナらが誕生していることから明らかだ。ディープリンズ産駒の血を活かす上での大きなヒントが、奈辺に潜んでいそうである。

海外馬券発売と 公正感覚



日本経済新聞社運動部

野元賢一

【著者略歴】

1964年1月
東京都出身

1987年4月
毎日新聞社入社。長野支局を経て運動部で競馬のほか、プロ野球、サッカーなどを担当。

1996年8月
日本経済新聞社に移籍。運動部で競馬を担当し現在に至る。

3月1日は日本の騎手界にとって、大きな転換点として記録される日だった。JRAが現行の免許制度を導入して以来初めて、2人の外国人通年免許騎手が誕生したのだ。ミルコ・デムーロ(36)とクリストフ・ルメール(35)。ともに阪神競馬場で再出発するはずだったのだが、当日朝、2人の明暗はくつきりと分かれた。ルメールは前夜、調整ルーム内でツイッターを使用することが発覚し、開催日9日間の騎乗停止処分を受けた。一方のデムーロは期待に違わず、GⅢの阪急杯(ダイワマツジョーレ)を制したほか、9頭に騎乗して3勝2着1回。その後2週4日で5勝を加えた。

形骸化した規制

ルメールの一件は2月28日夜、自身の携帯電話で知人のツイートに2回リツイートした事実を、JRA職員が認知した。11、13年にも騎手がツイッター使用で騎乗停止処分を受けた例があり、ルメール自身は「ルメールは認知していたが、うっかりしていた」とJRAに説明し、「私の不注意で皆さんにご迷惑をおかけし、申し訳ありません」とコメントした。11年の処分事例の後、JRAは携帯電話を調整ルーム内のセーフティーボックスに保管することとしたが、実際は騎手個人に任されていた。今回の件を受けて、JRAの小林善一郎・常務理事は3月10日の会見で「(各騎手がボックスに入れたかどうかを)チェックする方式にした」と述べ、日本騎手クラブとも既



第73回桜花賞(勝馬アユサン)はC・デムーロ、M・デムーロ両騎手の叩き合い。外国人兄弟ジョッキーのワン・ツー・フィニッシュとなった

に合意済みであると明かした。競馬に限らず、日本の公営競技は「公正確保」を名目に、レース直前から選手を1カ所に缶詰めにし、外部との接触を絶つルールを定めている。携帯電話が普及してからは、主催者が電源を切った機器を「召し上げる」のが通例で、競輪やオートレースでは、違反行為に対して

1年単位の出場停止という厳罰が下された例もある。だが、他種競技でこうした厳密な管理が可能なのは、各選手が1つの開催期間は、基本的に同じレース場を動かないからだ。JRAはそうは行かない。土日の間に首都圏と近畿圏、九州と北海道を移動するのがごく普通だ。土日の移動を認めた時点で「外部との接触を絶つ」という建前は既に崩れている。実際は、新幹線や飛行機に、騎手同士連れ立って乗ることが多く、筆者も新潟出張の帰りに、駅で騎手のグループを見かけることはよくある。だが、土曜移動なら単独行動も多かるうし、その気になれば誰とでも話せる。実際にそうする人がいるかどうかは別問題で、もはや制度が形骸化

している。その意味で、ツイートへの規制にはどこか違和感を覚える。何しろ、発信する先は地球上の誰もが閲覧可能な空間だ。問題になる内容なら別だが、他愛ないつぶやきへの厳罰は、単に体裁を整えるだけの措置に映る。

「60年代型」規制策の残存

調整ルームの導入は1966年である。契機となったのは前年の65年に起きた「山岡事件」だ。別件で検挙された暴力団関係者が、騎手を供出して八百長レースを企てたと供述したことから捜査が始まり、現役騎手4人が贈賄賄や競馬法違反などで起訴されて有罪判決を受けた。ただし、JRAはレースの状況などを検討した結果、

「レース自体は公正に行われた」との結論を下している。

この事件は、古手の競馬ファンが「不正」と聞いてまず思い浮かべるパターンそのままの一件だった。有力馬が消えるとかかっていれば、他の馬の馬券に大金を突っ込んで大儲け、という算段である。そこで、不正の芽を摘むため、騎手を「身辺保護」と称して外界から隔離する。これが調整ルームの始まりで、こうした考え方は後に、馬の集中管理（トレセン方式）にも影響を与えた。

だが、事件から今年で半世紀。日本の競馬の姿は一変し、当時の「不正観」はもはや通用しなくなった。前記のような方法で不正を仕組むにも、現在の中央競馬は多頭数化しており、馬券で稼ぐシナリオは現実的でない。規制の枠組みは半世紀前と全く同じ。競輪や競艇、オートは競技のあり方が半世紀経てもほとんど変わっていない。その意味で、規制の手法が同じでも合理的と言えなくはない。だが、競馬に関する限り、全く時代に合わなくなってきた。

「見え方」と寡占問題

筆者は個人的に、今日の日本の競馬は、実に公正であると思う。ただし、公正を支えてきたのは、形式論理に陥った現行の規制よりはむしろ、高額で下にも厚い賞金体系ではないか。皮肉な話だが、「競争性に欠ける」と批判されて久しい現在の賞金体系が、「不正に手を染めなくても暮らして行ける」状況を現出し、公正競馬に最も貢献した点は否定できない。

ルメールの一件では、少なからぬメディアで規制強化を肯定する論調が見られたが、これは本質論から外れていると思う。一連の規制は「見え方」に関するもので、悪意のある人ならいくらでも盲点を発見できる。JRA 審判部でさえ、この件に関する説明で、現行規定を「公正さを示すための象徴的なもの」と認めているのだ。むしろ、一般のファンや関係者でさえ疑念を感じている部分は、別にあるのではないか。典型的なのは騎手のエージェント（騎乗依頼仲介者）問題で、12年からエージェント1人が最大

騎手3人（若手騎手1人は別枠）しか担当できないことになったが、ルールの実効性を巡っては議論が絶えない。馬に関しては、大手クラブ法人が席卷する現状に、危うさを感じる向きもある。出資者が違うとは言っても、強い馬ほど供給元の牧場に帰る確率が高い。送り手側の意図を読む（邪推する？）ような怪しげな馬券作戦まで語られている。どちらも強者の寡占から生じる問題で、こうした不都合な真実には、JRAも打つ手がない。

海外馬券発売と公正観

折しも3月13日、海外主要レースの馬券発売を解禁する競馬法改正案が閣議決定された。今国会で審議が順調に進めば6月には成立し、早ければ来年後半にも発売が実現しそうだ。ファンやメディアの関心が高かった案件であり、業界にとっては歓迎すべき一步である。ここで注目すべきは、発売対象競走に関し、「我が国と同等の水準にあると認められる競馬の監督の制度により公正を確保するための措置が講ぜられているも

の」（3条の2）とされた部分だ。非居住外国人馬主の登録解禁の際も、申請者がもとも馬主活動をしていた国の統括機関が、身辺に問題がないと保証した体裁を採った。実績のない人はいきなり申請することは不可能なのだ。馬主登録には日本独自の審査手続きもあるが、海外競走でも、「相手国を信頼する」という考えは同じである。だが、彼

私の公正観の違いは相当に大きい。例えば欧州は、早くから寡占化が進み、主要レースは大手馬主グループ間の集団戦の様相を呈する。ペースメーカーの起用などは典型的で、JRA 競馬施行規程81条（勝利を得る意志がないのに馬を出走させてはならない）に間違いなく抵触する。騎手にしても、レース当日午後には押取り刀で競馬場に入る人が多い。以前、オリビエ・ペリエ騎手が日本の調整ルームを「検疫」と表現したのを聞いた時は苦笑を禁じ得なかった。海外レース発売で気になるのは、こうした公正観の差異を、国内の馬券購入者がいかに受容するか。海外ならスルーされても、日本のファンなら黙っていないような事象が起きたら……。

JRAもこの点を、発売解禁の最大のリスクと考えていた。裁決のルールは、こうした公正観の差異が最も顕著に現れる部分だ。日本では13年から、カテゴリー1と呼ばれる方式を導入。根本に流れる思想は、「疑わしきは通過順通りに」である。被害馬と加害馬の直接の関係性

のみに着目することで、失格・降着を大幅に減らし、騎手への罰則強化でラフプレーの抑止を図る方向性だが、今なお違和感を感じる人は多い。こうした日本の公正観は、ギャンブルに対する否定的な観点を多分に反映している。施行者側はマイナスイメージを払拭するため、形式主義的な規制に走り、ファンも引きずられるように競馬に潔癖さを期待しているように映る。だが、馬というブラックボックスが存在する以上、競馬に一定の緩さ、いい加減さがつきまとうのは避けられない。その意味では、欧州的なルールの方が、競馬の生理に合致していると思う。海外レース発売解禁を機に、日本も多少とも寛容さが広がって行けば、というのが個人的な思いである。

日本の春競馬を 盛り上げるために

このところ日本馬の海外遠征がずいぶん目立つようになってきた。

今年に入って、まず2月下旬に4頭が豪州へ。このうちリアルインパクトがジョージライダーS(豪GI)を逃げ切つて、さつそくの朗報。このレースで11着のワールドエースともども、次走は大目標のドンカスターマイル(豪GI)だ。

残る2頭のうち、トーセンスタッドムは現地初戦のランベックS(豪GI)で2着に入り、トウザワールドとともに大一番のクイーンエリザベスS(豪GI)へ向かう。

うちから、これほど海外遠征馬が目につく年は初めてだ。これは今年だけの現象ではなく、

JRAの春競馬に大変革がもたらされない限り、来年以降もおなじみの光景となろう。海外雄飛が目立つのは、国際競馬の一翼を日本馬が担っているあかきであり、それ自体は望ましいことである。しかし、このことは取りも直さず、春の日本に魅力的な古馬のレースがないことを物語っているのではないか。このあと4月末のクイーンエリザベス2世S(香港GI)にも、きつと何頭か、日本馬が参戦することになるだろう。

日本の春競馬には、牝馬限定のヴィクトリアマイルを除く

春競馬を 充実させるためには

と、4歳上の平地芝GIがたった2つしかない。スプリンターのための高松宮記念と、ステイヤーのための天皇賞・春。なんと両極端であることか！

競馬の基本となる1600mや2000m、2400mの古馬のGIがひとつもない！これでは一流古馬が海外へ目を向けるのも当然だ。

それに、日本の競馬は賞金の高いことで知られてきたが、近年になって主要レースの賞金が地盤沈下してきた。ドバイシーマクラシックとドバイターフ(昨年までのドバイデューティフリー)は、今年から総賞金が100万ドル増の600万ドルとなり、ともに1着賞金は360万ドル(約4億3200万円)となった。これは凱旋門賞を抜いて、芝



レースの世界最高賞金である。JRAも対策に乗り出し、今年からジャパンCの1着賞金は5000万円アップの3億円となる。しかし、この程度ではドバイの両レースに水をあけられたままだ。ほかに今年から有馬記念の1着賞金が2億5000万円となり、天皇賞・春秋と宝塚記念の1着賞金は1億5000万円となる

が、この程度の賞金増では、もはや世界は驚かない。

上で触れたクイーンエリザベスSの1着賞金は240万豪ドル(約2億2200万円)である。これは芝2000mの世界最高賞金であり、同じ芝2000mの香港カップの1着賞金も1425万香港ドル(約2億2040万円)で同レベル。これと同じ距離の天皇賞・

石川ワタル

【著者略歴】
1947年 愛知県出身。競馬評論家。

海外の競馬に精通し「優駿」誌上で海外ニュースを担当。凱旋門賞を初めて観戦したのは1975年。以来、日本の馬が勝つことを信じて毎年のように足を運んでいる。おもな著書に「石川ワタル、世界をワタル」「石川ワタルの世界ワンダーホース列伝」(ともに東邦出版)「石川ワタルの競馬理論」(自由国民社)

秋は、今年から賞金増といっても上のごとくで全然追いついていない。

これもすでに触れたドンカスターマイルの1着賞金は180万豪ドル(約1億6650万円)である。年末の香港マイルは、この上をいく1311万香港ドル(約2億280万円)で、1マイル(1600m)の世界最高額だ。これに対し、同じ距離の安田記念とマイルチャンピオンシップの1着賞金は、1億円ぽつきり。この落差、あまりに凄すぎる！

また昨年末の香港スプリントの1着賞金は1054万5000香港ドル(約1億6310万円)であり、同じ1200mの高松宮記念とスプリンターズSの

9500万円とは、比較にならない。日本の主要G1の賞金は、もはや世界トップクラスとはいいたい。

JRAは今年から、GⅡの7レースについても1着賞金を昨年比300万円アップとした。阪神大賞典、日経賞、大阪杯、札幌記念、オールカマー、毎日王冠、京都大賞典の各レース。JRAが古馬の芝中長距離路線の強化に乗り出したのはいいけれど、この程度の増額は……。

JRAが当面なすべきことは、主要G1の賞金を世界トップレベルに引き上げること、そして手薄になった春開催の充実



宝塚記念の施行時期を早めることが、春競馬をさらに盛り上げることにつながる

を図ること、この2点だと思う。

宝塚記念の有効活用を

JRAの秋競馬には「ジャパン・オータムインターナショナル」と称する一連の目玉開催がある。11月中旬のエリザベス女王杯からマイルチャンピオンシップ、ジャパンC、チャンピオンズC(旧ジャパンCダート)まで4週続くGⅠシリーズだ。ワールドスーパージョッキーズシリーズも、昨年までの時期の阪神や東京で行われていたが、今年から夏の札幌開催に移される。

これに対し、十年一日のごとく変わり映えしないのが春競馬である。3歳クラシックはあるけれど、それは4月中旬以後のことであり、競走馬の数で一番多い4歳以上の中距離馬にとって、華やかな活躍の場がないのは寂しい限りだ。

この時期、豪州やドバイ、香港などの高額賞金を求めて遠征するのは、結果的に日本馬の評価を高める機会にもなり、大いに意義がある。それはいいが、この時期の日本にもっと海外から興味を持たれるようなレース

が欲しいのだ。今年は高松宮記念に香港のエアロヴェロシティが参戦する。しかし天皇賞・春と合わせ、この2レースに外国馬が出走するケースはごく限られている。

春にひとつ、1着賞金3億円くらいの、古馬中距離の国際レースが欲しい。距離は最近の世界標準から2000mがいだろうか。開催日は皐月賞と天皇賞・春に挟まれてGⅠのない日曜日、今年でいえば4月26日がいい。これが実現すれば、桜花賞、皐月賞からダービー、安田記念まで、8週連続でビッグレースが並ぶことになり、壮観だ。この国際レースは新設でもいいし、3週前の大阪杯あたりをここへ移し、ついでに海外へのアピールを兼ねて改称してもいいだろう。

さらに、宝塚記念を2週間倒して、安田記念の翌週とするのもいい。こうなれば主要レース連続開催をもう1週楽しめる。今のままでは安田記念のあとGⅠのない2週間が続き、競馬ファンにはこれがなんとも寂しい。宝塚記念は以前、5月末か6月第1日曜に行われていた。3歳のダービー組の出走を

促すため施行時期を遅らせたが、3歳馬はここで好成绩を残せず、最近は出走すること自体が稀だ。宝塚記念は今回同じ3歳以上という出走条件のまま、施行日を早め、以前のように春競馬の最後に組み込んだほうがいい。こうなれば春競馬が一気に充実すること、間違いなしだ。

天皇賞・春の距離短縮案には反対

最近、天皇賞・春の距離を短縮すべきだという声も耳にするが、僕は賛成できない。天皇賞はかつて春秋とも3200mだった。秋は1984年から2000mに短縮され、その上、春も2000mになった。日本の競馬から伝統と格式の持久力レースが消えてしまう。サラブレッドの頑健な体質をもたらすのは優秀なステイヤーである。母の父としてドリームジャーニー、オルフェーヴル、ゴールドシップの華のGⅠトリオを輩出したメジロマックインは、天皇賞・春を2勝した。この天皇賞・春の距離を短縮したら、やがて日本馬の血統は衰退を招くであろう。

3200m)の例もある。短距離志向の強いオーストラリアにあって、きわめて珍しい長距離戦でありながら、豪州最高の人気を保持している。11月第1火曜のレース当日は、ヴィクトリア州の学校も官庁も銀行もみんな休み。国民あげてこの競馬の祭典を祝う。近年は欧州や日本からの出走馬も増え、次代へ受け継がれる伝統の国際レースという意味合いも強い。その高いステータスを維持するため、賞金は豪州トップの総額620万豪ドル(賞杯の20万豪ドル分を含む)で、1着賞金360万豪ドル(約3億3300万円)はジャパンCよりも高額だ。

オーストラリアのステイヤーは数が少なく、メルボルンCはレースを面白くするためハンデ戦で行われている。日本はまだまだ潜在的ステイヤーに不足はなく、天皇賞・春が定量戦なのは、レースの水準を維持する上でも有意義で素晴らしいことだと思おう。

天皇賞・春よ、永遠に……。そして春競馬の改革は待たないだ。

JRA 平成27年度の事業計画、及び収支予算決まる

**総予算は2兆5000億円台に復活
競走事業費は31億3000万円増
生産牧場賞、繁殖牝馬所有者賞も増額へ**

JRA日本中央競馬会は11月21日、平成27年度事業計画及び収支予算を発表した。27年度も「JRAは、毎週走り続けます」を経営の基本方針に10競馬場で合計36開催288日を予定。競馬番組の充実、競馬場を中心とした現金発売施策の活性化、集中的なプロモーションの実施とその効果の波及に関する取組み、競馬の国際化に関する取組みの4項目を重点事項としてあげている。

なお、収入支出予算の総額は前年対比104.2%の2兆5109億4000万円（うち勝馬投票券発売金2兆4255億9000万円含む）。競走事業費は前年対比31億3000万円増の1228億5000万円が予算化された。

27年度事業の4本柱

中央競馬会の売り上げは平成24年度から3年連続で発売金が前年をうわまわるなど、堅調に推移しているものの少子高齢化や多様化するレジャー産業間の競争も激化しており、中央競馬をとりまく環

境は楽観視できない状況にある。そうした状況を打破し、将来にわたって安定的な事業運営基盤を構築するため、より効果的・効率的な施策を迅速かつ積極的に実施していく。とくに、競馬の魅力をさらに高めて提供し、ファンの利便性及び満

足度の向上を図るために、以下の4点が重点事項としてあげられた。

①競馬番組の充実

内国産馬と外国産馬が競い合いながら頂点のGⅠ競走へ向かうという競走体系を構築し、質の高い、能力の拮抗した出走馬により充実した競走を提供。また、頂点であるGⅠ競走においては世界の競馬地図の中に位置づけられること。

②競馬場を中心とした現金発売施策の活性化

ビギナーズセミナーなど競馬案内ブースの充実により新規ファン、及びUMAJO（馬女）スポット、ファミリーイベント、アクティブシニア層向け実践型競馬教室などを積極的に展開し、ファン層の底辺拡大を目指す。また、周辺観光地などと連携し、来場のきっかけづくりを行う。

③集中的なプロモーションの実施とその効果の波及に関する取組み

競馬の頂点である日本ダービーはじめ第60回を迎える有馬記念ほか開設90周年を迎える京都競馬場、及び開設50周年を迎える新潟

競馬場の記念事業などを軸としたプロモーション活動、及びファンサービスを行う。

④競馬の国際化に関する取組み

国際競走が興味ある競走となるよう「ジャパン・オータムインターナショナル」をはじめとしてGⅠ競走への国内外の一流馬の参加を促進。また、国際競馬シリーズである「グローバル・スプリント・チャレンジ」に参加するとともに参加国と連携し、シリーズの振興を図る。その一方で、アジア競馬連盟加盟国の競馬関係者に対し、競馬に関する知識、専門技術の研修などを通してアジアにおける競馬の発展に貢献する。

生産牧場賞、 内国産馬奨励賞が増額

競走事業費予算の拡大により、 生産牧場賞、及び繁殖牝馬所有者 賞の一部が増額となった。ともに 重賞競走では昨年のもまだが、平 地特別競走については1着から3 着までの間で5万円増額されて総 額81万円。平地一般競走について

競走事業費予算の拡大により、生産牧場賞、及び繁殖牝馬所有者賞の一部が増額となった。ともに重賞競走では昨年のもまだが、平地特別競走については1着から3着までの間で5万円増額されて総額81万円。平地一般競走について

は、同じく3万円の増額で総額53万円となった。

また、内国産馬が平地競走の新馬、未勝利戦に優勝した場合などに馬主に対して支払われる内国産馬奨励賞も増額。内国産牝馬奨励賞も引き続き事業が継続され、生産地にとっては、追い風となっている。

地方交流重賞競走の 出走馬決定方法が変更

地方競馬における古馬ダート交流重賞（JpnⅡおよびJpnⅢ）については、近走の成績優秀な馬がより出走しやすくなるよう、中央競馬所属馬の出走馬決定方法が変更される。これまでは、すべての馬が通算の取得賞金の多い馬から選ばれるように規程されていたが、15年からは上位4位以下の馬については通算の取得賞金は考慮されず、過去1年の取得賞金、及び過去2年におけるGⅠ競走の取得賞金の多いものから選ばれるようになる。これにより、競走内容の充実が図れることになる。

平成27年度競走事業費予算

(百万円)

目	細目	備考	26年度予算	27年度予算	増減額	概要
競馬賞金	賞金		78,273	80,089	1,816	前年対比102.32%増額予算
	本賞		66,772	67,923	1,151	①一部重賞競走の第1着賞金の増額 ②一部一般・特別競走の第1着賞金の増額
	距離別出走奨励金		217	469	252	3(4)歳の競走に限定し、交付対象距離及び交付対象競走を拡大
	内国産馬所有奨励賞		2,288	2,485	197	内国産馬奨励賞(1~5着)の2歳新馬・未勝利競走及び3歳新馬・未勝利(春季)の交付単価を増額
	出走奨励金		6,201	6,469	268	①古馬GII競走(芝1800m以上の競走に限る)特別出走奨励金(9着以下に100万円)新設 ②ワールドオールスタージョッキーズ特別出走奨励金増額 ③本賞連動分
	競走取りやめ金等		20	20	0	
	交流競走協力金等		2,775	2,723	▲52	①重賞交流競走競走協力金の減 ②条件交流競走編成数の減 ③特別出走手当(9着以下減額緩和)の連動分
	褒賞費		297	297	0	
	商品費		1,125	1,168	43	500万円以下特別競走商品の増額
	小計		79,695	81,554	1,859	前年比102・33%増額予算
競走馬管理諸費	生産者賞		3,813	4,002	189	
	生産牧場賞		1,880	1,983	103	一部の交付単価の増額
	繁殖牝馬所有者賞		1,933	2,019	86	同上
	競走手当		20,336	20,982	646	
	特別出走手当		18,854	19,419	565	①3(4)歳以上芝1800m以上の平地競走出走馬に3万円加算 ②障害競走の出走馬に1万円加算 ③9着以下減額措置を緩和
	調教師出走手当		201	201	0	
	厩務員手当		481	482	1	
	競走協力金		800	880	80	8,000万円の増額
	馬主協会賞		400	450	50	5,000万円の増額
	小計		24,549	25,434	885	前年比103・61%総額予算
合計		104,244	106,988	2,744	前年比102・63%増額予算	
事故見舞金等	競走馬事故見舞金等		14,656	15,043	387	
	事故見舞金		14,442	14,827	385	競走馬事故見舞金(1号~15号)の交付単価の増額
	管理費		214	216	2	
	小計		14,656	15,043	387	前年対比102・64%増額予算
総合計		119,721	122,852	3,131	前年対比102・62%増額予算、含む付加賞8億2,100万円=前年同額	
発売金予算		2,342,927	2,425,586	82,659	前年対比103・53%総額予算	

内国産馬奨励賞 (万円)

競走	第1着	第2着	第3着	第4着	第5着		
2歳	新馬競走	130	52	33	20	13	
	未勝利競走	100	40	25	15	10	
3歳	新馬競走	100	40	25	15	10	
	未勝利競走	春季	80	32	20	12	8
		夏季	40	16	10	6	4
		秋季	20	8	5	3	2

内国産牝馬奨励賞 (万円)

競走	第1着	第2着	第3着	
2歳	新馬競走	120	48	30
	未勝利競走	70	28	18
3歳 (春季のみ)	新馬競走	60	0	0
	未勝利競走	30	0	0

生産牧場賞 (万円)

競走	第1着	第2着	第3着	第4着	第5着
GI競走	100	40	25	15	10
外国調教馬の出走があった場合	150	60	38	23	15
その他重賞競走	65	26	16	10	7
外国調教馬の出走があった場合	95	38	24	14	10
重賞競走以外の平地特別競走	43	17	11	6	4
外国調教馬の出走があった場合	53	21	13	8	5
平地一般競走	32	13	8	0	0

事故見舞金規程 (万円)

号数	事故の種類	見舞金額(万円)	前年比増
1	競走中の安楽死	590	30
2	調教中、輸送中の安楽死	575	25
3	競走中の競走能力喪失	550	20
4	調教中、輸送中の競走能力喪失	545	25
5	競走中の12ヶ月以上休養	360	20
6	調教中の12ヶ月以上休養	355	25
7	競走中の9ヶ月以上休養	325	15
8	調教中の9ヶ月以上休養	320	20
9	競走中の6ヶ月以上休養	280	35
10	調教中の6ヶ月以上休養	275	40
11	競走中の3ヶ月以上休養	215	20
12	調教中の3ヶ月以上休養	210	25
13	法定伝染病以外の疾病等による死亡	560	20
14	馬伝染性貧血による死亡、安楽死	475	20
15	法定伝染病などによる死亡	560	20
16	四肢その他故障による競走能力喪失	70	0
17	屈腱炎以外の疾病による6ヶ月以上休養	140(未出走除く)	0
		2回目以降70	
18	屈腱炎による9ヶ月以上休養	150	0

世代別抹消給付金(抹消給付金+給付金付加金) (万円)

年齢	出走回数	春季以前 (1月1日から6月5日まで)		夏季以降 (6月6日から12月31日)	
		抹消給付金	給付金付加金	抹消給付金	給付金付加金
2歳	未出走	125 (30)			
	1~4回	150 (55)			
	5回以上	190 (95)			
3歳	未出走	125 (30)		85 (30)	
	1~4回	150 (55)		110 (55)	
	5回以上	190 (95)		150 (95)	
4歳	未出走	85 (30)			
	1~4回	110 (80)			
	5回以上	150 (95)			
5歳	未出走	85 (30)		55 (30)	
	1~4回	110 (55)		80 (55)	
	5回以上	150 (95)		120 (95)	
6歳以上	未出走	55 (30)			
	1~4回	80 (55)			
	5回以上	120 (95)			

カッコ内は抹消時にオープン、または準オープン級の場合

|||||||||||||||||||| 新人騎手紹介 |||



野中 悠太郎 のなか ゆうたろう

1996年12月29日生(18歳)
 福岡県出身
 根本康広厩舎(美浦)
 平成24年4月JRA競馬学校騎手課程入学
 平成27年2月JRA競馬学校騎手課程卒業

騎手を目指したきっかけ

家の近くに小倉競馬場があり、小学校4、5年生の時に父に連れて行ってもらいました。その時、競馬の迫りに感動したことがきっかけです。特に小倉記念を勝ったダンスアジョイに騎乗していた角田騎手の姿が印象に残っています。

どんな騎手になりたいか(目標とする騎手)

戸崎騎手を目標としています。騎手である前に1人の大人として尊敬される人になりたいです。また、競馬において高い成績を残せるような騎手になりたいです。

今後の抱負

早く競馬に慣れて、新人賞を獲得する事です。また、お客様の馬券に貢献できる騎手になりたいです。



加藤 祥太 かとう しょうた

1997年3月8日生(17歳)
 大阪府出身
 庄野靖志厩舎(栗東)
 平成24年4月JRA競馬学校騎手課程入学
 平成27年2月JRA競馬学校騎手課程卒業

騎手を目指したきっかけ

小学校の時に父に初めて阪神競馬場に連れてきてもらいましたが、目の前の競走馬や騎手を見て憧れを抱き、騎手を目指すようになりました。

どんな騎手になりたいか(目標とする騎手)

目標の騎手は、武豊騎手です。人間性や技術面で周りから認められ、結果も出せる騎手だからです。

今後の抱負

技術面でも人としても自分を磨いて、今年は新人賞がとれるようにがんばります。



鮫島 克駿 さめしま かつま

1996年10月8日生(18歳)
 佐賀県出身
 浅見秀一厩舎(栗東)
 平成24年4月JRA競馬学校騎手課程入学
 平成27年2月JRA競馬学校騎手課程卒業

騎手を目指したきっかけ

父が騎手で、自分が小学生のときに兄も騎手になり、騎手に強い憧れを抱きました

どんな騎手になりたいか(目標とする騎手)

目標の騎手は、福永祐一騎手・四位洋文騎手です。謙虚な気持ちを忘れずに、馬の能力を最大限に引き出せるような騎手になりたいです。

今後の抱負

新人らしくがむしゃらにがんばりたいです。感謝の気持ちを忘れずに、謙虚な姿勢で、多くの勝ち星を挙げたいです。



三津谷 隼人 みつや はやと

1996年12月25日生(18歳)
 滋賀県出身
 目野哲也厩舎(栗東)
 平成24年4月JRA競馬学校騎手課程入学
 平成27年2月JRA競馬学校騎手課程卒業

騎手を目指したきっかけ

父が厩務員ということもあり、幼い時から競馬を見る機会が多く、騎手をかっこいいと思うようになりました。

どんな騎手になりたいか(目標とする騎手)

目標の騎手は、幸英明騎手・国分優作騎手です。二人のようにダイナミックな騎乗ができるようになり、誰からも愛される騎手になりたいです。

今後の抱負

日々の努力を忘れずに、向上心を持ち、新人賞を目指したいです。



クリストフ・ルメール

1979年5月20日生(35歳) 国籍:フランス
 フリー(栗東)
 1999年 仏France Galop 騎手免許取得
 2002年 JRA短期免許初取得
《JRA通算成績》
 1964戦245勝(重賞18勝うちGI5勝)
 2005年 有馬記念(ハーツクライ)
 2008年 ジャパンカップダート(カネヒキリ)
 エリザベス女王杯(リトルアマポーラ)
 ジャパンカップ(ウオッカ)
 2009年 ジャパンカップ(ウオッカ)
 2013年 ジャパンカップダート(ベルシャザール)

今後の抱負

今日は自宅で合格を知りましたが、本当に嬉しいです。日本の競馬は世界で一番だと思っています。今日の合格は新しい騎手人生の始まりだと思っています。今まで日本で騎乗した13年の経験を活かしていきたいです。怪我の状態も順調に回復しておりますので、3月1日には騎乗できるようになると思います。日本のファンの皆様には、いつも応援ありがとうございます。これからもたくさん勝ちたいと思っています。日本の馬でビッグレースに勝ちたいと思っています。一生懸命がんばります。



ミルコ・デムーロ

1979年1月11日生(36歳) 国籍:イタリア
 フリー(栗東)
 1994年 伊UNIRE騎手免許取得
 1999年 JRA短期免許初取得
《JRA通算成績》
 2378戦354勝(重賞31勝うちGI10勝)
 2003年 皐月賞、日本ダービー(ネオユニヴァース)
 2004年 皐月賞(ダイワメジャー)
 2008年 ジャパンカップ(スクリーンヒーロー)
 2010年 有馬記念(ヴィクトワールピサ)
 2012年 天皇賞(秋)(エイシンフラッシュ)
 2013年 皐月賞(ロコタイフ)

今後の抱負

香港で調教騎手を終えて戻ったところにお知らせをいただきました。すごく嬉しくて泣きそうぐらい興奮しています。日本で15年騎乗させていただき、第二の故郷と思うくらい日本を好きになり、いつか日本のジョッキーになるのが僕の夢となりました。二度目の受験で、競馬に関する知識はありましたが、それを日本の言葉で勉強し、香港で騎乗しながら試験に挑むのはたいへんなことでした。数々のサポートをくださった皆様、そして、応援してくださった日本のファンの皆様、本当にありがとうございます。日本競馬の一員になることができ、本当に嬉しいです。日本競馬のために、そして自身の成功のために、3月からの騎乗でベストを尽くしたいと思います。

||||| 新規開業調教師紹介 |||||



池上 昌和

いけがみ まさかず

昭和49年10月6日生
東京都出身

早稲田大学理工学部応用物理学卒業
アメリカ、イギリス、フランスなど約3年間の海外研修
美浦トレーニングセンター池上昌弘厩舎で調教助手として師事
平成27年美浦トレーニングセンターで開業



竹内 正洋

たけうち まさひろ

昭和54年1月11日生
千葉県出身

平成15年獣医師免許取得
平成18年美浦トレーニングセンター国枝栄厩舎で厩務員として勤務。その後、同矢野照正厩舎、同奥村武厩舎で攻専調教助手として9年間勤務
平成27年美浦トレーニングセンターで開業



中舘 英二

なかだて えいじ

昭和40年7月22日生
東京都出身

昭和59年騎手デビュー
通算1869勝(地方含む)
重賞33勝(地方含む)
GI4勝(地方含む)
平成27年2月騎手引退
平成27年美浦トレーニングセンターで開業



池添 学

いけぞえ まなぶ

昭和55年9月2日生
滋賀県出身

平成26年調教師免許取得
平成27年栗東トレーニングセンターで開業



奥村 豊

おくむら ゆたか

昭和52年8月26日生
滋賀県出身

平成13年ビッグレッドファームに就職
栗東トレーニングセンター五十嵐忠男厩舎、同藤岡健一厩舎で調教助手として勤務
平成27年栗東トレーニングセンターで開業



西村 真幸

にしむら まさゆき

昭和51年1月11日生
北海道出身

平成14年栗東トレーニングセンター友道厩舎に勤務
平成18年同岩元厩舎に勤務
平成26年同矢作厩舎に勤務
平成27年栗東トレーニングセンターで開業



松下 武士

まつした たけし

昭和55年12月14日生
大阪府出身

平成11年3月 近畿大学付属高等学校卒業
同 8月 プリンスホースパーク入社
同 11月 同退社
同 12月 下総トレーニング入社
平成15年6月 同退社
平成16年1月 栗東トレーニングセンター安田伊佐夫厩舎に勤務
平成21年3月 同武田博厩舎に勤務
同 6月 同清水久詞厩舎に勤務
平成27年栗東トレーニングセンターで開業

コンフォメーション(相馬学)について

日本中央競馬会 日高育成牧場副場長 石丸睦樹

はじめに

「コンフォメーション」とは、馬の外貌から判別することができる骨格構造、身体パーツの長さ、大きさ、形状やバランスのことをいい、「相馬」とほぼ同義語といえます。コンフォメーションが良い、すなわち力学的に無駄がない骨格構造をしている馬は、効率よくスムーズに走ることが可能です。したがって、強い運動時における関節等への負担や筋肉疲労も少ないものと考えられます。

検査手順

駐立時の一般的な検査手順を記します(図1)。まず、馬を駐立させ、左側面から馬体の印象等を観察します。次に前方にまわり、前望から肢軸等を観察します。続いて、右側を観察し左側の印象と比較します。最後に、後望を観察したのち、左側に戻ります。

駐立検査後、常歩による歩様検査を実施します。通常の検査では、検査者から

①左側面
印象
バランス
前・後肢コンフォメーション

②前面
前肢の肢軸
四肢の腫脹等確認

③右側面
たてみがある場合の印象

④後面
後肢の肢軸

⑤左側面
最終確認

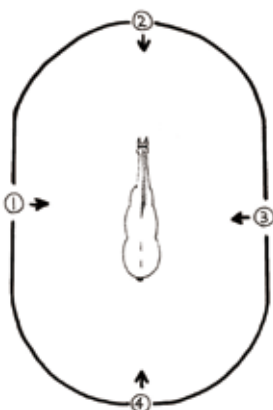


図1 検査の手順

常歩で10 mほど遠ざかり、右回りに小さく回転して、まっすぐ検査者に向かって戻ります。これを、再確認を含めて2回繰り返します。検査者は、馬が人から遠ざかる際に後肢の歩様を、戻ってくる際に前肢の歩様を観察します。

以下に、コンフォメーションを評価する際の着眼点を述べます。当然ですが、まず、馬が健康であることが大切です。健康な馬は、生き生きとした目をし、人に対して従順で活発な動作をします。馬

の立ち居振る舞いや一挙一動も観察することが必要です。

バランスとプロポーション

馬体の上下や前後のバランスの良い馬は美しく安定して見えます。前方や後方から見たときにシンメトリー(左右対称)かどうか、確認します。体高(地面からキ甲までの高さ)と体長(胸前から臀端までの水平距離)が等しい馬は、古典的には均整がとれた美形とされています。サラブレッドにおいては、やや体長が体高よりも長いものが標準とされています。なお、1歳馬では、尻の高さの方が体高よりも高い後高とも高ですが、多くが成長に伴い、ほぼ等しくなります。

上下のバランスをみますと、胸長(キ高から胸の下部までの垂線の長さ)と肘から球節までの前肢の長さが概ね等しいものが標準とされています(図2)。胸長のことを「胸の深さ」といいますが、胸の深い馬は、競走馬のエンジンである肺や心臓を収める容量が大きいことを示唆しています。また、長肢の馬はスピー



図3 前後のバランス



図2 上下のバランス

ド発揮に適している面もありますが、安定が悪く疲れやすいといわれています。

前後のバランスをみる際には、肩甲骨後縁と腰角前縁を境界にして、胴を、前駆、中駆、後駆に分けます。その長さが各々等しいものを標準としています(図3)。

特に、中駆が短く前・後駆、特に後駆が発達している馬は「長躯短背」と呼ばれます。このような馬は胸が深く肩の傾斜が大きいので、背の長さよりも下腹部の長さ(肘からひ腹まで)の方が長く見えます(図4)。



標準的なくびさし (頸椎はゆるやかなS字カーブ) 鹿頸 (頸椎の下部カーブが大きい)

図6 頸椎とくびさし

頭と頸

草食動物である馬は、肉食動物に襲われる危険からいち早く逃げる必要があります。馬は、両眼の間隔が離れており、

単眼視を行うことで、広い視野を確保することができず。目は大きく澄んでおり、適度に離れている必要があります。

肺に十分な酸素を供給するためには、鼻腔は大きく、左右下顎骨間の喉頭部の幅が十分に広くなければなりません。

運動時にバランスをとるためには、頸を上手に使う必要があります。標準的な頸長(項からキ高までの長さ)は、頭長(項から鼻端までの長さ)の1.5倍といわれています(図5)。頭部が大きく重いと、



頸長は、頭長の1.5倍 頸長は、肢の長さと同じ

図5 頭長を基点としたプロポーション

前肢にかかる負担が大きくなります。

頸椎は肩甲骨の中央部から頭部まで緩やかにS字状のカーブを描きますが、「くびさし」の悪い鹿頸では、下部のカーブが深く、肩甲骨と交わる位置が低くなります(図6)。このような頸は頸の運



標準的なくびさし (頸椎はゆるやかなS字カーブ) 鹿頸 (頸椎の下部カーブが大きい)

図6 頸椎とくびさし



標準的な肩 立ち肩

図7 肩の傾斜と繋の角度



図8 尻

肩と胸

動の可動域が制限され、ハミ受けが悪くなります。なお、項から頸、キ甲、背、腰から尾に至るトップラインは滑らかなスムーズに移行していることが大切です。

前肢を前方に伸展するためには、肩の十分な傾斜と長さが必要です。肩の角度は、肩甲骨の角度、すなわち、キ甲から肩端の角度で判断することができます。概ね45〜50度が標準とされており、前肢の繋の角度とほぼ同一になります(図7)。肩の立った馬は繋も立っており、歩様は反動が硬く、弾力に乏しい歩様になります。

広すぎる胸前(間口が広い)をもった馬は、敏捷性に欠きスピードが軽減しま

背と尻

す。一方、両前肢間に余裕がない狭すぎる胸もよくありません。

長い背や凹背とよばれる反った背は、背の筋肉を痛めやすいとされています。背が盛り上がった形状をした鯉背は、ストライドが短くなり、また反動も高く乗りにくくなります。

尻の角度は上縁のラインではなく、骨盤の角度、すなわち、腰角から臀端までの角度で判断します(図8)。標準的な角度は約20度です。上縁および骨盤の傾斜が著しいものを「斜尻」とよび、十分な幅のないものは強い推進力を期待することができません。また、そのためには大腿骨の十分な長さも必要です。

前肢

馬は体重の約65%を前肢で負重するといわれていますので、前肢のコンフォメーションはとりわけ重要です。

筋肉が発育し十分な長さがある前腕と、比較的短い管は、大きなストライドを得るうえで大切です。腕節や球節は十分な巾と大きさが需要で、また、腱や靭帯が外貌から明瞭に見える管は丈夫で健康です。

凹膝と呼ばれる反った腕節は、屈腱や腕節に対する負担が大きく、屈腱炎や剥離骨折を発症しやすいといわれています。



凹膝

弯膝

窄膝

図9 腕節



標準

臥繫

起繫

図10 繫



軽度のX脚

オフセットニー

図11 腕節



外向

内向

図12 外向と内向

後肢

腕節が前方に屈曲した弯膝は靭帯や屈腱に負担がかかりますが、軽度の弯膝は凹膝ほど問題になりません。腕節の直下がしぼれて狭くなっているものは、窄膝とよばれ、腱の発育が不良で好まれません(図9)。

標準よりも長く緩い臥繫は腱に対する負担が大きく、逆に、短く立った起繫は骨に対する衝撃が大きくなります(図10)。

正面から見て、肩端、腕節、球節および蹄が直線状にあることが標準です。両方の腕節が内側に寄ったX脚は、腕節の内側に負担がかかることも外側の靭帯にも負担がかかります。また、前腕と

管骨のラインがずれたオフセットニーは内管骨瘤や腕節の剥離骨折などの問題を起こしやすいといわれています(図11)。

繫と蹄が外に向くものを外向、内に向くものを内向とよびます(図12)。外向は腕節や球節の内側に負担がかかり、球節の剥離骨折などを発症しやすいといわれています。通常、外向は外弧歩様になりますので、交突にも注意が必要です。

一方、内向は内弧歩様となり、内向は腕節や球節の外側に負担がかかります。内弧歩様は動きに無駄が多く、疲労しやすいになります。

後肢からの力強い推進を得るためには、良好なコンフォメーションが必要です。側望では、臀端から地面におろした垂線が管の後面に接するのが標準とされます。また、繫の角度は前肢よりも大きく、50〜55度が標準です。

飛節は十分な幅と大きさが需要です。十分な幅のない飛節や、飛節から管に移る部位が急にしぼれて細くなっている窄飛は、腱や靭帯の発育不良がみられあまり好ましくありません(図13)。標準とされるものよりも飛節の角度が小さい



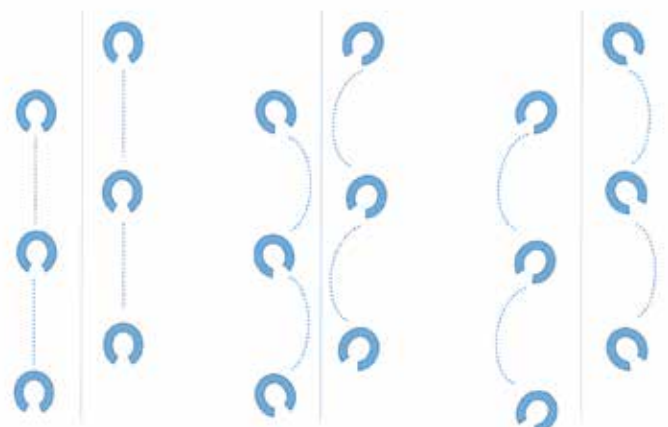
標準 幅のない弱い飛節 窄飛
図13 飛節①



曲飛 曲飛(後踏み肢勢) 直飛
図14 飛節②



標準 X状肢勢 狭踏肢勢
図15 飛節③



標準 外弧歩様 内弧歩様
図16 歩様

曲飛は、飛節後面に負荷がかかり飛節後腫を発症しやすいといわれています。また、脛骨が長く、臀部から下ろした垂線よりも後踏み肢勢をとる折れの深い飛節は曲飛ほどではありませんが、動きに無駄が多いので疲労しやすいといわれています。直飛は飛節の角度の大きいもので、飛節構成骨に負荷がかかりやすく、膝蓋骨の上方固定（いわゆる膝蓋脱臼）を発症しやすいといわれています（図14）。

後望からみた後肢の肢軸は、臀部から地面にまっすぐ垂線をおろして評価をします。垂線が飛節を通り管および蹄の中央を通過するものを標準肢勢としています。後肢のX状肢勢は、飛節の内側に

負荷がかかり、外向肢勢を伴うことが多いので交突にも注意が必要です。一方、O状肢勢は飛節の外側に負荷がかかるとともに疲れやすく、狭踏肢勢をとまうと十分に踏み込むことができません。両者ともに飛節内腫、軟腫および後腫等の発症に注意が必要です（図15）。

歩様

歩様は、肢勢と立ち方に規定されます。胸が狭く肢を広く踏む広踏または外向蹄では外弧歩様、胸が広く肢を狭く踏む狭踏または内向蹄では内弧歩様を示します（図16）。

立ち馬では肢軸を評価しづらい場合もありますが、実際に歩かせてみると肢軸のコンフォメーションは比較的容易に判別できます。

おわりに

馬主の皆様がセリ市場で馬を購入する際に、コンフォメーションの知識は大切です。また、オフセットニー等、一部のコンフォメーションは遺伝することが知られており、繁殖牝馬配合時の種牡馬選択にも活用することができます。

競馬においては、血統、気性、敏捷性など、コンフォメーション以外の要素も

能力発揮に大きく関わっています。極端な言い方をすると、肢がまっすぐで凡庸な馬がいいのか、欠点があっても速く走って競馬で勝つ馬がいいのかというと、後者が正しいといわざるを得ません。そのように考えると、コンフォメーションは馬の個性の一つと考えられると思います。したがって、馬を検査する際は欠点よりも長所を探すことを忘れてはなりません。また、1歳馬においては今後の成長を見極めて評価することも大切です。

温故知新、 知恩報恩のこころ



伊藤佳幸さん
日高郡
新ひだか町在住
(有)グランド牧場代表

昨年11月、私どもの生産馬サンピスタが岩手県の盛岡競馬場で行われたJBCレディスクラシック(JpnI)に優勝することができました。当日は、多くの方に応援をいただき、馬はそれを力に変えることができました。馬主はじめ、調教師、騎手ほか、この馬にたずさわったすべての方に感謝と、お礼を申し上げたいと思います。また、グランド牧場にとりましてはスズカマンボ、それからラブミーチャンに続くGI/JpnI勝利となりますが、この馬は、父スズカマンボも、母ホワイトカーニバルも当牧場の生産馬であり、そういう意味でも、冥利に尽きる思いです。

今回、このような機会を与えていただき、改めて思うことは「温故知新」「知恩報恩」の心です。

私は、大学(北里大学獣医学部)を卒業し、牧場を手伝うようになって間もなく父親が病に倒れました。25歳の時です。そして、29歳の時から牧場の経営を任せられるようになったのですが、それからは良いと思うことはどんどん取り入れ、がむしゃらに牧場の経営をしてまいりま

した。しかし、仕事を進めていくなかで、ふと振り返ると先輩方が「勤」や「経験則」でやってきたことが現代の科学分析においても決して間違っていないことにおどろかされます。もし仮に、昔の方々が飼料やトレーニング施設など現代の環境で馬づくりをしていたら、と思うと本当に頭が下がる思いです。先輩方につくっていただいた道筋を無駄にしないためにも恩を知り、恩に報いること。そしてそれらを、自分たちの後に継ぐものに伝えること。今は、そんな心境です。

それから「人」の大切さです。私どもの牧場は北海道と岩手に合計5つの牧場を所有しておりますが、それらをひとりで管理することはできませんので、それぞれの部門に責任者を置いています。ほか獣医師や装蹄師、栄養コンサルタントなどたくさんの方の手を借りながら牧場を運営していますが、大切にしていることは同じ目標にむかってみんなのモチベーションをあげていくことと考えています。せり市場への参加もそのひとつです。プリエミネンスやフェスティバル(日本産牝馬初の米國グレイドレース勝利

馬)を海外の競馬に使ったりしたこと、理由のひとつにもそういったことがありません。良い血統の馬はお金を出せば買えるけれども、その馬を十分に活かすためには、知識と経験をもった人間が必要なのです。角居調教師がサンピスタの優勝祝賀会で「私もグランド牧場生産です」というようなことを言ってくれましたが、嬉しかったです。ご存知の方も多いとは思いますが、彼は以前、当牧場の従業員でした。「馬づくりは人づくり」。やはり、昔の人は良いことを言っています。



JBCレディスクラシックに優勝したサンピスタは父も母もグランド牧場生産

サンピスタに話を戻しますと、あの馬にとつて、大きな転機となったのが、昨年からは馬限定戦になったホッカイドウ競馬のブリーダーズゴールドCであることは言うまでもありません。馬主の方ならよくご存知だと思いますが、準オープン級を卒業したばかりのダート馬は、出走させることが大きな壁になります。この馬も函館のマリーンSで2着となったあと、小倉競馬場で行われる牡馬混合のオープン特別に出走させるプランもありましたが、番組改革の恩恵もあり、運よく重賞の賞金を積み上げることができました。当時、角居調教師が「勝つたことは嬉しいけれども、賞金を加算できたことが嬉しい」と語っていたことを思い出します。ホッカイドウ競馬は、縁あって近年では所有馬を多く預けている競馬場ですが、これもまた「人の縁」が助けてくれたとも思っています。

サンピスタは、今年1年、競走生活を送ったあと、繁殖牝馬として戻ってくる予定ですが、その子供でまたGIを取れる牧場になるために、さらに精度をあげていきたいと考えています。

新任者ご紹介

日本中央競馬会
札幌競馬場専門役
(馬場造園担当)

東良剛氏



この度の定期人事異動で、施設部馬場土木課から札幌競馬場に着任いたしました。

夏競馬の舞台であるこの競馬場には、他の競馬場には無い特別な雰囲気があり、独特の訴求力があると思っています。

海外に目を向ければ サラトガやドヴィル、グッドウッド等、同じく夏競馬を開催する競馬場にも、爽やかな気候も相まって風光明媚な雰囲気があり、競馬ファンのみならず、様々な人々を惹きつけています。それらの競馬場にも負けない優雅で居心地が良い競馬場を目指し、より多くの方々に来場いただけるよう一杯取り組む所存です。

また、馬産地に程近いこの地で勤務できることも非常に光栄に存じます。この環境を生かして、生産をはじめとする様々な知見を広めたいと思っておりますので、会員の皆様方のご指導とご鞭撻をいただきますよう、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

※平成11年入会。施設部、阪神競馬場、美浦T.C、京都競馬場、施設部を歴任。富山県出身。

日本中央競馬会
札幌競馬場
総務課長

小林錦司氏



この度の定期人事異動により、総務部総務課から札幌競馬場に着任いたしました。北海道勤務は初めてとなりました。

着任後の挨拶回りでは、札幌競馬場の新スタンドに関心を持っている方が、競馬産業界以外にも多くいることに驚きました。3月には、札幌市が実施する国際会議の歓迎会会場として、新スタンドの一部が利用されるなど、札幌の新しい「名所」として、徐々に注目を集めています。こうした活動が、競馬の盛り上がりにつながるよう、取り組んでいきたいと思っております。

微力ながら、精一杯努力して参りますので、札幌馬主協会の皆さまからのご指導・ご鞭撻のほど、よろしくお願ひいたします。

※平成6年入会。業務部、小倉競馬場、関西広報室、ロンドン駐在員事務所、人事部、お客様事業部、栗東トレーニングセンター、総務部を歴任。大阪府出身。

日本中央競馬会
札幌競馬場
お客様事業課長補佐

甲斐谷友久氏



本年3月1日付の定期人事異動により、競走馬総合研究所から札幌競馬場に着任いたしました。

北海道での勤務は初めてですが、毎年観光に来るほど好きな場所でしたし、久しぶりの競馬場勤務なので、大変うれしく思っております。

今回配属となったお客様事業課(安全対策担当)においては、ご来場頂いたお客様にご満足頂いて、また来たいと思っただけのようなサービスを提供し、館内では安心安全、快適に競馬を楽しめる競馬場を目指していきたいと思っております。

会員の皆様には、ご指導・ご支援を宜しくお願いいたします。

※平成11年入会。栗東T.C、東京競馬場、総務部、中山競馬場、美浦T.C、競走馬総合研究所勤務。東京都出身。

日本中央競馬会
札幌競馬場
施設整備課長

大矢勝一氏



平成23年の人事異動で札幌競馬場に着任して以来、専門役として主に設備を担当して参りましたが、本年3月1日付の定期人事異動により、施設整備課長を命ぜられました。今年で在籍4年目となりますが、新たに担当する仕事の幅が広がり、身の引き締まる思いです。

昨年は、新スタンドのグランドオープンということで、多くのお客様にご来場頂きました。本年の札幌競馬開催も、昨年以上に盛り上がるよう、努力して参る所存でございます。引き続き、会員の皆様のご指導、ご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願ひいたします。

※平成10年入会。施設部、中京競馬場、阪神競馬場、施設部、札幌競馬場専門役を歴任。神奈川県出身。

人と出会い・馬と出会い 人に感謝し・馬に感謝す



苫小牧市在住
北海土建工業(株)代表取締役
矢部道晃さん

父と日高の軽種馬たち

父(幸一)の話を少しさせてください。父は平成2年に馬主資格取得しそれ以来、ここにおられる諸先輩の皆様と馬主として四半世紀活動させて頂きました。馬主とし

て初出走はネスカベローザ号(牝、父タイテム、母シユウエイローザ)。平成2年1月28日東京7R1800芝15頭立て8人氣9着でした。このネスカベローザ号は、競走馬としては勝利することはできませんでしたが、繁殖牝馬として8頭の仔を残し、その仔ホッコリシャープ(父スキャン)は今でも立派に世代を継いでいます。父は、それから長らく勝ち鞍に恵まれず、初勝利は米国産馬ホッコリビューティ号(牝、父ガルチ、母コントレダンス)。平成8年11月30日阪神3R1600芝4番人気での勝利でした、その時の父の歓び様たるや自分

も今まで見たことがなく、まるで子供のようにはしゃいでいたのを思い出します。初勝利をもたらしたホッコリビューティ号にはその後、GI含め初重賞出走も体験させて頂きました。最終的に重賞競走に13回挑戦し2着が最高の着順でしたが、とても思い出のある一頭です。

初重賞制覇をもたらしてくれたのはホッコリアンバー号(牡、父アンバーシャダイ、母クラウンシャトー)。平成14年第4回京都ジャンプステークス(J・GⅢ)で、14頭立て1番人気にて勝利しました。父の大恩人である栗東の浜田光正先生がもたらしてくれた初めての中央競馬の重賞勝利となりました。

この時父は、初めて頂いた重賞レイを見ながら満面の笑みで競馬仲間達と杯を交わしていたことを思い出します。平場では、ホッコリパドゥシャ号(牡、父マヤノトツ

プガン、母ネスカベミューズ)が平成21年第45回新潟記念(GⅢ)を5番人気で勝利。この馬は、母ネスカベミューズも父が所有していた馬でした。この年はサマーシリーズチャンピオンも頂き、翌年のJRAカレンダーに愛馬が掲載された事にも大変喜んでおりました。

ホッコリタルマエ号との出会い

ホッコリタルマエは、平成22年の北海道市場セレクトシヨンセールにおいて現在の調教師である西浦先生と一緒に父が見立て、1500万円で競り落としました。当時、西浦先生は「2勝ぐらいできれば良いですね」と父と話していたようです。父キング

昨年4月に入会させて頂きました、苫小牧にて建設業を営んでおります矢部道晃と申します。

私は、昨年1月、当時繁殖も含め30頭以上を所有していた父(幸一平成25年11月逝去)の遺志を引き継ぐ形で馬主になりました。父の生前は馬のことにはまったく関わっておりませんでしたので、軽種馬のイロハも分からず、はたして自分に馬主が務まるかどうか分からないまま1年が過ぎました。今でも中央競馬会、調教師、牧場、協会の方々などたくさんの方々にいろいろ教わりながら日々勉強しております。



3度目の挑戦でダート界の頂点にたったホッコリタルマエ。不屈の精神で世界を目指す



飾られた8本のGI優勝レイはホッコリタルマエが歩んできた輝かしい足跡だ



すべては、この瞬間から始まった。ホッコータルマエ落札の瞬間

カメハメハの4世代目ということもあり、

同馬の産駒としては、現在の価格帯よりも安く買ったのも幸運でした。ちなみに幼名

(市川ファーム) はリバーズキングでした。

その後、生産者の市川ファームから高昭牧場、荻伏共同育成場そしてファンタスタクラブを経て西浦厩舎に入厩を果たしますが、当時はまだ足元が固まりきっていないということで一旦ファンタスタに戻されました。すぐに使わず様子を見た、そのことがのちに良い結果をもたらしたのではと、のちに西浦調教師及びファンタスタクラブの米田喜彦氏が言っておられました。

進化するタルマエ

平成24年夏、3歳馬のダート登竜門レパードステークス勝利したあと、古馬ダート戦線に参戦しましたが、このときはまだまだ3歳馬です。強豪ひしめくダート古

馬ジャパンカップダートでは幸運にも3着入線したものの、その後フェブラリースを目指して賞金加算の為にレースを重ねますが、フェアウエルS2着、東海S3着と惜敗が続きます。このままでは賞金的にフェブラリースへの出走は難しいので一度諦め、ここから地方競馬のダートグレード競走を視野に入れて地道に賞金の上積みをはかります。佐賀記念、名古屋大賞典、アンタレスS、かしわ記念、帝王賞の5連勝。それが、結果的に良い方向に作用してレースを重ねることに馬体の充実と勝負根性(精神面の強化)が備わり、現在のタルマエの地下になったと思います。

青天の霹靂

平成25年7月のある日母から電話で、すぐ病院にきてくれとのこと。急いで向かう



祝賀会は万歳三唱で締めくくられた



優勝祝賀会には西浦勝一調教師、幸英明騎手も参加してくれた

くれることが父に対しての一番の良薬になり、家族の心のよりどころにもなっていたのです。そのことを叶えてくれた西浦先生には感謝の言葉しかありません。残念ながら平成25年11月27日、ジャパンカップダートを観戦することなくレース4日前に父は旅立ちました。最後は無念だったのか、充実していたかは分かりません。ただ一つだけ言えることは「最後まで生ききった」家族みんなそう思っています。

この1年を振り返り

馬と携わるようになりたくさんの方々との交流が出来ました。日高の生産者の方々、そこで働く若い方々。みなさんが情熱、夢をもっていらつしやるのが、ひしひし伝わります。また、育成場、厩舎においても同様で、馬が好き、馬が大好きでなければこんな大変な商売を生業にすることは出来ないとあります。本当に頭が下がります。

父が生前母によく言う言葉がありました。「競馬は男のロマンだ、種馬を出せたらお金は戻ってくる、だからお母さんまたセリに行こう」。以前は理解し難い言葉でしたが、今はその言葉を何となく理解できそうです。

最後に馬主として経験も浅く競馬の歴史、競馬サークル、馬(生体)など分からないことが多すぎて、何かと皆様にご無礼する場があるとは存じますがその節には叱咤、御教授くださいますようお願い申し上げます。



ホッカイドウ競馬で 日本で1番早い新馬戦がスタート

4月22日(水)、平成27年度の道営ホッカイドウ競馬が門別競馬場で開幕しました。確定は6月になりますが、1昨年からの2年続けての「黒字決算」が確実な情勢。道内に限らない「全国の競馬ファン」の後押しと、その参加人数の増加を支えている「JRAインターネット投票システム」(IPAT)等の浸透が、「黒字化」における最大の要因となっています。さらに週末のJRA開催を発売するホッカイドウ競馬場外(JPLACE)が、昨年3月のスタートから一貫して伸び続けていることも「黒字化」を支える主因の一つ。

平成4年に導入され、道営の「強い2歳馬」育成を支え続けている「JRA認定競走」や札幌馬主協会を始めとする関係諸団体の支援金拠出等も含め、広い意味での「JRAおよび関連諸団体の強力なバックアップ」も、道営ホッカイドウ競馬の黒字転換に多大に作用したというのが共通認識でしょう。

船橋競馬場のナイター化に 負けない取組みが目白押し

平成27年度ホッカイドウ競馬(門別グランシヤリオナイター)は、2年連続黒字という上昇気流に乗った中で迎える楽しみの大きなシーズンということになります。

その新年度は「門別グランシヤリオナイター移行7周年」であると同時に、道策定の運営改善5カ年計画(ホッカイドウ競馬推進プラン)の最終年度にあたります。

今シーズンは6月から船橋競馬でナイターが始まる予定で、競合する開催日が増えると同時に、発売額が終盤にかけて大きく伸びる「南関東・昼間開催」門別ナイター開催の「黄金パターン」が減ってしまう

7重賞が内回りコースで

こと等から「減収予算」を組んだとのことですが、開催計画の詳細を紐解くと、施設／番組／広報展開等営業の各面で改善・改革への意欲的な取り組みが目白押しです。

その詳細ですが、まずは新設の「内回りコース」について。その形態については、同じく一周1600mの大井競馬場とほぼ同じ、ということになります。昨年末での距離区分に加えて今シーズンからは1500m・1600mが加わります。

正面および向こう正面の直線部分がそれぞれ、1コーナー・3コーナーに向かって100mずつ短くなり、その両地点を結ぶ新たな3〜4コーナーの走路を造成するこ

とで「一周1400m」の新コースが誕生する、という表現の方が解りやすいかもしれません。最後の直線は外回りが330mに対して内回りは230mになります。レース結果に大きく影響するのは必至でしょう。

内回り新設に伴い、年間の重賞体系も大きく変わります。毎年、開幕日に行われる3歳クラシックの初戦「北斗盃」や、2歳重賞の「ブリーダーズゴールドジュニアカップ」など全23重賞のうち7競走が内回りで施行される予定です。

オール北海道で認知度アップ

このほか出走手当が増額されるほか、広報展開については、門別グランシヤリオナ

イター競馬が今年「7周年」を迎えるのを記念し、「7th Dream」をキーワードとする各種イベントを行うことが発表されています。さらに「地場の著名企業」とのコラボレート企画を増強。昨年までのサッポロビールやソメスサドル、コンサドーレ札幌などに加え、新たにAIRDOやホクレンと提携をスタートさせて「MADE IN HOKKAIDO KEIBA」と銘打ち、「オール北海道」で門別グランシヤリオナイター競馬のPRに取り組みとしておりその効果が期待されます。

こうした「前向きな改革」を進めてきた効果は大きく、3月13日現在の門別トレン入厩頭数は前年同日比「+10頭」の775頭。特に2月半ば以降、例年よりかなり早く暖かくなり始め、門別トレン入厩馬の調教も例年以上のペースで進んでいることから、4月22日から始まる「開幕シリーズ」(3日間)は昨年以上に充実した番組編成で行われることになりそうです。

また今年は、昨年の2歳戦終了後も他地区に移籍せず、門別に残った3歳馬たちも牡・牝そろってハイレベルの様相です。中でも、交流JpnII兵庫ジュニアグランプリ(園田1400m)でJRA勢を抑えて2着に食い込んだオヤユダカ(牡、父サムライハート)は、他地区の交流重賞に出走しても勝ち負けを期待できる逸材。その動向が大いに注目されることになるでしょう。

(写真・文/ホッカイドウ競馬支援室 神谷健介)

ホッカイドウ競馬2015年重賞日程

平成27年度ホッカイドウ競馬は4月22日に開幕し、11月12日まで15開催80日間。全日程をナイターで行う。

門別競馬場が主場化されて7年目を迎えることからグランシャリオナイター7周年記念イベントを実施するほか、また内回りコースの新設による「重賞競走の新設」「重賞競走の格付け見直し」「競走距離体系の改編」を打ち出して3年連続の黒字決算を目指している。

1600mの重賞「北斗盃」で幕開け

開幕初日は3歳クラシック第1弾「北斗盃」。今年は開幕初日に内回りコースを使った1600mコースで行われる。その後、3歳三冠路線はダービーウィークに参加している「北海優駿」(2000m)「王冠賞」(1800m)と続いていく。今回の改革でトリッキーな内回りコースの面白さと三冠競走の醍醐味がクロスアップされることになりそうだ。

牝馬重賞の新設

伝統の長距離重賞のステイヤーズCを廃止。その代わりに内回りコースを使った牝馬限定「ヒダカソウカップ」が新設され、5月21日に行われる。これによって冬期間、他場へ移籍していた馬たちの早期帰厩を促すとともに、グランダムジャパンシリーズの「ノースクイーンC」

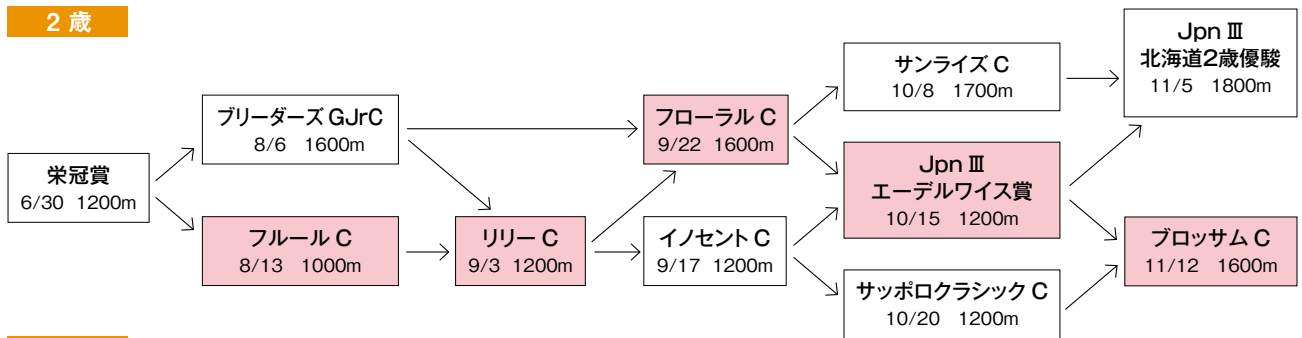
出走手当が増額

「フリーダースゴールドC」との関連性も明確になり充実した牝馬重賞体系へとなった。馬産地競馬を掲げるホッカイドウ競馬にとって牝馬重賞の充実が牝馬の流通促進の意味を含めて欠かせないテーマ。北海優駿の距離を嫌う3歳牝馬の出走があれば、なおいつそう盛り上がりを見せることだろう。

入厩頭数の過半数を占めている2歳馬の出走手当が6万5000円から8万円へと増額される。また、11回開催以降、C4競走の出走手当が5万円から6万円へと増加される。同公社では「ファンに魅力ある競馬番組の提供とホッカイドウ競馬の更なる発展のために出走手当の増額を決めました。競走馬の預託などいっそうのご支援をお願いします」と呼びかけている。

重賞体系

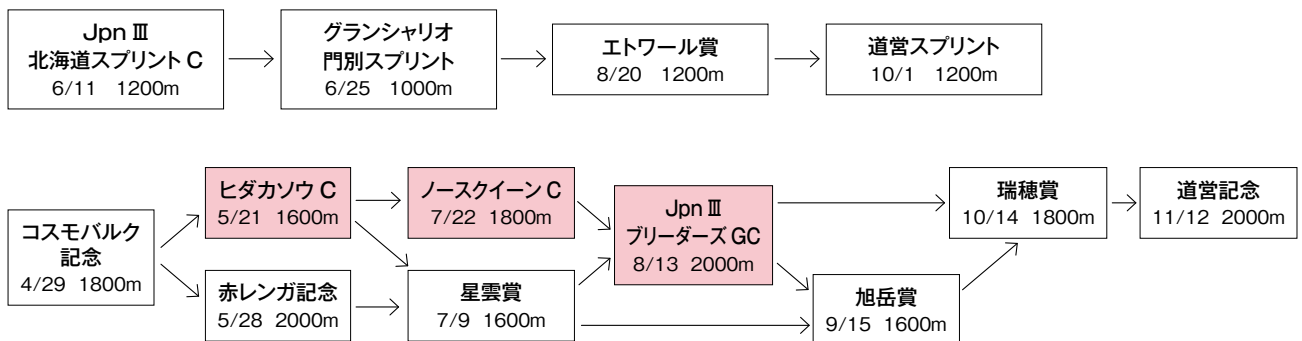
2歳



3歳



3歳上



■ =牝馬限定

グランプリボス

サクラバクシンオー 鹿毛 1989	サクラユタカオー 栗毛 1982	テスコボーイ (GB) アンジエリカ
	サクラハゴロモ 鹿毛 1984	ノーザンテースト (CAN) クリアアンバー (USA)
ローゼーミスト 黒鹿毛 1997	サンデーサイレンス (USA) 青鹿毛 1986	Halo Wishing Well
	ビューティフルベシック (USA) 栗毛 1989	Secretariat Nervous Pillow



夏に札幌競馬場でデビューし、京王杯2歳S、朝日杯フューチュリティSなど2歳時は4戦3勝。同年の最優秀2歳牡馬に選出される。クラシックは不出走もマイル路線を歩みNHKマイルCに優勝。同年夏の英国のセントジェイムズパレスSにも挑戦している。帰国後も徹底的に国内外のマイル路線を歩み、重賞2勝ほか安田記念2着2回、マイルチャンピオンシップ2着、香港マイル3着と世界トップレベルの能力を垣間見せている。

年次	場所	出走回数	1着	2着	3着	おもな成績
2010 (2歳)	日本	4	3			朝日杯フューチュリティS、京王杯2歳S
2011 (3歳)	日本、英国	7	1	1	1	NHKマイルC
2012 (4歳)	日本、香港	8	1	2		スワンS、安田記念2着、マイルCS2着
2013 (5歳)	日本	5	1			マイルレースC
2014 (6歳)	日本、香港	4		1	1	安田記念2着、香港マイル3着
合計		28	6	4	2	

ジャスタウェイ

ハーツクライ 鹿毛 2001	サンデーサイレンス (USA) 青鹿毛 1986	Halo Wishing Well
	アイリッシュダンス 鹿毛 1990	トニービン (IRE) ビューバーダンス (USA)
シビル 鹿毛 1999	Wild Again 黒鹿毛 1980	Iccapade Bushel-n-Peck
	シャロン (USA) 栗毛 1987	Mo Exception Double Wiggle



夏に新潟競馬場でデビューし、2歳時は新潟2歳S2着など3戦1勝。3歳春のアーリントンCで重賞初勝利。その後、追い込みきれないレースが続いたが4歳秋に本格化。切れ味を増した末脚を武器に天皇賞・秋を4馬身差圧勝。翌年は中山記念を楽勝。遠征したドバイデューティフリーでは後続に6馬身 $\frac{1}{2}$ 差のレコード勝ち。帰国後、不良馬場の安田記念を制して、秋はジャパンC2着。中、長距離路線でも世界ランク1位の底力をみせた。

年次	場所	出走回数	1着	2着	3着	おもな成績
2011 (2歳)	日本	3	1	1		新潟2歳S2着
2012 (3歳)	日本	6	1	1		アーリントンC、毎日王冠2着
2013 (4歳)	日本	7	1	3	1	天皇賞・秋、毎日王冠2着、エプソムC2着
2014 (5歳)	日、UAE、 仏	6	3	1		ドバイデューティフリー、安田記念、 中山記念
合計		22	6	6	1	

トーセンジョーダン

ジャンクボケット 鹿毛 1998	トニービン (IRE) 鹿毛 1983	カンバラ (GB) Seyn Bridge
	ダンスチャーマー (USA) 黒鹿毛 1990	Nureyev Skillful Joy
エウリュピラス 栗毛 1997	ノーザンテースト (CAN) 栗毛 1971	Northern Dancer Lady Victoria
	クラフティワイフ (USA) 栗毛 1985	Crafty Prospector Wife Mistress



秋に京都競馬場でデビューし、素軽い先行力とスタミナを武器に2歳時はホープフルSなど4戦3勝。3歳初戦の共同通信杯2着するも、蹄不安によりクラシックを断念。約1年の休養を余儀なくされる。4歳秋のアルゼンチン共和国杯で重賞初勝利。その後も蹄不安と戦いながらアメリカJCC、札幌記念などGII競走に優勝。続く天皇賞・秋では今も残る1分56秒1の驚異的なレコードタイムで優勝しGIウイナーの仲間入りを果たしている。

年次	場所	出走回数	1着	2着	3着	おもな成績
2008 (2歳)	日本	4	3			ホープフルS
2009 (3歳)	日本	3		2		共同通信杯2着
2010 (4歳)	日本	5	3			アルゼンチン共和国杯、有馬記念5着
2011 (5歳)	日本	6	3	1		天皇賞・秋、札幌記念、アメリカジョッキCC
2012 (6歳)	日本	4		1	1	天皇賞・春2着、大阪杯3着
2013 (7歳)	日本	4			1	ジャパンカップ3着
2014 (8歳)	日本	4				
合計		30	9	4	2	

2015年からスタッドインする種牡馬は3月20日現在、判明しているものだけで別表の28頭。1昨年が26頭、昨年は31頭だったことから、今後の駆け込み供用などを見込むとほぼ昨年並みが期待できそうだ。

内訳は内国産馬が25頭で、外国産馬が3頭。外国産馬のうち、ケープブランコとタンカークは海外で種牡馬経験がある。前者の初年度産駒は今年デビュー予定。市場では高い評価を得ている。後者は、2013年の米国新種牡馬チャンピオンだ。また、ヴィットリオドーロは外国産馬ながら日本人による生産馬で、JRAからデビューしている。

26頭中、GI優勝馬は7頭。海外GI優勝馬はケープブランコとジャスタウェイ。国内GI優勝はグランプリボス、サダムパテック、ジャスタウェイ、トーセンジョーダン、トーセンラー、ベルシャザール。

系統別ではサンデーサイレンス系含むヘイルトゥリーズン系が最も多く14頭。ミスタープロスペクター系が7頭。ノーザンダンサー系が4頭。その他3頭となっている。

2015年新種牡馬紹介

サダムパテック

フジキセキ 青鹿毛 1992	サンデーサイレンス (USA) 青鹿毛 1986	Halo Wishing Well
	ミルレーサー (USA) 鹿毛 1983	Le Fabuleux Marston's Mill
サマーナイトシティ 鹿毛 1999	エリシオ (FR) 鹿毛 1993	Fairy King Helice
	ダイヤモンドシティ (USA) 鹿毛 1988	Mr. Prospector Honey's Flag



秋に京都競馬場でデビュー。2戦目の初勝利のあと東京スポーツ杯2歳Sに優勝。1番人気に支持された朝日杯は4着と敗れたが3歳初戦の弥生賞を快勝して皐月賞は1番人気(2着)の評価を得た。不良馬場のダービーは7着で、菊花賞は5着。それでも世代トップクラスの能力を4歳秋のマイルチャンピオンシップ優勝で証明している。その後、スランプ時期もあったが6歳夏の中京記念をトップハンデで快勝した。衰えぬ能力を示した。

年次	場所	出走回数	1着	2着	3着	おもな成績
2010 (2歳)	日本	4	2	1		東京スポーツ杯2歳S
2011 (3歳)	日本	6	1	1	2	弥生賞、皐月賞2着、セントライト記念3着
2012 (4歳)	日本、香港	7	2			京王杯SC、マイルチャンピオンシップ
2013 (5歳)	日本	5			1	スワンS3着
2014 (6歳)	日本	8	1			中京記念
合計		30	6	2	3	

ケープブランコ

Galileo 鹿毛 1998	Sadler's Wells 鹿毛 1981	Northern Dancer Fairy Bridge
	Urban Sea 栗毛 1989	Miswaki Allegretta
Laurel Delight 栗毛 1990	Presidium 鹿毛 1982	General Assembly Doubly Sure
	Foudroyer 栗毛 1980	アーティマス (USA) Foudre



夏に愛国のフェアリーハウス競馬場でデビューし、2歳時は2つの重賞含め3戦3勝。不敗の4連勝で挑んだ仏ダービーは不可解な敗戦を喫したが、愛ダービーで雪辱し、A・オプライエン厩舎の5連覇に華を添えた。続くキングジョージVI&クインエリザベスSは3歳馬最先着の2着。愛チャンピオンズSを逃げ切って世代トップクラスの能力を示した。4歳時は米国へ移籍し、芝の中距離GI競走を3連勝。全米芝牡馬チャンピオンとなった。

年次	場所	出走回数	1着	2着	3着	おもな成績
2009 (2歳)	愛国	3	3			フューチュリティS、タイロスS
2010 (3歳)	英、仏、愛	6	3	1		愛ダービー、愛チャンピオンS、ダンテS
2011 (4歳)	UAE、 英、仏、米	6	3			アーリントンM、ターフクラシック招待S、 マンウォーS
合計		15	9	1		

ベルシャザール

キングカメハメハ 鹿毛 2001	Kingmambo 鹿毛 1990	Mr. Prospector Miesque
	マンファス (IRE) 黒鹿毛 1991	ラストタイクーン (IRE) Pilot Bird
マルカキャンディ 青鹿毛 1996	サンデーサイレンス (USA) 青鹿毛 1986	Halo Wishing Well
	ジーナロマンティカ (USA) 鹿毛 1988	セクレト (USA) Waya



秋に京都競馬場でデビューし、ホープフルSなど2歳時は3戦2勝。スプリングSでオルフェーヴルとコマ1秒差2着。ダービー3着など世代トップクラスの能力を早くから垣間見せていた。菊花賞のあと喘鳴症を発症し、半年後の復帰戦で骨折。併せて1年半あまりの休養を余儀なくされた。復帰後はダートに路線変更し、武蔵野Sで重賞初勝勝利。その勢いそのままにジャパンCダートに勝利し、同年の最優秀ダートホースに選出された。

2013年JRA賞最優秀ダートホース						
年次	場所	出走回数	1着	2着	3着	おもな成績
2010 (2歳)	日本	3	2		1	ホープフルS
2011 (3歳)	日本	6		1	1	スプリングS2着、ダービー3着
2012 (4歳)	日本	1				
2013 (5歳)	日本	6	4	1	1	ジャパンCダート、武蔵野S
2014 (6歳)	日本、UAE	2			1	フェブラリーS3着
合計		18	6	2	4	

トーセンラー

ディーブインパクト 鹿毛 1998	サンデーサイレンス (USA) 青鹿毛 1986	Halo Wishing Well
	ウインドインハーヘア (IRE) 鹿毛 1991	Alzao Burghclere
プリンセスオリビア (USA) 栗毛 1995	Lycius 栗毛 1988	Mr. Prospector Lypatia
	Dance Image 鹿毛 1990	Sadler's Wells Diamond Spring



秋に京都競馬場でデビューし、2歳時は2戦1勝。きさらぎ賞で重賞初勝利を飾るも3歳クラシックは7着、11着、3着と不完全燃焼に終わる。4歳時には鳴尾記念3着、七夕賞2着、新潟記念2着と重賞戦線で活躍し、待望の重賞初制覇は5歳春。京都記念優勝の勢いそのままに天皇賞・春でも2着となり、同年秋のマイルチャンピオンシップで初のビッグタイトルを手中にした。全4勝を京都コースであげた、なうての京都巧者だった。

年次	場所	出走	1着	2着	3着	
2010 (2歳)	日本	2	1		1	
2011 (3歳)	日本	6	1	1	2	きさらぎ賞、セントライト記念2着、菊花賞3着
2012 (4歳)	日本	7		2	1	小倉記念2着、七夕賞2着、鳴尾記念3着
2013 (5歳)	日本	5	2	1	1	マイルCS、京都記念、天皇賞・春2着
2014 (6歳)	日本	5		1	1	京都記念2着、京都大賞典3着
合計		25	4	5	6	

新種牡馬一覽

馬名	生年	毛色	生産地	父	母	母の父	通算成績	けい養場所
アンバサンド	2004	黒鹿毛	門別	フィガロ	アビエント	ウォーニング	南関東、中央で 23戦5勝	日高・サンシャイン牧場
ヴィットリオドーロ	2009	黒鹿毛	米国	Medaglia D'Oro	プリエミネンス	アフリート	中央で12戦4勝	新ひだか・アロースタッド
カフェラビード	2008	黒鹿毛	新ひだか	マンハッタンカフェ	シンメイミネルバ	Caerleon	中央で5戦1勝	新冠・優駿 スタリオンステーション
ギンザグリングラス	2005	芦毛	浦河	メジロマックイーン	ニドクリキリコ	サンキリコ	中央、地方で 109戦3勝	日高・旭牧場
グランプリボス	2008	鹿毛	安平	サクラバクシンオー	ロージミスト	サンデーサイレンス	日英香で28戦6勝	新ひだか・アロースタッド
クレスコブランド	2008	栗毛	千歳	タニノギムレット	マンハッタンフィズ	サンデーサイレンス	中央で10戦3勝	浦河・イースタッド
ケーブブランコ	2007	栗毛	愛国	Galileo	Laurel Delight	Presidium	英仏愛UAE米で 15戦9勝	新ひだか・JBBA静内 種馬場
ザサンデーフサイチ	2004	黒鹿毛	早来	ダンスインザダーク	エアグルーヴ	トニーピン	中央で41戦3勝	新冠・優駿 スタリオンステーション
サダムパテック	2008	鹿毛	白老	フジキセキ	サマーナイトシティ	エリシオ	日香で30戦6勝	新冠・優駿 スタリオンステーション
サンカルロ	2006	黒鹿毛	白老	シンボリクリスエス	ディーバ	Crafty Prospector	中央で49戦6勝	新冠・優駿 スタリオンステーション
シビルウォー	2005	鹿毛	千歳	ウォーエンブレム	チケットトゥダンス	Sadler's Wells	中央・地方で 51戦11勝	日高・フリーダース スタリオンステーション
ジャスタウェイ	2009	鹿毛	浦河	ハーツクライ	シビル	Wild Again	日UAE仏で 22戦6勝	安平・社台 スタリオンステーション
スマイルジャック	2005	黒鹿毛	鶴川	タニノギムレット	シーセモア	サンデーサイレンス	中央・地方で 54戦5勝	新ひだか・アロースタッド
セレン	2005	栗毛	新冠	マーベラスサンデー	ハイエストデイ	ブライアンズタイム	南関東で 29戦13勝	浦河・No9 ホーストレーニングメッド
セレスハント	2005	栗毛	えりも	コロナドズクエスト	エリモンフィオーネ	Blushing Groom	中央・地方で 61戦12勝	新ひだか・アロースタッド
タガノロックオン	2008	栗毛	新冠	ロックオブジブラルタル	タガノチャーリーズ	Saint Ballado	中央・地方で 24戦5勝	新冠・新冠タガノファーム
ダノンバラード	2008	黒鹿毛	新ひだか	ディーブインパクト	レディバラード	Ubbidled	中央で26戦5勝	浦河・日高 スタリオンステーション
ダンカーク	2006	芦毛	米国	Unbridled's Song	Secret Status	A・P・Indy	米で5戦2勝	浦和・イースタッド
デスベラード	2008	鹿毛	新ひだか	ネオユニヴァース	マイネノエル	トニーピン	中央で34戦9勝	新ひだか・アロースタッド
トゥザグロリー	2007	鹿毛	安平	キングカメハメハ	トゥザヴィクトリー	サンデーサイレンス	中央で33戦8勝	浦河・イースタッド
トーセンジョーダン	2006	鹿毛	早来	ジャングルポケット	エヴリウィスパー	ノーザンテースト	中央で30戦9勝	日高・フリーダース スタリオンステーション
トーセンラー	2008	黒鹿毛	千歳	ディーブインパクト	プリンセスオリビア	Lycius	中央で25戦4勝	新ひだか・レックススタッド
バーティバーティ	2007	黒鹿毛	新ひだか	ブライアンズタイム	ホームスイートホーム	Seeking the Gold	中央・地方で 35戦6勝	新ひだか・レックススタッド
バドトロフ	2007	鹿毛	千歳	スウェプトオーヴァーボード	グランバドドウ	フジキセキ	中央・地方で 35戦9勝	新ひだか・レックススタッド
ファーガソン	2011	鹿毛	新ひだか	マンハッタンカフェ	シェアエレガンス	ラムタラ	中央で6戦1勝	新ひだか・アロースタッド
ブリーズフレイバー	2007	栗毛	浦河	フォーティナイナー	メモラブルグリーン	Night Shift	南関東・岩手で 41戦10勝	浦河・地興牧場
ベルシャザール	2008	青鹿毛	千歳	キングカメハメハ	マルカキャンディ	サンデーサイレンス	日UAEで18戦6勝	安平・社台 スタリオンステーション
レッドスパーダ	2006	鹿毛	日高	タイキシャトル	バービキャット	Storm Cat	中央で27戦7勝	新ひだか・アロースタッド

ジエイエス 繁殖馬セール 秋季



この日の最高価格はボディーダンシングの 2250 万円

(株)ジエイエスが行う繁殖馬セールは、現存する唯一の繁殖馬セールだ。その歴史は古く1980年にアロー牧場(現在のアロースタッド)で行われたセールが最初といわれている。以来、30有余年にわたって、繁殖牝馬の流通や、牧場の血統更新に大きな役割を担ってきた。その歴史の中で天皇賞馬マインルキッツの母、JRA最優秀2歳牡馬となったセイウワンダーやグランプリボスの母など数多くのG1勝馬の母、あるいは、のちにG1勝馬の母となる馬たちのトレッドの場となってきた。現在は秋季(10月)と冬季(1月)の2回行われており、秋季セールは受胎繁殖牝馬がメイン市場となっている。

過去最高の売却率、 売却頭数を記録

最高価格は ワークフォース受胎馬

2014年の秋季ジエイエスの繁殖馬セールは10月22日、新ひだか町の北海道市場で開催された。154頭の受胎馬含む199頭の牝馬が上場し、154頭(受胎馬120頭、空胎馬34頭)が売却。過去最高の売却頭数、売却率(77・4%)を記録して総額5億3485万円(税別)を売り上げた。

最高価格は社台ファームから上場されたボディーダンシング(4歳、父ホワイトマズル、ワークフォースを受胎)。この馬自身は現役時代は8戦して1勝だが、母ダンシングサウンダーがダンスインザムードやダンスインザダーク、ダンスパートナーの全妹という血統。日本生まれなが



近親にはダンスパートナーやスカマンボなど活躍馬多数の血統が評価された

ら仏国でデビューさせたほどの期待馬だった。300万円からスタートしたせりは、600万円の声かけから一気にヒートアップ。あつという間に1500万円を超えて、結果2250万円ですべて新冠タガノファームが落札した。

また、空胎馬では皐月賞馬ロゴタイプの半妹ロゴマーク(3歳、父チカステナング)が540万円で(株)GHTによって購買された。

セール終了後、(株)ジエイエスの藤原悟郎代表は「繁殖馬セールが生産者同士のせりから多くの方に参加いただけるようなせりに成長してきた印象を受けています。今後もレベルの高い牝馬を集めて活気ある市場にしたい」と今後の抱負を述べた。

ジエイエス繁殖馬セール秋季 累年成績

年次	区分	上場頭数(頭)	売却頭数(頭)	売却率(%)	総売上額(円)	最高価格(円)	最低価格(円)	平均価格(円)
2010	受胎	154	100	64.9	310,860,000	26,000,000	200,000	3,108,600
	空胎	36	26	72.2	16,810,000	3,500,000	150,000	646,538
	合計	190	126	66.3	327,670,000	26,000,000	150,000	2,600,556
2011	受胎	136	85	62.5	253,770,000	16,200,000	200,000	2,985,529
	空胎	43	21	48.8	27,940,000	4,600,000	100,000	1,330,476
	合計	179	106	59.2	281,710,000	16,200,000	100,000	2,657,642
2012	受胎	154	113	73.4	597,390,000	95,000,000	150,000	5,286,637
	空胎	31	24	77.4	60,530,000	9,000,000	210,000	2,522,083
	合計	185	137	74.1	657,920,000	95,000,000	150,000	4,802,336
2013	受胎	182	108	59.3	432,800,000	37,000,000	110,000	4,007,407
	空胎	41	30	73.2	44,770,000	8,200,000	100,000	1,492,333
	合計	223	138	61.9	477,570,000	37,000,000	100,000	3,460,652
2014	受胎	154	120	77.9	490,820,000	22,500,000	300,000	4,090,167
	空胎	45	34	75.6	44,030,000	5,400,000	280,000	1,295,000
	合計	199	154	77.4	534,850,000	22,500,000	280,000	3,473,052

価格は全て税抜き

ジエイエス 繁殖馬セール 冬季

年に2回開催される(株)ジエイエスの繁殖セールのうち、冬季繁殖馬セールは2008年にスタートした比較的新しい市場だ。秋季セールが受胎牝馬、経産馬が中心なのに対して、冬季セールは現役生活を終えたばかりの上がり馬など未供用馬の割合が多いのが特徴だ。出産、配合シーズン直前の1月に行われており、受胎馬に関してはキャッシュフローの早さも購買者に強くアピールしている。主催者は「現役を終えた牝馬の競走馬を、繁殖牝馬として流通させることができれば、当歳、1歳馬の牝馬の価値を底上げし、需要を拡大することができる」と冬季セールの存在意義を話している。



最高価格で取引されたウイントゥルラヴ

前年をうわまる売却率、 平均価格を記録

ディープリンパクトの近親馬が 最高価格

ジエイエスが主催する2015年冬季繁殖馬セールが、1月21日、新ひだか町の北海道市場にて開催された。受胎馬24頭、空胎馬（不受胎馬）と未供用馬を含む）17頭を合わせた41頭が上場。うち31頭が売却。8478万円（税別）を売り上げた。前年比で売却率は7.7ポイント増、平均価格も昨年の冬季繁殖馬セール（263万9583円）を超える295万3626円を記録。平均価格も約30万円増と活発な取引が展開された。

この日の最高額馬となったのがウイントゥルラヴ（7歳、父ロックオブジブラルタル、ゼンノロブロイを受胎）。現役時代は8戦して1勝



ディープリンパクトの近親馬が最高価格となった

のみだが、祖母スターズインハーアイズがディープリンパクトの半姉という血統に加え、全欧年度代表馬ロックオブジブラルタル×凱旋門賞優勝モンジュという血統も高く評価され、了徳寺健二氏が2500万円で落札した。

また、空胎馬の最高額馬は、桜花賞馬キストウヘヴンの2番仔アヴェクトワ（4歳、父チカステナンゴ）の500万円。浦河町の宮内牧場が落札した。

市場終了後に記者会見に立った、(株)ジエイエス代表の藤原悟郎氏は、「欠場馬が多く出る中、昨年を上回る売却率、平均価格など十分に健闘した市場だったと思います。より上質な上場馬を揃えて来年に備えたい」と市場を振り返った。

年次	区分	上場頭数(頭)	売却頭数(頭)	売却率(%)	総売上額(円)	最高価格(円)	最低価格(円)	平均価格(円)
2011	受胎	16	8	50.0	15,750,000	4,650,000	350,000	1,968,750
	空胎	28	26	92.9	42,260,000	3,650,000	170,000	1,625,385
	合計	44	34	77.3	58,010,000	4,650,000	170,000	1,706,176
2012	受胎	26	17	65.4	55,350,000	10,100,000	350,000	3,255,882
	空胎	19	16	84.2	25,930,000	6,700,000	70,000	1,620,625
	合計	45	33	73.3	81,280,000	10,100,000	70,000	2,463,030
2013	受胎	17	13	76.5	60,850,000	26,000,000	250,000	4,680,769
	空胎	36	25	69.4	58,030,000	5,600,000	60,000	2,321,200
	合計	53	38	71.7	118,880,000	26,000,000	60,000	3,128,421
2014	受胎	22	15	68.2	61,450,000	21,000,000	450,000	4,096,667
	空胎	31	21	67.7	29,050,000	12,500,000	150,000	1,383,333
	合計	53	36	67.9	90,500,000	21,000,000	150,000	2,513,889
2015	受胎	24	17	70.8	61,520,000	25,000,000	650,000	3,618,824
	空胎	17	14	82.4	23,260,000	5,000,000	340,000	1,661,429
	合計	41	31	75.6	84,780,000	25,000,000	340,000	2,734,839

価格は全て税抜き

ジエイエス繁殖馬セール冬季
累年成績

札幌馬主協会会員 勝馬紹介

WINNERS



平成26年11月3日～4月19日

開催日	開催場	レース名・クラス	馬名	性別	年齢	会員名	距離・馬場	タイム	騎手	調教師	生産者
第4回JBCレディスクラシック (Jpn I) サンビスタ 牝5 ヒダカ・ブリーダーズ・ユニオン 11月3日 盛岡 3歳以上オープン牝 1800・ダート 岩田 康誠 角居 勝彦 新ひだか・グランド牧場 タイム: 1分49秒3 (2着トロワポヌール)											
11月8日	京都⑤	2歳未勝利	エイシンバックン	牡	2	栄進堂	1600・芝	1:34.1	太宰 啓介	中尾 秀正	浦河・栄進牧場
2歳新馬戦 11月8日 京都⑤ 2歳新馬			エイシンカラット	牝	2	栄進堂	1400・芝	1:20.9	武 豊	今野 貞一	米・Phillips Racing Partnership
11月8日	福島④	3歳以上500万下	アニマトール	牝	4	社台レースホース	2600・芝	2:40.0	吉田 隼人	金成 貴史	安平・追分ファーム
11月8日	東京⑤	3歳以上1000万下	リグヴェーダ	牡	4	社台レースホース	1600・芝	1:34.2	P. ブドー	池江 泰寿	安平・追分ファーム
11月9日	東京⑤	2歳未勝利牝	ブルックデイル	牝	2	社台レースホース	1600・芝	1:34.5	蛭名 正義	尾関 知人	千歳・社台ファーム
2歳新馬戦 11月9日 東京⑤ 2歳新馬			スモーダリング	牝	2	H.H. シェイク・モハメド	1300・ダート	1:21.3	戸崎 圭太	高柳 瑞樹	日高・ダーレー・ジャパン・ファーム
2歳新馬戦 11月9日 京都⑤ 2歳新馬牝			コロボノワール	牝	2	ラ・メール	1600・芝	1:36.7	四位 洋文	小崎 憲	日高・三城牧場
11月9日	福島④	3歳以上500万下牝	スーパーアース	牝	4	岡田 牧雄	1200・芝	1:08.9	黛 弘人	菊川 正達	様似・様似共栄牧場
11月9日	東京⑤	3歳以上500万下	リッカルド	騾	3	岡田 牧雄	1600・ダート	1:37.7	蛭名 正義	黒岩 陽一	新ひだか・岡田スタッド
11月9日	福島④	3歳以上500万下	マイネルシェルト	牡	3	サラブレッドクラブ・ラフィアン	1800・芝	1:49.0	丹内 祐次	上原 博之	新冠・ビッグレッドファーム
奥多摩ステークス 11月9日 東京⑤ 3歳以上1600万下			エールブリーズ	牡	4	社台レースホース	1400・芝	1:21.3	三浦 皇成	鮫島 一步	白老・社台コーポレーション白老ファーム
檜原湖特別 11月9日 福島④ 3歳以上500万下			コスモチョコレイ	牝	3	ビッグレッドファーム	2000・芝	2:00.9	津村 明秀	田中 清隆	浦河・高岸 順一
11月9日	東京⑤	3歳以上1000万下	ビッグギグ	牡	3	吉田 照哉	1600・ダート	1:38.5	横山 典弘	菊沢 隆徳	千歳・社台ファーム
11月15日	東京⑤	2歳未勝利	ノースストーム	牡	2	吉澤 克己	2000・芝	2:01.7	蛭名 正義	藤岡 健一	日高・下河辺牧場
11月15日	東京⑤	2歳未勝利	パオロッサ	牝	2	岡田 牧雄	1400・芝	1:23.1	松田 大作	奥村 武	新ひだか・岡田スタッド
11月15日	福島④	3歳以上障害・オープン	エーシンジーライン	牡	9	栄進堂	2800・芝	3:01.8	西谷 誠	坂口 正則	米・Winchester Farm
11月15日	京都⑤	3歳以上500万下	キングスガード	牡	3	日進牧場	1400・ダート	1:24.5	川田 将雅	田中 章博	浦河・日進牧場
11月16日	福島④	2歳未勝利	アルター	牡	2	吉田 勝己	1700・ダート	1:48.7	柴山 雄一	古賀 慎明	安平・ノーザンファーム
11月16日	東京⑤	2歳未勝利	サンタナブルー	牡	2	ブルーマネジメント	1400・ダート	1:27.4	柴田 大知	和田 雄二	新ひだか・本桐牧場
11月16日	京都⑤	2歳未勝利	マイネルレハイム	牡	2	サラブレッドクラブ・ラフィアン	1400・芝	1:22.1	戸崎 圭太	田所 秀孝	新冠・ビッグレッドファーム
11月16日	東京⑤	3歳以上500万下	クラシックメタル	牡	3	吉田 勝己	1600・ダート	1:37.8	大野 拓弥	二ノ宮 敬	安平・ノーザンファーム
11月16日	京都⑤	3歳以上1000万下	マイネルリヒト	牡	5	サラブレッドクラブ・ラフィアン	2200・芝	2:14.0	三浦 皇成	松山 将樹	日高・山際 辰夫
福島2歳ステークス 11月16日 福島④ 2歳オープン			ペイシャオフロー	牡	2	北所 直人	1200・芝	1:08.5	柴山 雄一	菅原 泰夫	平取・二風谷ファーム
晩秋ステークス 11月16日 東京⑤ 3歳以上1600万下			ドコフクカゼ	牡	4	園分 純	2100・ダート	2:10.5	石橋 脩	友道 康夫	日高・ファニーフレンズファーム
修学院ステークス 11月16日 京都⑤ 3歳以上1600万下			アルバタックス	牡	4	社台レースホース	1600・芝	1:32.6	岩田 康誠	石坂 正	千歳・社台ファーム
第50回福島記念 (GⅢ) ミトラ 騾6 吉田勝己 11月16日 福島④ 3歳以上オープン 2000・芝 M.バルゴロナ 萩原 清 安平・ノーザンファーム タイム: 1分58秒1 (2着フラアンジェリコ)											

開催日	開催場	レース名・クラス	馬名	性別	年齢	会員名	距離・馬場	タイム	騎手	調教師	生産者
相馬特別											
11月16日	福島④	3歳以上500万下	ハッシュ	牝	3	H.H.シェイク・モハメド	1200・芝	1:09.0	川須 栄彦	高橋 義忠	日高・ダーレー・ジャパン・ファーム
2歳新馬戦											
11月22日	京都⑤	2歳新馬	ショコラブラン	牡	2	社台レースホース	1400・ダート	1:27.2	福永 祐一	浅見 秀一	千歳・社台ファーム
11月22日	東京⑤	3歳以上500万下牝	オリアーナ	牝	4	ヒガク・フリーダース・ユニオン	1600・ダート	1:38.4	北村 宏司	松山 将樹	日高・豊洋牧場
秋陽ジャンプステークス											
11月22日	東京⑤	障害3歳以上オープン	エーシンホワイティ	牡	7	栄進堂	3110・芝	3:24.8	北沢 伸也	松元 茂樹	新ひだか・千代田牧場
11月22日	京都⑤	3歳以上500万下牝	ワディ	牝	3	H.H.シェイク・モハメド	1400・ダート	1:25.3	和田 竜二	野中 賢二	日高・ダーレー・ジャパン・ファーム
11月23日	京都⑤	2歳未勝利	オールブラッシュ	牡	2	社台レースホース	1400・ダート	1:26.8	小崎 綾也	村山 明	白老・社台コーポレーション白老ファーム
11月23日	京都⑤	2歳未勝利	ストーンウェア	牡	2	吉田 照哉	1800・芝	1:48.1	C.ルメール	吉田 直弘	米・Shadai Farm
11月23日	東京⑤	3歳以上500万下牝	マイネオレンジ	牝	4	サラブレッドクラブ・ラフィアン	1400・ダート	1:25.4	柴田 大知	矢野 英一	新冠・ビッグレッドファーム
11月23日	京都⑤	3歳以上500万下	ペイシャモンシエリ	牡	3	北所 直人	1200・ダート	1:11.6	福永 祐一	目野 哲也	平取・赤石牧場
11月23日	東京⑤	3歳以上500万下	ラジオデイズ	牡	3	社台レースホース	1600・ダート	1:38.5	北村 宏司	古賀 慎明	千歳・社台ファーム
11月23日	京都⑤	3歳以上500万下	エイシンベラッツ	牡	3	栄進堂	1400・芝	1:20.9	武 豊	田所 秀孝	浦河・栄進牧場
霜月ステークス											
11月23日	東京⑤	3歳以上オープン	ジョヴァンニ	牡	5	H.H.シェイク・モハメド	1400・ダート	1:23.1	藤岡 佑介	千田 輝彦	日高・ダーレー・ジャパン・ファーム
11月24日	東京⑤	2歳未勝利	コスモトリスタン	牡	2	ビッグレッドファーム	1400・芝	1:22.0	柴田 大知	菅原 泰夫	新ひだか・織田 孝
11月24日	京都⑤	2歳未勝利牝	ラップフォルツアート	牝	2	サラブレッドクラブ・ラフィアン	1400・芝	1:22.3	川田 将雅	西園 正都	新冠・ビッグレッドファーム
2歳新馬戦											
11月24日	京都⑤	2歳新馬牝	コンテッサトゥーレ	牝	2	社台レースホース	1400・芝	1:22.3	C.ルメール	安田 隆行	千歳・社台ファーム
11月24日	東京⑤	3歳以上500万下	ペリトウベリー	牡	4	北所 直人	1400・ダート	1:25.3	田中 勝春	高木 登	様似・高村 伸一
11月24日	京都⑤	3歳以上500万下	エーシンハクリュー	牡	4	栄進堂	2200・芝	2:13.0	藤岡 佑介	藤岡 健一	浦河・栄進牧場
11月29日	東京⑤	2歳未勝利	ソワンドタイガー	牡	2	西村 静子	1400・ダート	1:27.4	松岡 正海	伊藤 伸一	新ひだか・小河 豊水
11月29日	京都⑤	2歳未勝利牝	エイシンチャーター	牝	2	栄進堂	1400・ダート	1:25.0	藤岡 佑介	藤岡 健一	浦河・栄進牧場
11月29日	東京⑤	2歳未勝利	コスモキーマン	牡	2	ビッグレッドファーム	1600・芝	1:36.4	柴田 大知	粕谷 昌央	浦河・川越ファーム
11月29日	京都⑤	2歳未勝利	ネオスターダム	牡	2	一村 哲也	1600・芝	1:36.5	W.ピュイック	石坂 正	安平・ノーザンファーム
2歳新馬戦											
11月29日	東京⑤	2歳新馬	スモークフリー	牡	2	社台レースホース	1600・ダート	1:39.0	岩田 康誠	戸田 博文	千歳・社台ファーム
11月29日	京都⑤	3歳以上500万下	エーシンヘディング	牡	4	栄進堂	1800・ダート	1:50.5	和田 竜二	中尾 秀正	浦河・三嶋牧場
エクセレントJＴ											
11月29日	東京⑤	3歳以上1000万下	センヌ	牡	5	社台レースホース	1600・芝	1:35.7	福永 祐一	松永 幹夫	白老・社台コーポレーション白老ファーム
オリエンタル賞											
11月29日	東京⑤	3歳以上1000万下	マイネオーラム	牝	3	サラブレッドクラブ・ラフィアン	2000・芝	2:02.4	柴田 大知	高橋 義博	新冠・ビッグレッドファーム
貴船ステークス											
11月29日	京都⑤	3歳以上1600万下	ブルーストーン	牝	3	H.H.シェイク・モハメド	1200・ダート	1:10.4	池添 謙一	伊藤 圭三	日高・ダーレー・ジャパン・ファーム
11月30日	東京⑤	2歳新馬	トゥルッリ	牡	2	ラ・メール	1600・芝	1:37.6	横山 典弘	田村 康仁	新冠・バカバカファーム
2歳新馬戦											
11月30日	東京⑤	3歳以上500万下	ウェイトアンドシー	牡	3	岡田 牧雄	1400・ダート	1:24.4	岩田 康誠	新開 幸一	浦河・高村牧場
キャピタルステークス											
11月30日	東京⑤	3歳以上オープン	シェルビー	牡	5	杉岡 時治	1600・芝	1:33.6	武 豊	笹田 和秀	平取・二風谷ファーム
蹴上特別											
11月30日	京都⑤	3歳以上1000万下	アーバンレジェンド	牝	4	吉田 照哉	1900・ダート	1:57.6	菱田 裕二	松田 博資	千歳・社台ファーム
12月6日	中京④	2歳未勝利	パンパイユ	牡	2	社台レースホース	1800・ダート	1:56.3	R.ムーア	安田 隆行	千歳・社台ファーム
12月6日	阪神⑤	2歳未勝利	アースライズ	牝	2	吉田 勝己	1800・芝	1:51.3	川須 栄彦	矢作 芳人	安平・ノーザンファーム
12月6日	中山④	3歳以上500万下	ヤンキーソヴリン	騾	4	岡田 牧雄	1800・ダート	1:54.6	木幡 初広	牧 光二	米・S. D. Brilie L. P.
2歳新馬戦											
12月6日	阪神⑤	2歳新馬	メナスコ	牡	2	H.H.シェイク・モハメド	1400・ダート	1:27.3	浜中 俊	藤岡 健一	日高・ダーレー・ジャパン・ファーム
12月6日	中山④	3歳以上1000万下牝	ワディ	牝	3	H.H.シェイク・モハメド	1200・ダート	1:10.6	藤岡 佑介	野中 賢二	日高・ダーレー・ジャパン・ファーム
鳥羽特別											
12月6日	中京④	3歳以上1000万下	エーシンエムディー	牝	5	栄進堂	1200・芝	1:08.9	R.ムーア	大久保 龍	浦河・栄進牧場
12月7日	阪神⑤	障害3歳以上未勝利	アルティシムス	牡	6	社台レースホース	2970・ダート	3:22.2	熊沢 重文	高橋 康之	白老・社台コーポレーション白老ファーム
2歳新馬戦											
12月7日	中山④	2歳新馬	マイネルサーージュ	牡	2	サラブレッドクラブ・ラフィアン	1800・芝	1:53.8	柴田 大知	鹿戸 雄一	洞爺湖・レイクヴィラファーム
12月7日	中山④	3歳以上500万下	エトルアンフルール	牝	4	村山 卓也	1200・ダート	1:11.7	松岡 正海	高柳 瑞樹	新ひだか・石川牧場
12月7日	中京④	3歳以上500万下	ダイヤモンドハイ	牝	3	布施 光章	1200・芝	1:10.0	武 豊	本田 優	浦河・三嶋牧場
市川ステークス											
12月7日	中山④	3歳以上1600万下	ペイシャフェリス	牝	3	北所 直人	1600・芝	1:33.3	柴山 雄一	高市 圭二	新ひだか・友田牧場
クロフネカップ											
12月7日	中京④	3歳以上1600万下	ベステグシエンク	牡	4	吉田 勝己	1200・芝	1:08.9	北村 宏司	古賀 慎明	安平・ノーザンファーム

開催日	開催場	レース名・クラス	馬名	性別	会員名	距離・馬場	タイム	騎手	調教師	生産者
第15回チャンピオンズカップ (GI) ホッコータルマエ 牡5 矢部 道晃 12月7日 中京④ 3歳以上オープン 1800・ダート 幸英明 西浦 勝一 浦河・市川ファーム タイム:1分51秒0 (2着ナムラビクター)										
12月7日	阪神⑤	3歳以上1000万下	キングズガード	牡3	日進牧場	1400・ダート	1:23.6	川田 将雅	田中 章博	浦河・日進牧場
12月13日	中京④	3歳以上500万下牝	デルマハンニヤ	牝4	浅沼 廣幸	1800・ダート	1:56.5	松山 弘平	和田 正一	日高・ファニーヒルファーム
12月13日	阪神⑤	2歳未勝利	ブルーガーディアン	牡2	ブルーマネジメント	1400・ダート	1:26.6	藤岡 佑介	石橋 守	新ひだか・加野牧場
12月13日	中山④	2歳未勝利	コスモムルジム	牡2	ビッグレッドファーム	1800・ダート	1:56.7	柴田 大知	粕谷 昌央	新ひだか・山野牧場
12月13日	中山④	2歳未勝利	ボトムックリバー	牡2	吉田 勝己	2000・芝	2:02.6	戸崎 圭太	戸田 博文	安平・ノーザンファーム
12月13日	中京④	障害3歳以上オープン	エーシンジーライン	牡9	栄進堂	3300・芝	3:39.1	北沢 伸也	坂口 正則	米・Winchester Farm
高砂特別										
12月13日	阪神⑤	3歳以上1000万下	ペイシャモンシェリ	牡3	北所 直人	1200・ダート	1:11.5	国分 優作	目野 哲也	平取・赤石牧場
長良川特別										
12月13日	中京④	3歳以上500万下	エイシニアロンジー	牡3	栄進堂	2200・芝	2:14.1	松山 弘平	西園 正都	愛・Knighton Hse Eadling Farm & Marengo
12月13日	阪神⑤	3歳以上1000万下	タマラマ	騾5	H.H. シェイク・モハメド	1600・芝	1:36.0	W. ビュイック	中竹 和也	日高・ダーレー・ジャパン・ファーム
12月14日	中山④	2歳未勝利	コスモボアソルテ	牡2	ビッグレッドファーム	1800・ダート	1:57.4	柴田 大知	蛭名 利弘	新ひだか・元茂 義一
12月14日	中京④	3歳以上500万下	プライムグローリー	牡3	吉田 照哉	1200・ダート	1:12.9	菱田 裕二	岡田 稲男	千歳・社台ファーム
2歳新馬戦										
12月14日	阪神⑤	2歳新馬牝	クイーンズターフ	牝2	小林英一ホールディングス	1400・ダート	1:25.7	横山 典弘	須貝 尚介	安平・ノーザンファーム
2歳新馬戦										
12月14日	中山④	2歳新馬	サブプライムカイザー	牡2	ヒガカ・フリーダース・ユニオン	2000・芝	2:07.8	北村 宏司	池上 昌弘	新ひだか・矢野牧場
美浦ステークス										
12月14日	中山④	3歳以上1600万下	マイネルミラノ	牡4	サラブレッドクラブ・ラフィアン	1800・芝	1:47.3	戸崎 圭太	相沢 郁	新冠・ビッグレッドファーム
犬山特別										
12月14日	中京④	3歳以上500万下	ベッラヴォーチェ	牝4	H.H. シェイク・モハメド	1400・芝	1:22.1	藤岡 康太	野中 賢二	日高・ダーレー・ジャパン・ファーム
12月20日	中山④	2歳未勝利	ホワイトウインド	牝2	ビッグレッドファーム	1600・芝	1:35.7	柴田 大知	清水 英克	むかわ・真壁 信一
12月20日	中山④	2歳未勝利牝	エヴァンジェル	牝2	岡田 牧雄	1800・芝	1:50.9	田辺 裕信	菊川 正達	新冠・奥山 博
12月20日	中京④	3歳以上500万下	デオヴォレンテ	牡5	H.H. シェイク・モハメド	1200・ダート	1:13.1	R. ムーア	野中 賢二	日高・ダーレー・ジャパン・ファーム
12月20日	中京④	3歳以上500万下	シークレットパス	牡3	岡田 牧雄	2200・芝	2:17.0	石川 裕紀	尾形 和幸	新ひだか・岡田スタッフ
茨城新聞杯										
12月20日	中山④	3歳以上1000万下	ストーミングスター	牡4	グランド牧場	1200・ダート	1:11.0	横山 典弘	藤原 辰雄	新ひだか・グランド牧場
12月21日	阪神⑤	2歳未勝利	カジノプレイヤー	牡2	吉田 照哉	1400・ダート	1:24.0	浜中 俊	本田 優	千歳・社台ファーム
12月21日	中山④	2歳未勝利	ミスメリウム	牡2	P.G. ファッジ	1800・ダート	1:54.9	松岡 正海	手塚 真久	新冠・山岡牧場
12月21日	中京④	3歳以上500万下牝	ティップトップ	牝3	H.H. シェイク・モハメド	1200・ダート	1:12.8	藤岡 康太	千田 輝彦	日高・ダーレー・ジャパン・ファーム
12月21日	中京④	障害3歳以上未勝利	マイネルアダマス	牡5	サラブレッドクラブ・ラフィアン	3000・芝	3:25.9	五十嵐 雄	菅原 泰夫	新冠・コスモヴェーフファーム
2歳新馬戦										
12月21日	中山④	2歳新馬	クイーンズリング	牝2	吉田 哲哉	1800・芝	1:53.5	G. プノワ	吉村 圭司	千歳・社台ファーム
12月21日	中京④	2歳未勝利	ムーンクレスト	牡2	ヒガカ・フリーダース・ユニオン	1400・芝	1:24.4	国分 優作	本田 優	浦河・三嶋牧場
12月21日	中京④	3歳以上500万下牝	ダブルファンタジー	牝4	安原 浩司	1400・ダート	1:24.9	古川 吉洋	高橋 文雅	浦河・辻牧場
元町ステークス										
12月21日	阪神⑤	3歳以上1600万下	ヴァンセンヌ	牡5	社台レースホース	1600・芝	1:35.8	福永 祐一	松永 幹夫	白老・社台コーポレーション白老ファーム
第14回名古屋グランプリ (Jpn II) エーシンモアオーバー 牡8 栄進堂 12月23日 名古屋 3歳以上オープン 2500・ダート 岡部 誠 沖 芳夫 浦河・栄進牧場 タイム:2分43秒5 (2着ニホンピロアワース)										
12月27日	阪神⑤	3歳以上500万下	ファシーノ	牡3	社台レースホース	2200・芝	2:14.5	岩田 康誠	北出 成人	安平・追分ファーム
12月27日	中山④	3歳以上1000万下	リッカルド	騾3	岡田 牧雄	1800・ダート	1:54.0	大野 拓弥	黒岩 陽一	新ひだか・岡田スタッフ
グレートフルステークス										
12月27日	中山④	3歳以上1600万下	マイネルディーン	牡5	サラブレッドクラブ・ラフィアン	2200・芝	2:13.5	三浦 皇成	鹿戸 雄一	新冠・新冠橋本牧場
師走ステークス										
12月27日	中山④	3歳以上オープン	マストヒーロー	牡6	社台レースホース	1800・ダート	1:52.8	横山 典弘	新開 幸一	千歳・社台ファーム
2歳新馬戦										
12月28日	中山④	2歳新馬	コスモヨハネ	牡2	ビッグレッドファーム	1600・芝	1:37.6	柴田 大知	高橋 裕	平取・北島牧場



開催日	開催場	レース名・クラス	馬名	性別	年齢	会員名	距離・馬場	タイム	騎手	調教師	生産者
江坂特別											
12月28日	阪神⑤	3歳以上1000万下	マイネアルナイル	牝	5	サラブレッドクラブ・ラフィアン	2400・芝	2:29.9	松山 弘平	中村 均	新冠・ビッグレッドファーム
第60回東京大賞典 (GI)											
ホッコータルマエ 牝5											
矢部 道晃											
12月29日 大井 3歳以上オープン 2000・ダート											
幸 英明 西浦 勝一 浦河・市川ファーム											
タイム: 2分03秒0 (2着コパノリッキー)											
											
											
1月4日	京都①	3歳未勝利牝	タキオンレディー	牝	3	宮内牧場	1200・ダート	1:12.0	小崎 綾也	柴田 光陽	浦河・宮内牧場
1月4日	中山①	4歳以上500万下	ボウマンミル	牡	5	H.H. シェイク・モハメド	1200・ダート	1:12.2	北村 宏司	高柳 瑞樹	日高・ダーレー・ジャパン・ファーム
3歳新馬戦											
1月4日	京都①	3歳新馬	ライトファンタジア	牝	3	吉田 勝己	2000・芝	2:04.3	菱田 裕二	松田 博資	安平・ノーザンファーム
1月4日	京都①	4歳以上500万下	サオトメ	牝	4	一村 哲也	1200・ダート	1:11.4	福永 祐一	小崎 憲	浦河・浦河日成牧場
1月4日	中山①	4歳以上1000万下	ラヴィアングレール	牡	7	社台レースホース	1200・ダート	1:11.6	C. デムーロ	鈴木 伸尋	千歳・社台ファーム
初夢ステークス											
1月4日	京都①	4歳以上1600万下	マイネルクropp	牡	5	サラブレッドクラブ・ラフィアン	1800・ダート	1:49.0	丹内 祐次	飯田 雄三	新ひだか・ブランド牧場
1月4日	中山①	4歳以上1000万下	マイネルアウラート	牡	4	サラブレッドクラブ・ラフィアン	1600・芝	1:35.2	松岡 正海	高橋 裕	新冠・ビッグレッドファーム
1月4日	京都①	4歳以上1000万下	エイシンベベラッツ	牡	4	栄進堂	1400・芝	1:20.9	武 豊	田所 秀孝	浦河・栄進牧場
1月5日	京都①	3歳未勝利	ピンストライブ	牡	3	H.H. シェイク・モハメド	1400・ダート	1:25.0	福永 祐一	中内田 充	日高・ダーレー・ジャパン・ファーム
1月5日	京都①	3歳500万下	マイネルオフィール	牡	3	サラブレッドクラブ・ラフィアン	1800・ダート	1:54.1	川田 将雅	飯田 雄三	安平・ノーザンファーム
新春ステークス											
1月5日	京都①	4歳以上1600万下	リヴェレンテ	牡	7	社台レースホース	1400・芝	1:20.4	岩田 康誠	浅見 秀一	安平・追分ファーム
1月10日	中山①	4歳以上500万下牝	デルマネコムスメ	牝	5	浅沼 廣幸	1200・ダート	1:12.0	田辺 裕信	大和田 成	千歳・社台ファーム
1月10日	京都①	3歳未勝利	ジェネラルゴジップ	牡	3	社台レースホース	1800・芝	1:48.2	C. デムーロ	平田 修	千歳・社台ファーム
3歳新馬戦											
1月10日	中山①	3歳新馬	ブレスクファイル	牝	3	吉田 勝己	2000・芝	2:06.0	丸山 元気	木村 哲也	安平・ノーザンファーム
成田特別											
1月10日	中山①	4歳以上1000万下	コスモナイスガイ	牡	5	ビッグレッドファーム	2400・ダート	2:37.4	柴田 大知	金成 貴史	新冠・ビッグレッドファーム
祇園特別											
1月10日	京都①	4歳以上1000万下	シンジュボシ	牝	5	ヒガ・フリーダース・エニオン	1200・芝	1:08.1	川田 将雅	坂口 正則	浦河・駿河牧場
1月10日	京都①	4歳以上500万下	モンラッシェ	牡	4	吉澤 克己	1400・ダート	1:24.8	小牧 太	橋口 弘次	千歳・社台ファーム
1月11日	京都①	3歳未勝利	エイシンカーニバル	牡	3	栄進堂	1400・ダート	1:26.4	C. デムーロ	今野 貞一	浦河・栄進牧場
1月11日	中山①	障害4歳以上未勝利	ヘリオスフィア	騾	6	岡田 牧雄	2880・ダート	3:12.0	原田 和真	岩戸 孝樹	新ひだか・岡田スタッフ
1月11日	京都①	4歳以上500万下	ヨヨギマツク	牡	4	一村 哲也	1900・ダート	1:59.6	幸 英明	岡田 福男	新ひだか・荒木 貴宏
1月11日	京都①	4歳以上500万下	エイシンラナウェー	牡	4	栄進堂	1200・ダート	1:12.0	幸 英明	西園 正都	米・BryLynn Farm Inc.
許波多特別											
1月11日	京都①	4歳以上1000万下	エーシンハクリュー	牡	5	栄進堂	2200・芝	2:13.2	藤岡 佑介	藤岡 健一	浦河・栄進牧場
ポルックスステークス											
1月11日	中山①	4歳以上オープン	イッシンドウタイ	牡	6	ブランド牧場	1800・ダート	1:52.7	横山 典弘	伊藤 圭三	新ひだか・ブランド牧場
3歳新馬戦											
1月12日	京都①	3歳新馬	ロングスピーク	牡	3	社台レースホース	1800・ダート	1:56.2	浜中 俊	荒川 義之	千歳・社台ファーム
1月12日	京都①	4歳以上500万下	マークスマン	騾	5	H.H. シェイク・モハメド	1400・ダート	1:25.5	池添 謙一	池添 兼雄	日高・ダーレー・ジャパン・ファーム
淀短距離ステークス											
1月12日	京都①	4歳以上オープン	エイシンブルズアイ	牡	4	栄進堂	1200・芝	1:08.5	福永 祐一	野中 賢二	米・Elijah Bailey
1月17日	中山①	3歳未勝利	クワドルブルー	牡	3	H.H. シェイク・モハメド	1200・ダート	1:12.7	内田 博幸	小島 太	日高・ダーレー・ジャパン・ファーム
1月17日	中山①	3歳未勝利牝	タマノブリュネット	牝	3	玉腰 勇吉	1800・ダート	1:56.0	後藤 浩輝	高柳 瑞樹	浦河・三嶋牧場
1月17日	中京①	障害4歳以上未勝利	ラストセラ	牝	4	岡田 牧雄	3000・芝	3:22.2	浜野谷 憲	尾形 和幸	えりも・能登 浩
1月17日	中山①	4歳以上500万下	キネオイーグル	牡	4	吉田 干津	1800・ダート	1:54.3	戸崎 圭太	高柳 瑞樹	栃木・恵比寿興業株式会社那須野牧場
1月17日	京都①	4歳以上500万下	チーフアセスメント	牡	4	社台レースホース	1200・ダート	1:10.9	C. デムーロ	五十嵐 忠	白老・社台コーポレーション白老ファーム
菜の花賞											
1月17日	中山①	3歳500万下	クイーンズリング	牝	3	吉田 哲哉	1600・芝	1:34.9	G. ブノワ	吉村 圭司	千歳・社台ファーム
ニューイヤーカップ											
1月17日	中山①	4歳以上オープン	コスモソーンパーク	牡	7	ビッグレッドファーム	1600・芝	1:33.9	三浦 皇成	池上 昌弘	新冠・ビッグレッドファーム
庄内川特別											
1月17日	中京①	4歳以上500万下	エイシンソルティエ	牝	4	栄進堂	1400・芝	1:23.6	酒井 学	西園 正都	米・Redmon Farm LLC
1月18日	京都①	3歳未勝利	コモドー	牡	3	H.H. シェイク・モハメド	1400・ダート	1:25.4	D. バルジュ	中内田 充	日高・ダーレー・ジャパン・ファーム
1月18日	中山①	3歳未勝利	コスモアルマク	牡	3	ビッグレッドファーム	1800・ダート	1:57.6	柴田 大知	武藤 善則	新冠・ビッグレッドファーム

開催日	開催場	レース名・クラス	馬名	性別	年齢	会員名	距離・馬場	タイム	騎手	調教師	生産者
1月18日	中山①	4歳以上500万下牝	ロマンシングジェム	牝	5	吉田 千津	1800・ダート	1:56.6	G.ブノワ	大和田 成	千歳・社台ファーム
1月18日	中京①	4歳以上500万下	エンキンドル	牡	4	H.H.シェイク・モハメド	1900・ダート	2:02.4	藤岡 康太	野中 賢二	日高・ダーレー・ジャパン・ファーム
1月18日	中山①	4歳以上1000万下	テイクエイム	牡	8	ヒダカ・ブリーダーズ・ユニオン	1200・ダート	1:11.5	柴田 大知	和田 雄二	浦河・ヒダカファーム

紅梅ステークス

1月18日	京都①	3歳オープン	コンテッサトゥーレ	牝	3	社台レースホース	1400・芝	1:21.9	C.デムーロ	安田 隆行	千歳・社台ファーム
1月18日	中山①	4歳以上500万下	キネオワールド	牡	4	吉田 千津	2200・芝	2:15.5	吉田 豊	尾関 知人	安平・ノーザンファーム

第18回TCK女王盃 (Jpn III) サンビスタ 牝6 ヒダカ・ブリーダーズ・ユニオン

1月21日 大井 4歳以上オープン 1800・ダート C.デムーロ 角居 勝彦
新ひだか・ブランド牧場 タイム:1分52秒3 (2着アクティビューティ)



1月24日	京都①	3歳未勝利	フロイデシューネル	牝	3	岡田 牧雄	1400・ダート	1:25.7	松山 弘平	鈴木 孝志	新ひだか・タガミファーム
1月24日	中山①	3歳未勝利	アフエクシオン	牝	3	サラブレッドクラブ・ラフィアン	1600・芝	1:36.6	柴田 大知	高橋 裕	新冠・ビッグレッドファーム
1月24日	京都①	3歳新馬牝	シンダース	牝	3	H.H.シェイク・モハメド	1400・ダート	1:25.6	蛭名 正義	荒川 義之	日高・ダーレー・ジャパン・ファーム
1月24日	京都①	4歳以上500万下	バルタザール	牡	5	ヒダカ・ブリーダーズ・ユニオン	1200・ダート	1:11.0	D.バルジュ	佐々木 晶	浦河・日進牧場

中京スポニチ賞

1月24日	中京①	4歳以上1000万下	ワールンガ	牡	5	H.H.シェイク・モハメド	1200・芝	1:11.0	勝浦 正樹	池添 兼雄	日高・ダーレー・ジャパン・ファーム
1月25日	中山①	3歳未勝利	コスモバーダン	牡	3	ビッグレッドファーム	1800・ダート	1:56.1	柴田 大知	水野 貴広	浦河・大西ファーム
1月25日	中山①	3歳未勝利	トゥルーウインド	牡	3	社台レースホース	1800・ダート	1:56.1	C.デムーロ	田中 剛	安平・追分ファーム

3歳新馬戦

1月25日	中山①	3歳新馬	ニットウスバル	牡	3	日東牧場	1200・ダート	1:13.1	柴田 善臣	高橋 文雅	浦河・日東牧場
1月25日	京都①	3歳未勝利	エイシンファイヤー	牡	3	栄進堂	1600・芝	1:35.9	福永 祐一	坂口 正則	浦河・榊原 敏明
1月25日	中京①	4歳以上500万下牝	カラフルブラッサム	牝	5	吉田 勝己	2000・芝	2:03.7	武 豊	鈴木 孝志	安平・ノーザンファーム
1月25日	京都①	4歳以上500万下	フォルシャー	牡	4	社台レースホース	1800・芝	1:47.8	川田 将雅	高野 友和	白老・社台コーポレーション白老ファーム

伊良湖特別

1月25日	中京①	4歳以上1000万下	エイシンヴァラー	牡	4	栄進堂	1400・ダート	1:24.1	松田 大作	中尾 秀正	浦河・栄進牧場
-------	-----	------------	----------	---	---	-----	----------	--------	-------	-------	---------

第64回川崎記念 (Jpn I) ホッコータルマエ 牡6 矢部 道晃

1月28日 川崎 4歳以上オープン 2100・ダート
幸 英明 西浦 勝一 浦河・市川ファーム
タイム:2分16秒9 (2着カゼノコ)



1月31日	京都②	3歳未勝利	ラクロワ	牡	3	吉田 勝己	1800・ダート	1:53.7	C.デムーロ	高野 友和	安平・ノーザンファーム
-------	-----	-------	------	---	---	-------	----------	--------	--------	-------	-------------

3歳新馬戦

1月31日	京都②	3歳新馬	パドパピオン	牝	3	社台レースホース	1200・ダート	1:12.9	和田 竜二	鮫島 一步	千歳・社台ファーム
1月31日	東京①	3歳未勝利牝	リベルタンゴ	牝	3	社台レースホース	1400・ダート	1:25.6	横山 典弘	菊江 隆徳	千歳・社台ファーム

立春賞

1月31日	東京①	4歳以上1000万下	エバーグリーン	牡	7	吉田 照哉	1800・芝	1:47.1	F.ベリ	新開 幸一	千歳・社台ファーム
2月1日	東京①	4歳以上1000万下	ロウジャルダン	牡	4	社台レースホース	2100・ダート	2:12.4	C.デムーロ	戸田 博文	千歳・社台ファーム
2月7日	東京①	障害4歳以上未勝利	ハヤブサゴッド	牡	4	武田 修	3000・ダート	3:22.9	草野 太郎	伊藤 圭三	白老・社台コーポレーション白老ファーム
2月7日	小倉①	4歳以上500万下	ゴースルー	牡	5	静内白井牧場	1800・芝	1:47.2	丸田 恭介	田中 章博	新ひだか・橋本牧場

箱根特別

2月7日	東京①	4歳以上1000万下	ダービーフィズ	牡	5	社台レースホース	2400・芝	2:26.3	蛭名 正義	小島 太	千歳・社台ファーム
------	-----	------------	---------	---	---	----------	--------	--------	-------	------	-----------

巖流島特別

2月7日	小倉①	4歳以上500万下	コスモドーム	牡	4	ビッグレッドファーム	1200・芝	1:08.1	丹内 祐次	鈴木 康弘	新冠・ビッグレッドファーム
------	-----	-----------	--------	---	---	------------	--------	--------	-------	-------	---------------

3歳新馬戦

2月8日	小倉①	3歳新馬	サブトゥエンティ	牝	3	吉田 勝己	2000・芝	2:06.5	D.バルジュ	松田 国英	安平・ノーザンファーム
------	-----	------	----------	---	---	-------	--------	--------	--------	-------	-------------

3歳新馬戦

2月8日	東京①	3歳新馬	ディーブジュエリー	牝	3	吉田 勝己	1800・芝	1:52.0	柴山 雄一	国枝 栄	安平・ノーザンファーム
2月8日	小倉①	4歳以上500万下	マイネルボルソー	牡	4	サラブレッドクラブ・ラフィアン	1700・ダート	1:45.1	黛 弘人	黒岩 陽一	新冠・竹中牧場

第65回東京新聞杯 (G III) ヴァンセンヌ 牡6 社台レースホース

2月8日 東京① 4歳以上オープン 1600・芝 福永 祐一 松永 幹夫
白老・社台コーポレーション白老ファーム タイム:1分35秒7 (2着アルフレード)



2月8日	東京①	4歳以上1000万下	プラントハンター	牡	5	吉田 照哉	1600・ダート	1:37.2	C.デムーロ	水野 貴広	千歳・社台ファーム
------	-----	------------	----------	---	---	-------	----------	--------	--------	-------	-----------

開催日	開催場	レース名・クラス	馬名	性別	年齢	会員名	距離・馬場	タイム	騎手	調教師	生産者
第42回佐賀記念 (Jpn III) マイネルクロップ 牡5 サラブレッドクラブ・ラフィアン 2月10日 佐賀 4歳以上オープン 2000・ダート 丹内 祐次 飯田 雄三 新ひだか・ブランド牧場 タイム:2分09秒5 (2着ソリタリーキング)											
2月14日	京都②	3歳500万下	リンガディンドン	牡	3	吉田 正志	1200・ダート	1:12.8	福永 祐一	松元 茂樹	安平・追分ファーム
2月14日	東京①	3歳500万下	トゥルッリ	牡	3	ラ・メール	1600・ダート	1:37.9	後藤 浩輝	田村 康仁	新冠・バカバカファーム
春麗ジャンプステークス 2月14日 東京① 障害4歳以上オープン							エーションホワイティ 牡8 栄進堂 3100・ダート 3:25.5 北沢 伸也 松元 茂樹 新ひだか・千代田牧場				
太宰府特別 2月14日 小倉① 4歳以上1000万下							ベルニーニ 牡6 H.H.シェイク・モハメド 1800・芝 1:46.5 北村 友一 岡田 稲男 日高・ダーレー・ジャパン・ファーム				
2月15日	京都②	3歳未勝利	マイネルカベラ	牡	3	サラブレッドクラブ・ラフィアン	1800・ダート	1:55.6	川田 将雅	高野 友和	新冠・ビッグレッドファーム
2月15日	東京①	3歳未勝利	スレッジハンマー	牡	3	ヒガカ・フリーダース・ユニオン	1300・ダート	1:20.8	田辺 裕信	小島 茂之	日高・豊洋牧場
2月15日	京都②	3歳未勝利牝	スキースクール	牝	3	H.H.シェイク・モハメド	1200・ダート	1:13.2	戸崎 圭太	西浦 勝一	日高・ダーレー・ジャパン・ファーム
2月15日	東京①	4歳以上500万下	ボンデザムール	牡	5	岡田 牧雄	1600・ダート	1:39.2	井上 敏樹	本間 忍	新ひだか・沖田 哲夫
大島特別 2月15日 東京① 4歳以上1000万下							ノウレッジ 牡5 H.H.シェイク・モハメド 1400・ダート 1:24.7 蛭名 正義 二ノ宮 敬 日高・ダーレー・ジャパン・ファーム				
門司ステークス 2月15日 小倉① 4歳以上1600万下							サンバビーン 牝5 岡田 隆寛 1700・ダート 1:45.1 丸田 恭介 石栗 龍彦 新ひだか・岡田牧場				
2月15日	東京①	4歳以上1000万下	キネオイーグル	牡	4	吉田 千津	2400・ダート	2:33.5	C.デムーロ	高柳 瑞樹	栃木・恵比寿興業株式会社那須野牧場
2月21日	京都②	3歳未勝利	キングルアウ	牡	3	社台レースホース	1800・ダート	1:55.4	城戸 義政	藤岡 健一	安平・追分ファーム
2月21日	東京①	3歳未勝利	ヴァンテージドール	牝	3	吉田 勝己	2100・ダート	2:16.3	柴山 雄一	牧 光二	安平・ノーザンファーム
2月21日	京都②	3歳未勝利牝	パセンジャーシップ	牝	3	吉田 哲哉	1400・ダート	1:26.0	C.デムーロ	清水 久詞	千歳・社台ファーム
3歳新馬戦 2月21日 東京① 3歳新馬							プランシフィア 牝3 H.H.シェイク・モハメド 1600・ダート 1:39.9 的場 勇人 牧 光二 日高・ダーレー・ジャパン・ファーム				
2月21日	東京①	4歳以上500万下	キネオフォルツァ	牡	4	吉田 千津	2100・ダート	2:14.5	北村 宏司	伊藤 大士	新ひだか・千代田牧場
小倉城特別 2月21日 小倉① 4歳以上500万下							メドウラーク 牡4 吉田 勝己 2000・芝 1:59.9 松田 大作 橋田 満 安平・ノーザンファーム				
春日特別 2月21日 京都② 4歳以上1000万下							ガリバルディ 牡4 社台レースホース 1800・芝 1:47.3 C.デムーロ 藤原 英昭 千歳・社台ファーム				
合馬特別 2月21日 小倉① 4歳以上500万下							グレイングロース 牡5 社台レースホース 1200・芝 1:07.7 D.バルジュ 高野 友和 千歳・社台ファーム				
3歳新馬戦 2月22日 東京① 3歳新馬							ロッカフェスタ 牡3 社台レースホース 1800・芝 1:51.9 F.ベリー 田村 康仁 千歳・社台ファーム				
2月22日	小倉①	4歳以上500万下	メジャーシップ	牡	4	阿部 榮乃進	1700・ダート	1:45.5	高倉 稜	崎山 博樹	厚真・阿部 栄乃進
2月22日	京都②	3歳500万下牝	ラップフォルツァート	牝	3	サラブレッドクラブ・ラフィアン	1400・芝	1:21.3	A.シュタルケ	西園 正都	新冠・ビッグレッドファーム
2月22日	小倉①	4歳以上500万下	ヴァッフシュテルケ	牡	4	宮内牧場	1200・芝	1:09.6	和田 竜二	岩元 市三	浦河・宮内牧場
2月22日	小倉①	4歳以上500万下	ナインティルズ	牡	4	岡田 牧雄	1800・芝	1:49.7	D.バルジュ	中村 均	浦河・山田牧場
2月28日	中山②	障害4歳以上未勝利	マイネルミランダス	牡	4	サラブレッドクラブ・ラフィアン	2880・ダート	3:15.5	山本 康志	佐藤 吉勝	青森・石田 英機
2月28日	小倉①	4歳以上500万下牝	アルティメイトラブ	牝	6	社台レースホース	1700・ダート	1:47.8	黛 弘人	奥平 雅士	千歳・社台ファーム
2月28日	小倉①	4歳以上500万下牝	コスモメリー	牝	4	ビッグレッドファーム	2000・芝	2:00.4	丹内 祐次	金成 貴史	新ひだか・梶村牧場
2月28日	小倉①	4歳以上500万下	マイネルコランダム	牡	6	サラブレッドクラブ・ラフィアン	1800・芝	1:47.9	丹内 祐次	伊藤 大士	新冠・コスモヴェューファーム
3月1日	小倉①	3歳未勝利	プリズム	牡	3	H.H.シェイク・モハメド	1200・芝	1:10.7	勝浦 正樹	西浦 勝一	日高・ダーレー・ジャパン・ファーム
3月1日	阪神①	3歳未勝利	マイネルネーベル	牡	3	サラブレッドクラブ・ラフィアン	1600・芝	1:38.0	M.デムーロ	五十嵐 忠	新冠・ビッグレッドファーム
3月1日	小倉①	4歳以上500万下牝	スピリットレイク	牝	5	H.H.シェイク・モハメド	1200・芝	1:09.9	鮫島 良太	角田 晃一	日高・ダーレー・ジャパン・ファーム
3月1日	中山②	3歳未勝利	フロレットアレー	牝	3	社台レースホース	2200・芝	2:17.9	C.デムーロ	小島 茂之	千歳・社台ファーム
3月1日	小倉①	4歳以上500万下	ザトゥルーエア	牡	4	ヒガカ・フリーダース・ユニオン	2000・芝	2:03.3	田中 博康	高橋 義忠	浦河・林 孝輝
3月1日	阪神①	4歳以上500万下	エンドレスシャイン	牡	4	岡田 牧雄	1400・ダート	1:23.3	戸崎 圭太	鈴木 孝志	日高・白井牧場
呼子特別 3月1日 小倉① 4歳以上500万下							ラルプデュエズ 牡5 吉田 勝己 2600・芝 2:44.4 小崎 綾也 大久保 龍 安平・ノーザンファーム				
ブラッドストーンステークス 3月1日 中山② 4歳以上1600万下							ラヴィアンクレール 牡7 社台レースホース 1200・ダート 1:10.9 C.デムーロ 鈴木 伸尋 安平・ノーザンファーム				
3月7日	阪神①	3歳未勝利	エイシンナセル	牡	3	栄進堂	1800・ダート	1:55.2	福永 祐一	川村 禎彦	浦河・栄進牧場
3月7日	阪神①	3歳未勝利	レーゲンヴァルト	牡	3	社台レースホース	2000・芝	2:03.4	M.デムーロ	宮 徹	千歳・社台ファーム
第22回チューリップ賞 (G III) ココロノアイ 牝3 酒井牧場 3月7日 阪神① 3歳オープン牝 1600・芝 横山 典弘 尾関 知人 浦河・酒井牧場 タイム:1分37秒7 (2着アンドリエッテ)											

開催日	開催場	レース名・クラス	馬名	性別	年齢	会員名	距離・馬場	タイム	騎手	調教師	生産者
3月7日	中山②	4歳以上1000万下	デルマヌラリヒオン	牡	5	浅沼 廣幸	1200・ダート	1:11.5	田辺 裕信	古賀 史生	日高・ファニーヒルファーム
3月8日	中山②	3歳未勝利	タンジブル	牡	3	H.H. シェイク・モハメド	1800・ダート	1:55.2	柴山 雄一	黒岩 陽一	日高・ダーレー・ジャパン・ファーム
3月8日	中山②	4歳以上500万下	ローズマンブリッジ	牝	5	吉田 勝己	1600・芝	1:36.1	武 豊	加藤 征弘	安平・ノーザンファーム
3月8日	阪神①	4歳以上500万下	エイシンエルヴィン	牡	4	栄進堂	1600・芝	1:35.9	M. デムーロ	中尾 秀正	愛・K. K. Eishindo
3月8日	中山②	4歳以上500万下	ローズマンブリッジ	牝	5	吉田 勝己	1600・芝	1:36.1	武 豊	加藤 征弘	安平・ノーザンファーム
3月14日	中京①	4歳以上500万下	ゴールドブラザー	牡	5	加藤 充彦	1400・ダート	1:25.8	藤岡 佑介	高橋 康之	浦河・浦河土肥牧場
3月14日	中京①	4歳以上500万下	アルティマプリンス	牡	4	社台レースホース	1400・芝	1:22.9	岩田 康誠	安田 隆行	千歳・社台ファーム

サンシャインステークス

3月14日	中山②	4歳以上1600万下	ヴァーゲンザイル	騾	7	社台レースホース	2500・芝	2:35.1	田辺 裕信	田村 康仁	千歳・社台ファーム
-------	-----	------------	----------	---	---	----------	--------	--------	-------	-------	-----------

第51回中日新聞杯 (GⅢ)

ディサイファ 牝6 H.H. シェイク・モハメド

3月14日 中京① 4歳以上オープン 2000・芝 四位 洋文 小島 太
日高・ダーレー・ジャパン・ファーム タイム:2分1秒2 (2着デウスウルト)



3月15日	阪神①	3歳未勝利	ノースメイジャイ	牝	3	吉澤 克己	1200・ダート	1:13.0	M. デムーロ	森田 直行	浦河・藤春 修二
3月15日	阪神①	3歳500万下	ショコラブラン	牡	3	社台レースホース	1400・ダート	1:24.9	福永 祐一	浅見 秀一	千歳・社台ファーム
3月15日	中京①	4歳以上500万下	デビルズハーツ	牡	5	安原 浩司	1800・ダート	1:54.2	古川 吉洋	昆 貢	浦河・辻牧場
3月15日	阪神①	4歳以上500万下	レオニース	牡	4	社台レースホース	2400・芝	2:29.5	福永 祐一	小島 茂之	白老・社台コーポレーション白老ファーム

淡路特別

3月15日	中京①	4歳以上1000万下	メドウラーク	牡	4	吉田 勝己	2200・芝	2:15.0	岩田 康誠	橋田 満	安平・ノーザンファーム
-------	-----	------------	--------	---	---	-------	--------	--------	-------	------	-------------

第49回フィリーズレビュー (GⅡ)

クイーンズリング 牝3 吉田 哲哉

3月15日 阪神① 3歳オープン牝 1400・芝 M. デムーロ 吉村 圭司
千歳・社台ファーム タイム:1分22秒5 (2着ベルフィカ)



3月21日	中京②	3歳未勝利	トミケンシャルゴー	牡	3	富樫 賢二	1800・ダート	1:54.7	勝浦 正樹	和田 正一	日高・豊洋牧場
3月21日	中京②	3歳未勝利	テイクウォーニング	牝	3	H.H. シェイク・モハメド	1200・芝	1:11.2	藤岡 康太	藤岡 健一	日高・ダーレー・ジャパン・ファーム
3月21日	中山②	3歳500万下	タマノブリュネット	牝	3	玉腰 勇吉	1800・ダート	1:53.8	田辺 裕信	高柳 瑞樹	浦河・三嶋牧場
3月21日	中京②	4歳以上500万下牝	ハッピーチャート	牝	5	ヒガカ・フリーダース・ユニオン	1400・ダート	1:25.2	高倉 稜	和田 雄二	新ひだか・桜井牧場
3月22日	中山②	3歳未勝利牝	ジョリアアップ	牝	3	ヒガカ・フリーダース・ユニオン	1200・ダート	1:12.2	石川 裕紀	斎藤 誠	浦河・大島牧場
3月22日	阪神①	3歳500万下牝	スキースクール	牝	3	H.H. シェイク・モハメド	1200・ダート	1:11.8	幸 英明	西浦 勝一	日高・ダーレー・ジャパン・ファーム
3月22日	中山②	3歳未勝利	ウイングチップ	牡	3	社台レースホース	2000・芝	2:01.0	田中 勝春	宗像 義忠	千歳・社台ファーム
3月22日	中山②	3歳500万下	ホワイトウインド	牝	3	ビッグレッドファーム	1600・芝	1:35.6	柴田 大知	清水 英克	むかわ・真壁 信一

第63回阪神大賞典 (GⅡ)

ゴールドシップ 牡6 小林英一ホールディングス

3月22日 阪神① 4歳以上オープン 3000・芝 岩田 康誠 須貝 尚介
日高・出口牧場 タイム:3分5秒9 (2着デニムアンドルビー)



3月28日	中京②	3歳未勝利牝	タマノベレッツァ	牝	3	玉腰 勇吉	1800・ダート	1:58.3	小崎 綾也	中内田 亮	浦河・三嶋牧場
3月28日	阪神②	3歳未勝利	ヴェリテ	騾	3	H.H. シェイク・モハメド	1800・ダート	1:54.2	A. シュタルケ	荒川 義之	日高・ダーレー・ジャパン・ファーム
3月28日	中山③	3歳500万下	タンジブル	牡	3	H.H. シェイク・モハメド	1800・ダート	1:53.6	柴山 雄一	黒岩 陽一	日高・ダーレー・ジャパン・ファーム
3月28日	中京②	4歳以上500万下	イルーシヴキャット	牝	4	社台レースホース	1200・芝	1:09.4	岩崎 翼	松元 茂樹	安平・追分ファーム

君子蘭賞

3月28日	阪神②	3歳500万下	シングウィズジョイ	牝	3	社台レースホース	1800・芝	1:48.7	内田 博幸	友道 康夫	千歳・社台ファーム
-------	-----	---------	-----------	---	---	----------	--------	--------	-------	-------	-----------

春風ステークス

3月28日	中山③	4歳以上1600万下	ペイシャモンシェリ	牡	4	北所 直人	1200・ダート	1:10.5	福永 祐一	目野 哲也	平取・赤石牧場
-------	-----	------------	-----------	---	---	-------	----------	--------	-------	-------	---------

名鉄杯

3月28日	中京②	4歳以上1000万下	ブランクヴァース	牡	6	社台レースホース	2200・芝	2:18.1	丸山 元気	田中 清隆	千歳・社台ファーム
-------	-----	------------	----------	---	---	----------	--------	--------	-------	-------	-----------

3月29日	中山③	3歳未勝利	アイノカケハシ	牝	3	團分 純	1600・芝	1:34.5	吉田 豊	勢司 和浩	千歳・社台ファーム
3月29日	中山③	3歳500万下	エミネスク	牡	3	社台レースホース	1800・芝	1:49.9	田中 勝春	牧 光二	千歳・社台ファーム
3月29日	阪神②	4歳以上500万下	マイネルフレスコ	牡	4	サラブレッドクラブ・ラフィアン	2000・芝	2:03.5	D. バルジュ	梅田 智之	新冠・コスモヴェーファーム
3月29日	中山③	4歳以上500万下牝	タマノエスベランサ	牝	5	玉腰 勇吉	1200・ダート	1:12.9	吉田 豊	高柳 瑞樹	新冠・武田牧場

心斎橋特別

3月29日	阪神②	4歳以上1600万下	ピークトラム	牡	4	吉田 照哉	1400・芝	1:22.0	小崎 綾也	橋口 弘次	千歳・社台ファーム
-------	-----	------------	--------	---	---	-------	--------	--------	-------	-------	-----------

第22回マーチステークス (GⅢ)

マイネルクロップ 牡5 サラブレッドクラブ・ラフィアン

3月29日 中山③ 4歳以上オープン 1800・ダート 丹内 祐次 飯田 雄三
新ひだか・グラント牧場 タイム:1分52秒7 (2着イッシンドウタイ)



開催日	開催場	レース名・クラス	馬名	性別	年齢	会員名	距離・馬場	タイム	騎手	調教師	生産者
4月4日	中山③	3歳未勝利	マイネルヴェクセン	牡	3	サラブレッドクラブ・ラフィアン	1800・ダート	1:56.4	石橋 脩	池上 昌弘	新ひだか・大平牧場
安房特別											
4月4日	中山③	4歳以上 1000万下	ディスクーダンス	牡	4	社台レースホース	2500・芝	2:31.9	戸崎 圭太	手塚 貴久	千歳・社台ファーム
4月5日	阪神②	4歳以上 1000万下	エイシンエルヴィン	牡	4	栄進堂	2000・芝	2:03.3	M. デムーロ	中尾 秀正	愛・K. K. Eishindo
4月11日	福島①	3歳未勝利	エジーサンドレ	牝	3	社台レースホース	2000・芝	2:04.0	井上 敏樹	手塚 貴久	千歳・社台ファーム
4月11日	福島①	3歳未勝利	スクワール	牡	3	H.H. シェイク・モハメド	1700・ダート	1:47.4	松若 風馬	野中 賢二	日高・ダーレー・ジャパン・ファーム
4月11日	阪神②	3歳未勝利	エイシンハリケーン	騾	3	栄進堂	1800・ダート	1:52.4	福永 祐一	大久 保龍	米・Glennwood Farm Inc
4月11日	中山③	3歳未勝利	ジャイロスコープ	牡	3	H.H. シェイク・モハメド	1800・ダート	1:54.1	戸崎 圭太	池上 昌弘	日高・ダーレー・ジャパン・ファーム
4月11日	中山③	4歳以上 500万下	コアレスキング	牡	5	小林 昌志	1800・ダート	1:52.2	吉田 豊	尾形 充弘	平取・コアレススタッド
4月12日	阪神②	3歳未勝利	サカダッシュ	牡	3	一村 哲也	1200・ダート	1:11.9	菱田 裕二	岡田 稲男	浦河・ダイヤモンドファーム
4月12日	福島①	4歳以上 500万下牝	ザマンダ	牝	4	H.H. シェイク・モハメド	1700・ダート	1:46.4	杉原 誠人	角居 勝彦	日高・ダーレー・ジャパン・ファーム
4月12日	阪神②	4歳以上 500万下牝	ブロンクスシルバー	牝	4	社台レースホース	1800・ダート	1:52.1	M. デムーロ	吉田 直弘	千歳・社台ファーム
デイジー賞											
4月12日	中山③	3歳 500万下牝	ディープジュエリー	牝	3	吉田 勝己	1800・芝	1:50.4	柴山 雄一	国枝 栄	安平・ノーザンファーム
福島民報杯											
4月12日	福島①	4歳以上オープン	マイネルフロスト	牡	4	サラブレッドクラブ・ラフィアン	2000・芝	1:59.1	丹内 祐次	高木 登	新冠・競優牧場
第19回 マリーンカップ (Jpn III) サンビスタ 牝6 ヒダカ・ブリーダーズ・ユニオン 4月14日 船橋 3歳オープン牝 1600・ダート 岩田 康誠 角居 勝彦 新ひだか・ブランド牧場 タイム:1分38秒4 (2着トロワボヌール)											
4月18日	阪神②	3歳未勝利	ノースウッド	牡	3	H.H. シェイク・モハメド	1800・ダート	1:54.3	藤岡 佑介	野中 賢二	日高・ダーレー・ジャパン・ファーム
4月18日	福島①	3歳未勝利	ケイエスミラージュ	牡	3	キヨシサービス	1700・ダート	1:50.2	松田 大作	高橋 義忠	日高・高柳 陸男
4月19日	阪神②	3歳未勝利牝	グランディアフローラ	牝	3	社台レースホース	2000・芝	2:02.9	松山 弘平	中村 均	千歳・社台ファーム
4月19日	阪神②	3歳未勝利	チャバラ	牡	3	H.H. シェイク・モハメド	2400・芝	2:28.7	藤岡 佑介	吉村 圭司	日高・ダーレー・ジャパン・ファーム
4月19日	中山③	4歳以上 500万下	セクシーボーイ	牡	4	ヒダカ・ブリーダーズ・ユニオン	1200・ダート	1:11.5	田辺 裕信	伊藤 圭三	新ひだか・ブランド牧場
千種川特別											
4月19日	阪神②	4歳以上 1000万下	ティールーフ	牡	5	H.H. シェイク・モハメド	1200・芝	1:08.6	国分 優作	西浦 勝一	日高・ダーレー・ジャパン・ファーム
奥の細道特別											
4月19日	福島①	4歳以上 1000万下	カノン	牝	5	ヒダカ・ブリーダーズ・ユニオン	2600・芝	2:38.3	松田 大作	崎山 博樹	浦河・ヒダカファーム
浄土平特別											
4月19日	福島①	4歳以上 500万下	マイネルヴェルス	牡	4	サラブレッドクラブ・ラフィアン	2000・芝	2:00.7	丹内 祐次	鹿戸 雄一	新冠・ビッグレッドファーム
4月19日	阪神②	4歳以上 1000万下	ヨヨギマック	牡	4	一村 哲也	2000・ダート	2:05.3	川田 将雅	岡田 稲男	新ひだか・荒木 貴宏



会員の異動

平成26年11月25日から平成27年4月20日までの異動についてお知らせいたします。

岩本允名誉会長 最高顧問に就任



岩本名誉会長は昨年末、ご本人の希望により退会をされました。昭和52年5月に入会され同年より理事、昭和54年より副会長職を経て、昭和58年より第3代会長鎌田三郎氏よりバトンを受け第4代会長として32年間の永きにわたり協会の発展のためにご尽力いただきました。この間、日本馬主協会連合会理事、東日本馬主協議会の理事・副会長、札幌競馬場においては平成2年に芝コース設置、平成26年には会員の長年の要望事項である「新・札幌競馬場スタンド改築」など、常に会員の声に耳を傾け要望活動を通じて多くの功績を残されました。本年、日本馬主協会連合会理事会において「相談役」に就任。当協会理事会において「最高顧問」として就任いただくことになりました。今後も協会運営にご助言とご指導賜ることをお願いし、ここに会員の皆様にご報告いたします。

小川義勝常務理事逝去

小川義勝氏

(札幌市中央区)

平成27年1月21日逝去
享年70歳



当協会常務理事の小川義勝さんが1月21日、逝去されました。
昭和61年に当協会に入会され、平成14年から理事、平成18年から理事、平成26年から常務理事として当協会の運営にご尽力いただきました。ここに謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

入会者

黒川哲美氏
東京都港区



中村広樹氏
沙流郡日高町



中山衡司氏
網走市



町田武氏
埼玉県児玉郡



おくやみ

退会者

次の方が退会されました。在籍中のご協力に感謝いたします。

(有)大柳牧場 大柳大慶氏

橋本善一氏

橋本善吉氏

岩本允氏

(有)片山牧場

(有)見上牧場 見上久義氏

(有)ケイアイホース 森山浩氏

(有)片山牧場

片山修氏 (73)

平成26年8月20日逝去
(日高郡新ひだか町)



前田政雄氏 (80)

平成27年2月10日逝去
(札幌市豊平区)



事務局参与
(前事務局長)

日村勉氏



平成19年6月から札幌馬主協会にお世話になって、7年6か月にわたり勤務させていただきました。昨年末をもって退任いたしました。北海道庁勤務時にはホッカイドウ競馬を所管する農政部にりましたが、直接競馬に関わることがなく、就任した頃は戸惑いの連続だったことが思い出されます。

在任期間中には、協会の創立60周年記念事業、社団法人から一般社団法人への移行、さらには札幌競馬場新スタンドオープンなど大きな節目となる業務に携わることができ、幸いにも役員をはじめ会員の皆様のおかげで指導と励ましを賜り、無事勤めることができましたことに感謝しております。

新スタンド2年目となる今年の札幌開催も多く競馬ファンや家族連れで賑わい、大いに盛り上がることを願っております。

これからも札幌馬主協会が札幌競馬場とともに発展されますこと、会員皆様の愛馬のご活躍をお祈りいたします。

永い間、どうもありがとうございました。

◆馬主様に「札幌競馬場 4階スタンド来賓室」をご用意（開放）しています！！

JRA 札幌競馬場のご協力により、パークウインズ開催日に4階来賓室をご用意（開放）しております。ご利用の際は、毎週金曜日午後3時までに、札幌馬主協会までご連絡ください。なお、詳しいご利用方法は以下のとおりです。ぜひご利用ください。

1. 利用場所 札幌競馬場スタンド棟 4階来賓室
2. 利用申込 馬主協会に毎週金曜日午後3時までに連絡ください。
3. 利用できる方 原則、馬主ご本人様（家族章のみでのご利用はできません）
4. 入室人数 馬主徽章及び家族章（2つまで）の3名
4階来賓室入口にて係員にご提示いただきご利用
※3名様以上もしくは馬主徽章をお忘れの際は、馬主協会にて別途通行証を受け取りご利用いただけます。
5. 来賓室の設備 投票所 自動販売機4台 館内テレビ（各室内に4台設置）
6. 飲食関係 食べ物：1階フードコート又は売店をご利用ください。
飲み物：自動販売機を設置しております。
※その他飲食物の持ち込みは自由です。



◆編集後記

- ・「北の蹄跡」第3号をお届けいたします。
札幌競馬場は、札幌競馬開催後は、パークウインズとして利用されており、入場口前で来場される競馬ファンの皆様を当協会より寄贈の7頭のレリーフ「黄金の仔馬誕生」がお迎えしております。（表紙参照）
- ・今号では新・札幌競馬場にて初めて開催されるトレーニングセール（日高軽種馬農業協同組合主催）を特集し、日本中央競馬会 日高育成牧場 副場長 石丸睦樹様のご協力をいただき、「コンフォメーション（相馬学）」（馬の見方）としてご寄稿いただきました。心よりお礼申し上げます。
総務・広報委員会では、会員の皆様に親しまれる会報づくりに引き続き努めてまいります。ご要望やご意見をお寄せいただくなどご協力をお願いいたします。

総務・広報委員会 委員長 谷川利昭
副委員長 伊藤佳幸
委員 三好吉男
木村 貢
小林正和

◆事務局から

- ・会員研修旅行、馬産地懇談会などの行事へのご参加・ご協力いただきありがとうございました。今後ともよろしく願っています。
- ・上記記事でもお知らせしておりますが、新・札幌競馬場にてトレーニングセールがおこなわれます。また今年の北海道シリーズは6月20日より函館競馬開催を皮切りにスタートします。函館開催中は事務局員が向向いておりますので、御用の折はお気軽にお申し付けください。
- ・事務局は札幌競馬場の地下1階にあります。お気軽にお立ち寄りくださいますようお願いいたします。

「北の蹄跡」（通巻第56号）

2015年5月18日発行
発行：一般社団法人 札幌馬主協会
編集発行人：下河辺俊行
〒060-0016
札幌市中央区北16条西16丁目1-1
TEL 011 (726) 0461

企画・編集：(株)道新スポーツ 馬事通信編集室
編集協力：源草社
デザイン：Den Design
印刷：株式会社上野印刷所
表紙・札幌競馬場写真：©日本中央競馬会
本誌掲載の写真および記事等の無断掲載を禁じます。

一般社団法人 札幌馬主協会

「北の蹄跡」(通巻第56号)

平成27年5月18日発行

編集発行人 下河辺俊行

一般社団法人 札幌馬主協会

〒060-0016

札幌市中央区北16条西16丁目1-1

TEL 011(726)0461

